

# アレルギー疾患に関する3歳児全都調査 (平成26年度)

## 報告書

平成27年3月



東京都健康安全研究センター



## はじめに

東京都は、子供のアレルギー疾患の実態を把握するため、平成 11 年度から 5 年ごとに 3 歳児全都調査を実施しており、平成 26 年度の本調査は、初回調査から 15 年目、4 回目の調査となります。

東京都は、これまで、アレルギー疾患のある子供の保護者など都民の方に対する講演会のほか、保健医療福祉関係者向けに研修を実施し、普及啓発や人材育成に取り組んできました。また、平成 25 年度には、「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」を作成し、都内の保育サービスを実施する施設や学童保育所等の全職員に配布するなど、正しい知識の情報提供に努めているところです。

今回の調査では、この 15 年間で、アトピー性皮膚炎のある子供の割合は直近の 5 年間で増加から減少に転じている一方、食物アレルギー疾患のある子供は一貫して増加していることが分かりました。また、食物経口負荷試験の実施状況や誤食の発生場所、原因など、新たな知見も得られました。

今回明らかになった結果は、今後、東京都におけるアレルギー疾患対策をより一層推進していくための貴重な基礎資料として有効に活用していきます。区市町村や関係者の皆様にも、お役立ていただければ幸いです。

終わりに、調査項目や結果のとりまとめなどを御指導いただいた東京都アレルギー疾患対策検討委員会アレルギー疾患対策検討部会の委員の皆様と、調査に御協力いただいた保護者の皆様、区市町村の関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成 27 年 3 月

東京都健康安全研究センター

所長 田原 なるみ



# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b>	1
1	調査目的	3
2	調査対象及び方法	3
3	回収状況	3
4	調査項目	3
5	調査上の分類と定義	4
6	調査結果の留意点等	6
<b>II</b>	<b>調査結果</b>	7
1	対象者の概要	9
2	アレルギー疾患の状況	10
(1)	アレルギー疾患のり患状況	10
(2)	初めて診断された時期	13
(3)	アレルギー疾患の合併	14
3	呼吸器の症状、ぜん息の診断と治療状況	15
(1)	呼吸器の症状、ぜん息の診断	15
(2)	臨床症状に基づくぜん息の重症度分類	16
(3)	呼吸器の症状が起きた時期、ぜん息の診断の時期	17
(4)	ぜん息で処方されている薬	18
4	食物アレルギーの症状、診断と治療状況	20
(1)	食物アレルギーの症状と診断	20
(2)	食物アレルギーの症状が起きた時期、診断の時期	21
(3)	食物アレルギーで出現した症状	21
(4)	食物アレルギーの原因食物	22
(5)	食物アレルギーに対する原因食物の制限または除去の状況	24
(6)	誤食の状況	29
(7)	未摂取の食物	31
5	花粉症の症状と治療	32
6	通所（園）状況	33
7	保育施設等への生活管理指導表の提出	35
8	アレルギー等に関する情報の認知度等について	36
(1)	容器包装された加工食品のアレルギーの特定原材料表示	36
(2)	AED（自動体外式除細動器）	36
(3)	エピペン®について	37
(4)	子供のアレルギー講演会	38
(5)	アレルギーに関する情報の入手方法	39

9	アレルギー疾患対策に関する要望	40
(1)	保育施設・幼稚園等に対する要望	40
(2)	行政（都や区市町村）に対する要望	41
(3)	その他の意見や要望等	42
10	まとめ	43
(1)	対象者の概要	43
(2)	アレルギー疾患のり患状況	43
(3)	ぜん息の症状、診断と治療状況	44
(4)	食物アレルギーの症状、診断と治療状況	44
(5)	通所（園）児の状況	45
(6)	アレルギー疾患に関する情報等について	46
(7)	アレルギー疾患対策についての今後の取組への要望	46
(8)	今後の対応策	46

### Ⅲ 資料編

### Ⅳ 資料（調査票）

# I 調査の概要





## 1 調査目的

都内の3歳児におけるアレルギー疾患の罹患状況を把握し、平成11年度、平成16年度及び平成21年度に実施した調査結果と比較し、また、3歳児の保護者における行政（都や区市町村）等へのアレルギー疾患対策に対するニーズを把握し、今後東京都がアレルギー疾患対策を進めていく際の基礎資料として活用する。

## 2 調査対象及び方法

平成26年10月に都内区市町村で実施した3歳児健康診査の受診者及びその保護者を対象とした（3歳児健康診査が隔月の町村においては11月実施の受診者を対象とした）。

区市町村に協力を依頼し、3歳児健康診査の会場で無記名による自記式調査票を保護者8,383人に配布し、郵送にて回収を行った。

## 3 回収状況

回答数は3,435人（回収率41.0%）

## 4 調査項目

基本属性、アレルギー疾患の状況、通所（園）状況、アレルギー疾患対策に関する要望等を調査項目とした。

### 調査項目

項目	内容			
基本属性 (対象者の概要)	性別			
	住所（区部 多摩地域 島しょ地域）			
アレルギー疾患の状況	本人の り患 状況	症 状 の 有 無	医 師 の 診 断	呼吸器症状、ぜん息
				食物アレルギー
				アトピー性皮膚炎
				アレルギー性鼻炎（花粉症を含む）
				アレルギー性結膜炎（花粉症を含む）
				じんましん
その他のアレルギー疾患				
呼吸器症状、ぜん息と治療状況	症状と診断・治療状況			
食物アレルギーの症状と治療状況	症状と診断・治療状況、食物除去、誤食の状況			
通所（園）状況	保育所・幼稚園・認定こども園等の通所（園）状況			
アレルギー関連対策	生活管理指導表の活用、アレルギー関連情報			
アレルギー疾患対策に 関する要望	保育施設・幼稚園等に対する要望			
	行政（都や区市町村）に対する要望			

## 5 調査上の分類と定義

呼吸器症状、ぜん息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、じんましん、その他のアレルギー疾患について、調査における症状と診断の定義を下記に示す。

### 「症状あり」の定義

分類	定義	(参考) 平成11年度・平成16年度・平成21年度調査の定義
呼吸器症状	これまでに、咳こんだり息が「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」するなど、苦しそうな症状が、 <u>2回以上</u> あった者	同左
食物アレルギー	これまでに、食事が原因と思われるアレルギー症状を起こした者	同左
アトピー性皮膚炎	これまでに、アトピー性皮膚炎があった者（皮膚の乾燥とかゆみを伴う湿疹をくりかえす）	同左
アレルギー性鼻炎（花粉症を含む）	これまでに、アレルギー性鼻炎（花粉症を含む）の症状があった者（くしゃみや鼻水、鼻づまりが長引く）	同左
アレルギー性結膜炎（花粉症を含む）	これまでに、アレルギー性結膜炎（花粉症を含む）の症状があった者（目のかゆみや充血が長引く）	同左
じんましん	これまでに左記の「アレルギー疾患」の症状があった者	同左
その他のアレルギー疾患		

### 「診断あり」の定義

分類	定義	(参考) 平成11年度・平成16年度・平成21年度調査の定義
ぜん息	これまでに「 <u>ぜん息</u> 」、「 <u>ぜん息性気管支炎</u> 」又は「 <u>小児ぜん息</u> 」と医師に診断された者	症状があり、これまでに「ぜん息」、「ぜん息性気管支炎」又は「小児ぜん息」と医師に診断された者

(注) \_\_\_\_は、調査結果を記載するにあたって、この調査で特別に配慮する部分である。

### 臨床症状に基づく重症度分類

分類	定義
間欠型	セキこんだり、軽く息が「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」したりする症状が、年に数回、季節的であった。ときに呼吸困難を伴うこともあったが、そのときだけ気管支を広げる薬（ $\beta_2$ 刺激薬）を使い、短期間で症状は改善した。
軽症持続型	セキこんだり、軽く息が「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」したりする症状が、月1回以上、週1回未満であった。ときに呼吸困難を伴うこともあったが、長く続くことはなく、日常生活が障害されることは少なかった。
中等症持続型	セキこんだり、軽く息が「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」したりする症状が、週1回以上あったが、毎日続くほどではなかった。ときに中・大発作となり日常生活が障害されることがあった。
重症持続型	セキこんだり、軽く息が「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」したりする症状が、毎日あった。週に1～2回、その症状により日常生活や睡眠が障害されることがあった。
最重症持続型	治療を受けても重症持続型の状態が続いた。しばしば夜間の中・大発作で時間外受診し、入退院をくり返し、日常生活が制限された。

出典：「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2012」から一部抜粋

### ATS-DLDとISSACの問診用紙による診断の定義

	定義
ATS-DLD	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 喘息：以下の1)～6)の項目に「はい」と回答した者</li> <li>2. 喘息寛解：以下の1)～5)の項目に「はい」と回答し、かつ6)の項目に「いいえ」と回答した者 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) これまで胸がゼーゼーとか、ヒューヒューして、急に胸が苦しくなる発作を起こしたことがある。</li> <li>2) そのような発作は今まで2回以上ある。</li> <li>3) 医師に喘息、喘息様気管支炎または小児喘息といわれたことがある。</li> <li>4) そのとき、息をするとゼーゼーとかヒューヒューという音がした。</li> <li>5) そのとき、胸がゼーゼーとかヒューヒューして息が苦しくなった。</li> <li>6) この2年間に発作（症状）を起こしたことがあるか、喘息、喘息様気管支炎、または小児喘息で治療を受けたことがある。</li> </ol> </li> <li>3. 喘鳴：以下の1)～3)の項目に「はい」と回答し、かつ喘息、喘息寛解に該当する者を除いた者 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 息をするとき、ゼーゼーとか、ヒューヒューという音がすることがある。</li> <li>2) それは、かぜをひいたときである。</li> <li>3) この2年間に、胸がゼーゼーとかヒューヒューすることが2回以上ある。</li> </ol> </li> </ol>
ISSAC	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 喘鳴（既往） <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなた（のお子さん）はいままで、胸がゼーゼー、またはヒューヒューいったことがありますか。</li> </ul> </li> <li>2. 喘鳴（現在） <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなた（のお子さん）は最近12か月間に、胸がゼーゼー、またはヒューヒューいったことがありますか。</li> </ul> </li> <li>3. 医師の診断（喘息累積） <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなた（のお子さん）はいままで喘息といわれたことがありますか。</li> </ul> </li> </ol>

出典：「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2012」から一部抜粋

## 6 調査結果の留意点等

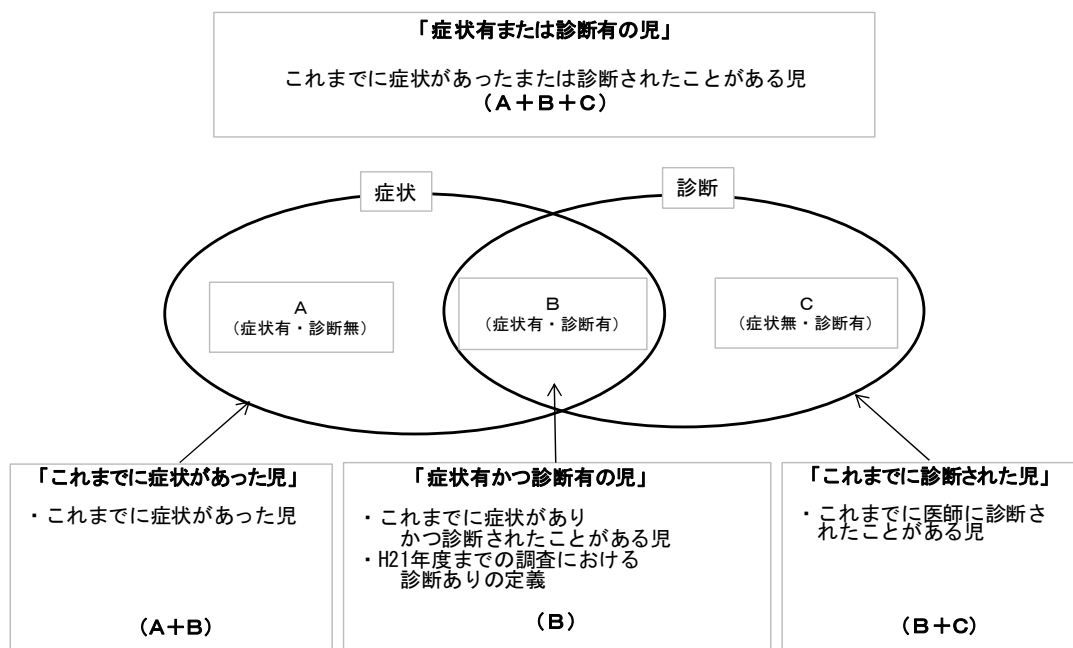
本報告書における調査結果を読む上での留意点等を以下に示す。

- ① 過去の調査結果との比較にあたっては、調査票の構成及び設問方法等が異なる項目もあるため、当時の定義と同様の基準で再集計するなどにより比較を行った。
- ② この報告書に掲載の数値は四捨五入してあるため、総数と内訳の合計が一致しない場合がある。
- ③ 「これまでに（各アレルギー疾患の）症状があった児」とは、「呼吸器症状」、「食物アレルギー」、「アトピー性皮膚炎」、「アレルギー性鼻炎」、「アレルギー性結膜炎」、「じんましん」、「その他のアレルギー疾患」のいずれかの症状があった児を指す。
- ④ ③に示す症状は全て保護者が判断したものであることから、これらの症状が医学的なアレルギー疾患の症状とは同義でないことに注意する必要がある。
- ⑤ 本調査におけるり患状況に関する設問は、以下の疫学用語と同義と考えている。

用語	解説	本調査における調査内容
生涯有病率・生涯有症率	生涯の少なくとも一時点で、ある疾患（または症状）を有していた人の曝露人口比。	「これまでに診断された児」 「これまでに症状があった児」
期間有病率・期間有症率	特定の期間のいずれかの時点で、ある疾患（または症状）を有していた人の曝露人口比。1年の期間有病率は年間有病率である。	「この1年間に症状があった児」 (年間有症率と同義)
累積罹患率	ある期間内に発症した人の曝露人口比。生まれてからの累積罹患率は生涯有病率と同じになる。	「これまでに診断された児」

出典：「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2012」から一部抜粋

- ⑥ 本調査では、「これまでに症状があった」児、「これまでに医師に診断されたことがある」児の把握を行っている。解析内容により、対象が異なるため、以下にその区分を示す。



## II 調査結果



## 1 対象者の概要

調査票を配布した対象者 8,383 人のうち、3,435 人（41.0%）から回答を得た。

回答数の男女別の割合は、男子 47.0%、女子 46.3%、無回答 6.7%であった（表 1）。

また、居住地区別の回答数の割合は、「区部」が 66.2%、「多摩地域」が 33.6%、「島しょ地域」が 0.2%であった（表 2）。

表 1. 回答者の性別

	平成26年度	
	人数	%
総数	3,435	100.0
男子	1,615	47.0
女子	1,590	46.3
無回答	230	6.7

(参考) 過去の調査結果

	平成11年度	平成16年度	平成21年度
	%	%	%
総数	100.0	100.0	100.0
男子	51.1	51.9	51.5
女子	48.5	48.1	47.7
無回答	0.4	0.0	0.8

表 2. 回答者の居住地区

	平成26年度	
	人数	%
総数	3,435	100.0
区部	2,275	66.2
多摩地域	1,153	33.6
島しょ地域	7	0.2

(参考) 過去の調査結果

	平成11年度	平成16年度	平成21年度
	%	%	%
総数	100.0	100.0	100.0
区部	62.3	64.6	62.0
多摩地域	37.4	34.7	37.3
島しょ地域	0.0	0.4	0.8
無回答	0.2	0.3	0.0

## 2 アレルギー疾患の状況

### (1) アレルギー疾患のり患状況

#### ア これまでの症状

これまでに何らかの症状があったと回答した児の割合は、55.3%であった。

各症状別では、食物アレルギー21.0%、アレルギー性鼻炎 20.8%、じんましん 20.2%、アトピー性皮膚炎 19.6%、2 回以上の呼吸器症状 14.4%の順で多かった（表 3）。なお、本調査における呼吸器症状とは p4「5 調査上の分類と定義」に基づき、2 回以上の呼吸器症状があった者を「呼吸器症状有」とするため、「これまでに呼吸器症状があった」と回答した全数及び「2 回以上の呼吸器症状」を併記した。

平成 21 年度調査結果と比べると、「これまでに何らかのアレルギーの症状あり」は 1.5 ポイントの減少であった。各アレルギーの症状は、2 回以上の呼吸器症状有が 3.9 ポイント減少、アトピー性皮膚炎が 3.4 ポイント減少しているが、それ以外では大きな増減はなかった。

#### イ この 1 年間の症状

この 1 年間に症状があった児は、アレルギー性鼻炎 19.0%、アトピー性皮膚炎 16.1%、じんましん 12.8%、2 回以上の呼吸器症状 11.7%、食物アレルギー 9.9%の順で多かった（表 4）。

#### ウ これまでの診断

「これまでに何らかのアレルギー疾患を診断された児」の割合は 39.9%であった。疾患別では、食物アレルギー 17.1%、じんましん 12.6%、アトピー性皮膚炎 11.5%、ぜん息 9.9%であった（表 5）。

表 3. 各アレルギー疾患のり患状況（1）

（これまでに症状があった児）

（参考）過去の調査結果

	平成26年度			平成11年度	平成16年度	平成21年度
	人数	%		%	%	%
呼吸器症状 (n = 3,398)	804	23.7	呼吸器症状	-	-	-
（再掲）2回以上の呼吸器症状	490	14.4	（再掲）2回以上の呼吸器症状	9.5	19.4	18.3
食物アレルギー (n = 3,407)	717	21.0	食物アレルギー	9.4	15.6	21.6
アトピー性皮膚炎 (n = 3,394)	666	19.6	アトピー性皮膚炎	18.0	20.5	23.0
アレルギー性鼻炎 (n = 3,391)	705	20.8	アレルギー性鼻炎	7.5	14.6	19.8
アレルギー性結膜炎 (n = 3,388)	281	8.3	アレルギー性結膜炎	5.1	6.9	7.8
じんましん (n = 3,392)	684	20.2	じんましん	15.0	17.1	20.5
その他のアレルギー疾患 (n = 3,358)	87	2.6	その他のアレルギー疾患	3.7	3.8	6.2
何らかのアレルギーの症状あり (n = 3,427)	1,894	55.3	何らかのアレルギーの症状あり	41.9	51.5	56.8

（注）各症状の n：各症状ごとの無回答を除く

何らかのアレルギー症状の n：全症状が無回答の8人を除く



表4. 各アレルギー疾患のり患状況（2）

（この1年間に症状があった児）

		平成26年度	
		人数	%
呼吸器症状	(n = 3,405)	560	16.4
（再掲）2回以上の呼吸器症状		399	11.7
食物アレルギー	(n = 3,378)	335	9.9
アトピー性皮膚炎	(n = 3,381)	545	16.1
アレルギー性鼻炎	(n = 3,377)	642	19.0
アレルギー性結膜炎	(n = 3,388)	228	6.7
じんましん	(n = 3,378)	434	12.8
その他のアレルギー疾患	(n = 3,366)	59	1.8
何らかのアレルギーの症状あり	(n = 3,430)	1,521	44.3

（注）各症状別のn：各症状ごとの無回答を除く

何らかのアレルギー症状のn：全症状が無回答の5人を除く

表5. 各アレルギー疾患のり患状況（3）

（これまでに診断された児）

		平成26年度	
		人数	%
ぜん息	(n = 3,379)	334	9.9
（再掲）2回以上の呼吸器症状		287	8.5
食物アレルギー	(n = 3,385)	579	17.1
アトピー性皮膚炎	(n = 3,375)	387	11.5
アレルギー性鼻炎	(n = 3,363)	306	9.1
アレルギー性結膜炎	(n = 3,361)	166	4.9
じんましん	(n = 3,373)	426	12.6
その他のアレルギー疾患	(n = 3,331)	46	1.4
何らかのアレルギー疾患あり	(n = 3,412)	1,362	39.9

（注）各疾患別のn：各疾患ごとの無回答を除く

何らかのアレルギー疾患のn：全疾患の診断が無回答の23人を除く

## エ 症状有かつ診断有の比較

平成21年度調査までは、「症状有かつ診断有」を調査における診断ありとしているため、「症状有かつ診断有」に対象を絞り再集計し比較した。

「何らかのアレルギー疾患について症状有かつ診断有」の割合は39.3%、各疾患別では、食物アレルギーが2.3ポイント増加、アトピー性皮膚炎が4.6ポイント減少、アレルギー性鼻炎が2.1ポイント減少しているが、それ以外では大きな増減はなかった（表6）。

平成11年度調査からの推移では、食物アレルギーは増加傾向であった（図1）。

表6. 各アレルギー疾患のり患状況（4）

（平成21年度調査の定義と同様、症状有かつ診断有を再集計）

（症状有かつ診断有）

（参考）過去の調査結果

	平成26年度			平成11年度	平成16年度	平成21年度
	人数	%		%	%	%
ぜん息 (n = 3,357)	331	9.9	ぜん息	-	-	-
(再掲) 2回以上の呼吸器症状	287	8.5	(再掲) 2回以上の呼吸器症状	7.9	10.5	9.3
食物アレルギー (n = 3,368)	563	16.7	食物アレルギー	7.1	8.5	14.4
アトピー性皮膚炎 (n = 3,351)	376	11.2	アトピー性皮膚炎	16.6	15.3	15.8
アレルギー性鼻炎 (n = 3,341)	301	9.0	アレルギー性鼻炎	6.1	9.2	11.1
アレルギー性結膜炎 (n = 3,336)	159	4.8	アレルギー性結膜炎	4.6	4.5	4.8
じんましん (n = 3,350)	416	12.4	じんましん	11.9	8.7	11.3
その他のアレルギー疾患 (n = 3,282)	42	1.3	その他のアレルギー疾患	3.0	2.2	4.6
何らかのアレルギー疾患あり (n = 3,407)	1,338	39.3	何らかのアレルギー疾患あり	36.8	36.7	38.8

（注）各疾患別のn：各症状及び疾患ごとの無回答を除く  
 何らかのアレルギー疾患のn：全症状及び全疾患の無回答の28人を除く

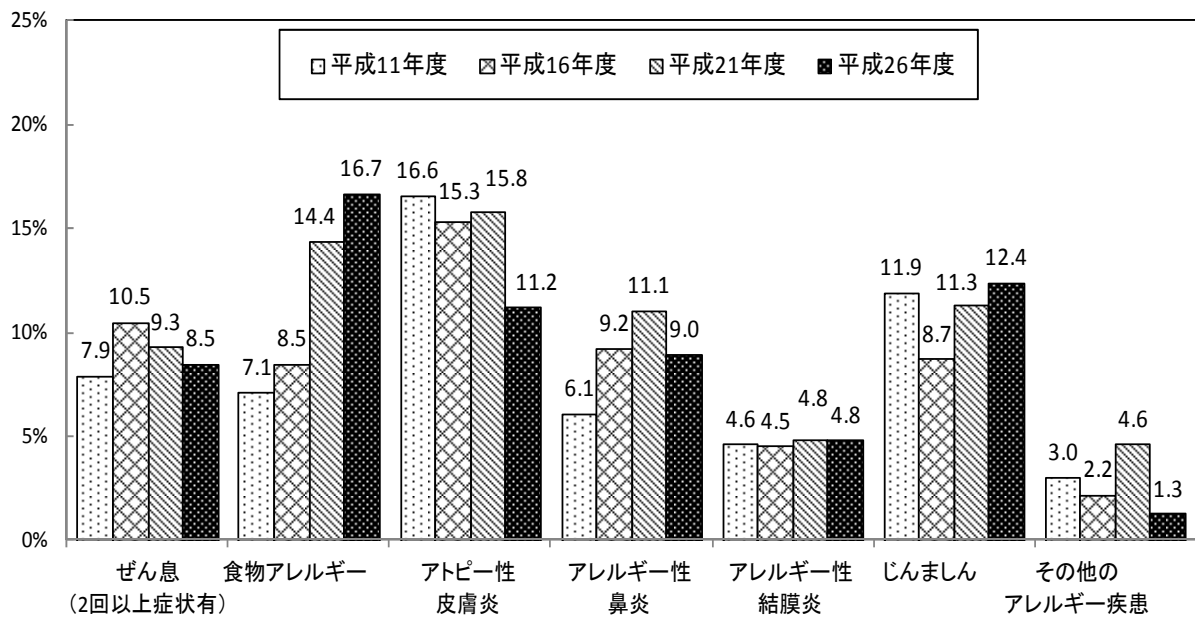


図1. 各アレルギー疾患のり患状況の推移（これまでの症状有かつ診断有）

(2) 初めて診断された時期

これまでに診断された児の診断時期で最も多いのは、ぜん息 12 ヶ月～18 ヶ月未満 27.0%、食物アレルギー 6 ヶ月～12 ヶ月未満 51.5%、アトピー性皮膚炎 6 ヶ月～12 ヶ月未満 23.8%、アレルギー性鼻炎 24 ヶ月～30 ヶ月未満 29.5%、アレルギー性結膜炎 24 ヶ月～30 ヶ月未満 32.3%、じんましん 12 ヶ月～18 ヶ月未満 20.5%であった (表 7)。

診断された児の約半数が診断されるまでの期間は、食物アレルギーで生後 9 ヶ月、アトピー性皮膚炎 12 ヶ月、ぜん息 21 ヶ月、アレルギー性鼻炎とアレルギー性結膜炎では 24 ヶ月であり、疾患により診断される時期に特徴がみられた (図 2)。

表 7. 疾患別の診断の時期 (これまでに診断された児)

診断の時期 (月齢)	ぜん息 n=334		食物アレルギー n=579		アトピー性皮膚炎 n=387		アレルギー性鼻炎 n=306		アレルギー性結膜炎 n=166		じんましん n=426		その他のアレルギー疾患 n=46	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総数	318	100.0	565	100.0	366	100.0	292	100.0	155	100.0	395	100.0	42	100.0
0ヶ月～	9	2.8	64	11.3	74	20.2	4	1.4	2	1.3	19	4.8	3	7.1
6ヶ月～	33	10.4	291	51.5	87	23.8	18	6.2	7	4.5	71	18.0	10	23.8
12ヶ月～	86	27.0	134	23.7	75	20.5	54	18.5	17	11.0	81	20.5	9	21.4
18ヶ月～	46	14.5	27	4.8	31	8.5	38	13.0	18	11.6	42	10.6	7	16.7
24ヶ月～	59	18.6	25	4.4	51	13.9	86	29.5	50	32.3	71	18.0	5	11.9
30ヶ月～	50	15.7	16	2.8	33	9.0	69	23.6	46	29.7	76	19.2	4	9.5
36ヶ月～	34	10.7	8	1.4	15	4.1	22	7.5	15	9.7	35	8.9	4	9.5
42ヶ月～	1	0.3	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	16	-	14	-	21	-	14	-	11	-	31	-	4	-

(注) 各疾患の診断された児のうち、診断時期無回答を除く

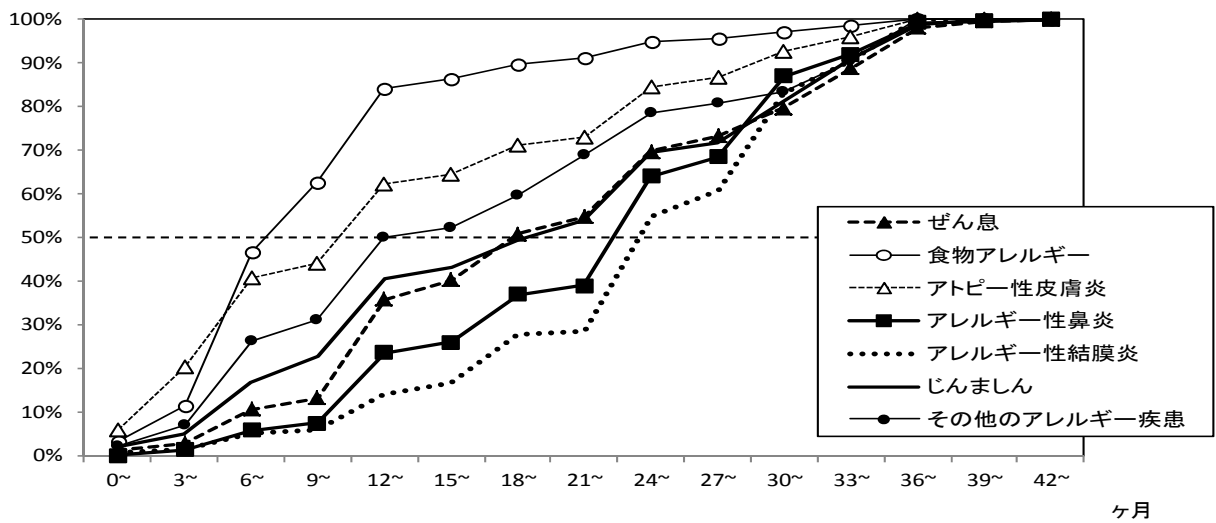


図 2. 疾患別の診断の時期 (累積)

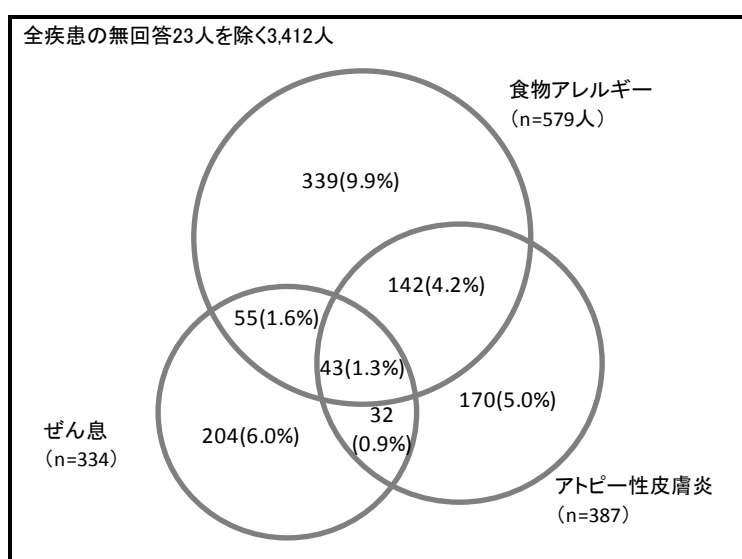
### (3) アレルギー疾患の合併

これまでに診断された児を対象に、他のアレルギー疾患との合併状況をみると、「アレルギー性結膜炎」と診断された児の中で「アレルギー性鼻炎」を合併している割合が 52.4%と最も高く、次いで「アトピー性皮膚炎」と診断された児の中で「食物アレルギー」を合併している割合が 47.8%と高かった (表 8)。

また、ぜん息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎の 3 疾患のいずれかに診断された児の合併状況について、回答者全体に占める割合をみた。3 疾患のいずれかの診断ありは 985 人で無回答を除く全回答者 3,412 人の 28.9%であった。ぜん息と食物アレルギーの合併 2.9%、食物アレルギーとアトピー性皮膚炎の合併 5.5%、ぜん息とアトピー性皮膚炎 2.2%、3 疾患を合併している児は 1.3%であった (図 3)。

表 8. 各アレルギー疾患の合併状況 (複数回答) (これまでに診断された児)

合併 診断	各疾患の 診断有 n	ぜん息		食物アレルギー		アトピー性 皮膚炎		アレルギー性 鼻炎		アレルギー性 結膜炎		じんましん		その他のアレル ギー疾患	
		人数 (a)	% (a/n)	人数 (b)	% (b/n)	人数 (c)	% (c/n)	人数 (d)	% (d/n)	人数 (e)	% (e/n)	人数 (f)	% (f/n)	人数 (g)	% (g/n)
ぜん息	334			98	29.3	75	22.5	56	16.8	30	9.0	52	15.6	6	1.8
食物アレルギー	579	98	16.9			185	32.0	93	16.1	54	9.3	175	30.2	21	3.6
アトピー性皮膚炎	387	75	19.4	185	47.8			80	20.7	45	11.6	100	25.8	10	2.6
アレルギー性鼻炎	306	56	18.3	93	30.4	80	26.1			87	28.4	71	23.2	9	2.9
アレルギー性結膜炎	166	30	18.1	54	32.5	45	27.1	87	52.4			44	26.5	7	4.2
じんましん	426	52	12.2	175	41.1	100	23.5	71	16.7	44	10.3			15	3.5
その他のアレルギー疾患	46	6	13.0	21	45.7	10	21.7	9	19.6	7	15.2	15	32.6		



(注) ぜん息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎のいずれかに診断された児985人 (985人/3,412人 = 28.9%)

図 3. ぜん息・食物アレルギー・アトピー性皮膚炎の合併状況 (これまでに診断された児)

### 3 呼吸器の症状、ぜん息の診断と治療状況

#### (1) 呼吸器の症状、ぜん息の診断

本調査では、「ぜん息」「ぜん息性気管支炎」「小児ぜん息」をぜん息として定義し集計している。

これまでに2回以上の呼吸器症状があった児の割合は、男子16.0%、女子12.2%、ぜん息と診断された児の割合は、男子10.4%、女子9.1%であり、ともに男子が女子に比べやや多かった。平成21年度調査結果と比べると、これまでに症状があった児は男子、女子ともに減少している（表9、10、11）。

ISSAC方式で定義されているぜん息の症状や診断状況は、「ぜん息（現在）（この1年間の症状）」16.4%、「ぜん息（既往）（これまでの症状）」23.7%、「医師の診断（ぜん息累積）（これまでに医師に診断された児）」9.9%であった（表12）。

表9. 呼吸器症状の有症者数及び有症率

（これまでに症状のあった児）

（参考）過去の調査結果

	平成26年度	
	人数	%
総数 (n=3,398)	490	14.4
男子 (n=1,599)	256	16.0
女子 (n=1,572)	192	12.2
性別無回答 (n=227)	42	18.5
無回答	37	-

	平成11年度	平成16年度	平成21年度
	%	%	%
総数	9.5	19.4	18.3
男子	11.5	21.9	20.9
女子	7.2	16.8	15.4

（注）本調査の呼吸器症状有の定義に基づき、2回以上の呼吸器症状有を集計

（注）各項目のn：これまでの呼吸器症状無回答（男子16人、女子18人、性別無回答3人）を除く

表10. ぜん息のり患状況（1）

（これまでに診断された児）

	平成26年度	
	人数	%
総数 (n=3,379)	334	9.9
男子 (n=1,593)	166	10.4
女子 (n=1,566)	143	9.1
性別無回答 (n=220)	25	11.4
無回答	56	-

（注）各項目のn：これまでの診断無回答

（男子22人、女子24人、性別無回答10人）を除く

表 11. ぜん息のり患状況（2）

（平成 21 年度調査の定義と同様、症状有かつ診断有を再集計）

（症状有かつ診断有）

（参考）過去の調査結果

	平成26年度			平成16年度	平成21年度
	人数	%		%	%
総数（n=3,357）	287	8.5	総数	10.5	9.3
男子（n=1,583）	142	9.0	男子	12.5	11.3
女子（n=1,555）	124	8.0	女子	8.4	7.0
性別無回答（n=219）	21	9.6			
無回答	78	-			

（注1）本調査の呼吸器症状有の定義に基づき、2回以上の呼吸器症状有を対象に集計

（注2）各項目のn：これまでの症状及び診断無回答（男子32人、女子35人、性別無回答11人）を除く

表 12. ISSAC 方式に準拠した有症者と診断状況

（参考）平成 21 年度調査

	人数	%		人数	%
ぜん鳴（現在） （この1年間の症状） （n = 3,405）	560	16.4	ぜん鳴（現在）（n = 2,772）	464	16.7
ぜん鳴（既往） （これまでの症状） （n = 3,398）	804	23.7	ぜん鳴（既往）（n = 2,900）	682	23.5
医師の診断（ぜん息累積） （これまでに医師に診断された児） （n = 3,379）	334	9.9	医師の診断 （ぜん息累積）（n = 2,851）	338	11.9

（注）n：各設問の無回答を除く

## （2）臨床症状に基づくぜん息の重症度分類

これまでに症状があった児の、この1年間の発作の回数や症状の程度に基づくぜん息の重症度分類を表13に示す。「間欠型」が82.8%と最も多く、次いで、「軽症持続型」7.0%、「中等症持続型」6.6%であった。

平成21年度調査結果と比べると、「間欠型」の割合が4.4ポイント増え、「軽症持続型」が4.2ポイント減少した。

表 13. ぜん息の重症度分類

(これまでに症状のあった児)

(参考) 過去の調査結果

	平成26年度			平成16年度	平成21年度
	人数	%		%	%
総数	442	100.0	総数	100.0	100.0
間欠型 (年数回、季節的にあった)	366	82.8	間欠型	74.3	78.4
軽症持続型 (月1回以上、週1回未満あった)	31	7.0	軽症持続型	8.1	11.2
中等症持続型 (週1回以上あったが、毎日続くほどではなかった)	29	6.6	中等症持続型	8.4	6.7
重症持続型 (毎日あった)	14	3.2	重症持続型1	5.3	3.2
最重症持続型 (治療を受けても毎日あり。しばしば夜間に 時間外受診し入退院を繰り返した)	2	0.5	重症持続型2	3.9	0.4
無回答	118	-			

(注1) 保護者が判断した症状の程度・頻度から重症度を分類

(注2) この1年間に症状があった560人中、無回答118人を除く

(注3) 重症度分類を「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2012」における表記に変更したため、平成21年度調査の分類と表記が異なる

### (3) 呼吸器の症状が起きた時期、ぜん息の診断の時期

これまでに2回以上の呼吸器症状があった児の、症状が初めて起きた月齢は、12ヶ月～18ヶ月未満が31.1%と最も多かった。

ぜん息と診断された児の診断された月齢も、12ヶ月～18ヶ月未満が27.0%と多かった(表14)。

表 14. ぜん息・呼吸器症状が起きた時期及び診断時期

(月齢)	平成26年度			
	症状出現 (2回以上の呼吸器症状) *1		診断 *2	
	人数	%	人数	%
総数	469	100.0	318	100.0
0ヶ月～	30	6.4	9	2.8
6ヶ月～	75	16.0	33	10.4
12ヶ月～	146	31.1	86	27.0
18ヶ月～	82	17.5	46	14.5
24ヶ月～	88	18.8	59	18.6
30ヶ月～	39	8.3	50	15.7
36ヶ月～	9	1.9	35	11.0
無回答	21	-	16	-

(注) \*1 これまでに2回以上の呼吸器症状があった児490人中、月齢無回答21人を除く

\*2 これまでにぜん息と診断された334人中、月齢無回答16人を除く

#### (4) ぜん息で処方されている薬

ぜん息と診断されて医師から薬を処方されている児は61.2%で、平成21年度調査結果と比べると14.2ポイント増えていた(表15)。処方されているぜん息の治療薬の種類は、内服薬92.0%、吸入薬40.4%、貼り薬34.0%であった。1種類のみ処方されている割合は、内服薬39.4%、吸入薬5.3%、はり薬1.6%であった(表16)。

薬の使用状況は、「言われたとおりにできている」と「だいたいできている」を合わせると93.6%であり、「半分くらいできている」「あまりできていない」「ほとんどできていない」は合わせて6.4%であった(表17)。

重症度分類別の服薬の遵守状況では、重症持続型及び最重症持続型では全員が「言われたとおりにできている」又は「だいたいできている」であった。間欠型、軽症持続型、中等症持続型でも9割以上でできていたが、「半分くらい」「あまりできていない」「ほとんどできていない」との回答もあった(表18)。

表15. 治療薬の処方の有無

(これまでに診断された児)

(参考) 平成21年度調査

	平成26年度	
	人数	%
総数	309	100
ある	189	61.2
ない	120	38.8
無回答	25	-

	平成21年度	
	人数	%
総数	264	100
ある	124	47.0
ない	140	53.0

(注) これまでに診断された334人中、無回答25人を除く

表16. 使用している治療薬の種類(複数回答)

	平成26年度	
	人数	%
総数	188	100
内服薬のみ処方	74	39.4
吸入薬のみ処方	10	5.3
はり薬のみ処方	3	1.6
内服薬+吸入薬(2種のみ)	40	21.3
内服薬+はり薬(2種のみ)	35	18.6
吸入薬+はり薬(2種のみ)	2	1.1
内服薬+吸入薬+はり薬	24	12.8
無回答	1	-

(注) 治療薬の処方有189人中、無回答1人を除く



表 17. 処方された治療薬の使用状況

(参考) 平成 21 年度調査

	平成26年度	
	人数	%
総数	188	100.0
言われたとおりにできている	119	63.3
だいたいできている	57	30.3
半分くらいできている	7	3.7
あまりできていない	1	0.5
ほとんどできていない	4	2.1
無回答	1	-

(n = 122)

	平成21年度	
	人数	%
ほぼできている	81	66.4
たいていできている	30	24.6
半分くらいできている	5	4.1
あまりしていない	3	2.5
全くしていない	3	2.5

(注) 治療薬の処方有189人中、無回答1人を除く

表 18. 重症度分類（この1年間の状態）と服薬の遵守状況

	総数	言われたとおりにできている		だいたいできている		半分くらいできている		あまりできていない		ほとんどできていない	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
間欠型	110	69	62.7	33	30.0	6	5.5	0	0.0	2	1.8
軽症持続型	18	13	72.2	4	22.2	0	0.0	1	5.6	0	0.0
中等症持続型	17	7	41.2	9	52.9	1	5.9	0	0.0	0	0.0
重症持続型	6	5	83.3	1	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
最重症持続型	2	1	50.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(注) 治療薬の処方有189人中、1年間に呼吸症状が全くなかった32人および処方薬の遵守状況・重症度への無回答者4人を除く

## 4 食物アレルギーの症状、診断と治療状況

### (1) 食物アレルギーの症状と診断

これまでに食物アレルギーの症状があった児の割合は、男子 24.0%、女子 18.1%であった（表 19）。

これまでに食物アレルギーと診断された児は、男子 19.9%、女子 14.3%で、症状・診断ともに男子の方が多かった（表 20）。

平成 21 年度調査結果と比べると、「症状有かつ診断有」の児では、男子 2.6 ポイント、女子 2.2 ポイント増えていた（表 21）。

表 19. 食物アレルギーの有症者数と有症率

（これまでに症状があった児）

（参考）過去の調査結果

		平成26年度	
		人数	%
総数	(n=3,407)	717	21.0
男子	(n=1,604)	385	24.0
女子	(n=1,576)	286	18.1
性別無回答	(n=227)	46	20.3

	平成11年度	平成16年度	平成21年度
	%	%	%
総数	9.4	15.6	21.6
男子	11.2	17.2	23.6
女子	7.6	13.8	19.3

（注）各項目の n：これまでの食物アレルギー症状の無回答（男子11人、女子14人、性別無回答3人）を除く

表 20. 食物アレルギーのり患状況（1）

（これまでに診断された児）

		平成26年度	
		人数	%
総数	(n=3,385)	579	17.1
男子	(n=1,599)	319	19.9
女子	(n=1,566)	224	14.3
性別無回答	(n=220)	36	16.4

（注）各項目の n：これまでの食物アレルギーの診断の無回答（男子16人、女子24人、性別無回答10人）を除く

表 21. 食物アレルギーのり患状況（2）（平成 21 年度調査の定義と同様、症状有かつ診断有を再集計）

（症状有かつ診断有）

（参考）過去の調査結果

		平成26年度	
		人数	%
総数	(n=3,368)	563	16.7
男子	(n=1,592)	310	19.5
女子	(n=1,556)	218	14.0
性別無回答	(n=220)	35	15.9
無回答		67	-

	平成16年度	平成21年度
	%	%
総数	8.5	14.4
男子	10.0	16.9
女子	6.9	11.8

（注）各項目の n：これまでの症状及び診断無回答（男子23人、女子34人、性別無回答10人）を除く

## (2) 食物アレルギーの症状が起きた時期、診断の時期

食物アレルギーの症状があった児の、症状が初めて起きた月齢は、6ヶ月～12ヶ月未満が49.6%と最も多かった。また、食物アレルギーと診断された月齢は6ヶ月～12ヶ月未満が51.5%で、症状、診断ともに6ヶ月～12ヶ月未満が多かった(表22)。

表22. 食物アレルギーの症状が起きた時期及び診断時期

(月齢)	平成26年度調査			
	症状出現*1		診断*2	
	人数	%	人数	%
総数	675	100.0	565	100.0
0ヶ月～	80	11.9	64	11.3
6ヶ月～	335	49.6	291	51.5
12ヶ月～	150	22.2	134	23.7
18ヶ月～	43	6.4	27	4.8
24ヶ月～	32	4.7	25	4.4
30ヶ月～	28	4.1	16	2.8
36ヶ月～	7	1.0	8	1.4
無回答	42	-	14	-

(注) \*1 これまでに食物アレルギー症状あり717人中、月齢無回答42人を除く

\*2 これまでに食物アレルギーと診断された579人中、月齢無回答14人を除く

## (3) 食物アレルギーで出現した症状

これまでに食物アレルギーと診断された児の、食物アレルギーで出現した症状は「皮膚の症状」94.7%が最も多く、次いで「目の症状」30.3%、「消化器の症状」24.2%、「口の症状」22.8%の順に多かった。ショック症状を経験している児は10.4%であった(表23)。その他の内容は、顔全体や耳等の腫れ9人、検査で診断されたので症状無10人等であった。平成21年度調査結果とは、質問方法(今回の調査では具体的な症状の例示を多くしたため高く回答される可能性がある)が異なるため単純に比較できないが、今回の調査ではすべての症状が増加していた。

これまでに食物アレルギーと診断された児のうち、22人がこの1年間にショック症状を起こしていた(表24)。

ショック症状の回数は、1回18人、2回3人で、その原因と思われる食物は卵8件、乳製品3件、小麦2件等であった。

アナフィラキシー症状の補助治療薬として処方されるエピペン®(アドレナリン自己注射薬)を主治医から処方されている児は26人であった。過去1年間にショック症状を経験した児22人中6人がエピペン®を処方されていた。

表 23. 食物アレルギーの出現症状（複数回答）

（これまでに診断された児）

（参考）過去の調査結果（対象：症状有かつ診断有）

	平成26年度	
	人数	%
総数	565	100.0
皮膚の症状	535	94.7
目の症状	171	30.3
鼻の症状	54	9.6
口の症状	129	22.8
消化器の症状	137	24.2
呼吸器の症状	85	15.0
ショック症状	59	10.4
その他	41	7.3
無回答	14	-

	平成16年度	平成21年度
	%	%
皮膚の湿疹	91.6	92.9
目のはれ	15.1	25.1
鼻水	7.6	7.3
口のはれ	16.8	20.4
腹痛	13.7	17.3
ぜん鳴・呼吸困難	12.0	11.7
ショック症状	1.4	3.9
その他	1.4	1.9

（注1）これまでに診断された579人中、無回答14人を除く

（注2）出現症状は、保護者が判断したもの

表 24. この1年間の食物アレルギーによるショック症状の有無とショック症状の回数

	平成26年度	
	人数	%
総数	550	100.0
ショック症状あり	22	4.0
（再掲）	（回数）	
	1回	3.3
	2回	0.5
	無回答	0.2
ショック症状なし	528	96.0
無回答	29	-

（注1）これまでに診断された579人中、無回答29人を除く

（注2）ショック症状の有無は保護者の判断によるものであるため、医学的なショック症状の定義と一致しない場合もある

#### （4）食物アレルギーの原因食物

これまでに食物アレルギーと診断された児の、食物アレルギーの症状が出現した原因（と思われる）食物は、「卵」81.0%、「牛乳」33.3%、「小麦」14.6%、「落花生」9.2%、「大豆」6.3%、「キウイ」6.2%、「えび」5.1%の順で高かった。

平成21年度調査結果と比べると、順位・割合ともに上昇した食物は、落花生、キウイ、ごま、くるみ等であり、低下した食物はえび、いくら、やまいも、そば、かに、さけ、鶏肉、さば等であった（表25）。

原因と思われる食物数は、1種類 278人(49.0%)、2種類 146人(25.7%)、3種類 64人(11.3%)であった。原因食物として10種類以上をあげた児も5人いた。

表 25. 食物アレルギーの原因食物（複数回答）

（これまでに診断された児）

（参考）過去の調査結果（対象：症状有かつ診断有）

(n=567)

順位	原因食物	平成26年度			原因食物	平成21年度		平成16年度
		人数	%	H21年度調査との割合の変化		順位	%	%
1	卵	459	81.0	-2.9	卵	1	83.9	83.8
2	牛乳	189	33.3	-3.0	牛乳	2	36.3	35.0
3	小麦	83	14.6	1.7	小麦	3	12.9	11.5
4	△ 落花生	52	9.2	2.6	落花生	7	6.6	7.6
5	大豆	36	6.3	-1.5	大豆	5	7.8	10.6
6	△ キウイ	35	6.2	2.8	キウイ	14	3.4	2.5
7	▼ えび	29	5.1	-2.2	えび	6	7.3	6.7
8	△ ごま	25	4.4	0.5	ごま	13	3.9	0.0
9	▼ いくら	22	3.9	-4.6	いくら	4	8.5	10.9
9	△ くるみ	22	3.9	1.7	くるみ	18	2.2	2.2
11	▼ やまいも	17	3.0	-2.1	やまいも	9	5.1	3.9
11	△ バナナ	17	3.0	-0.2	バナナ	16	3.2	2.0
13	▼ そば	16	2.8	-1.8	そば	10	4.6	5.6
13	カシューナッツ	16	2.8	-	カシューナッツ	-	-	-
15	▼ かに	14	2.5	-2.1	かに	10	4.6	4.5
16	▼ さけ	12	2.1	-1.3	さけ	14	3.4	1.7
17	▼ 鶏肉	9	1.6	-2.8	鶏肉	12	4.4	5.6
17	▼ さば	9	1.6	-3.8	さば	8	5.4	4.2
19	▼ 牛肉	8	1.4	-0.8	牛肉	18	2.2	3.1
20	△ 豚肉	5	0.9	0.2	豚肉	23	0.7	2.0
21	△ もも	4	0.7	0.5	もも	26	0.2	0.8
21	りんご	4	0.7	-0.5	りんご	21	1.2	0.3
23	▼ グミ・ゼラチン	3	0.5	-0.5	グミ・ゼラチン	22	1.0	2.0
23	▼ 米	3	0.5	-2.2	米	17	2.7	0.0
25	オレンジ	2	0.4	-0.1	オレンジ	25	0.5	0.6
26	▼ あわび	1	0.2	-0.5	あわび	23	0.7	0.6
26	▼ いか	1	0.2	-2.0	いか	18	2.2	2.8
28	▼ まつたけ	0	0.0	-0.2	まつたけ	26	0.2	0.3
	その他	74	13.1	-1.7	その他		14.8	19.3

(注1) カシューナッツについてはH21年度、16年度は調査未実施

(注2) これまでに診断された579人中、無回答12人を除く

(注3) △ 平成21年度調査と比べ順位が上昇している食物、▼ 低下している食物

(5) 食物アレルギーに対する原因食物の制限または除去の状況

ア 現在、制限または除去している食物

これまでに食物アレルギーと診断された児で、「現在、原因（と思われる）食物を制限または除去している」のは 332 人で、これまでに食物アレルギーと診断された児の 62.6%であった（表 26）。

「現在、制限または除去している食物」は、「卵」69.0%、「落花生」22.3%、「牛乳」20.8%、「カシューナッツ」13.0%、「そば」11.7%の順で高かった（表 27）。

制限または除去している食物数では、1 種類 179 人（53.9%）、2 種類 70 人（21.1%）、3 種類 35 人（10.5%）であり、10 種類以上の人も 5 人いた。

これまでに食物アレルギーの症状があった児の、制限または除去している食物は診断された児と同様の傾向であった（表 28）。

平成 21 年度調査結果では、診断された児に対する除去食物の設問がないため、これまでに食物アレルギーの症状があった児の除去食物のみ比較した。

「現在、制限または除去している食物」として、順位・割合ともに上昇していた食物は、落花生、そば、くるみ、キウイ、ごま等であった。低下した食物は、牛乳、いくら、えび、小麦、かに等であった。

表 26. 現在、制限または除去している食物の有無

（これまでに診断された児）

	人数	%
総数	530	100.0
あり	332	62.6
なし	198	37.4
無回答	49	-

（注）これまでに診断された579人中、無回答49人を除く

表 27. 現在、制限または除去している食物 (複数回答)

(これまでに診断された児)

(n=332)

順位	制限または除去 食物	平成26年度	
		人数	%
1	卵	229	69.0
2	落花生	74	22.3
3	牛乳	69	20.8
4	カシューナッツ	43	13.0
5	そば	39	11.7
6	いくら	33	9.9
6	くるみ	33	9.9
8	キウイ	23	6.9
9	小麦	21	6.3
10	ごま	19	5.7
10	えび	19	5.7
12	かに	15	4.5
13	やまいも	14	4.2
14	大豆	11	3.3
15	さば	7	2.1
16	牛肉	5	1.5
16	さけ	5	1.5
18	あわび	4	1.2
18	バナナ	4	1.2
20	いか	3	0.9
21	鶏肉	2	0.6
21	豚肉	2	0.6
21	グミ・ゼラチン	2	0.6
24	オレンジ	1	0.3
24	もも	1	0.3
26	まつたけ	0	0.0
26	りんご	0	0.0
26	米	0	0.0
	その他	43	13.0

(注1) カシューナッツについては21年度調査では未実施

(注2) これまでに診断された579人中、制限または除去しているに回答のあった332人を対象

表 28. 現在、制限または除去している食物（複数回答）

（これまでに症状があった児）（n=369）

（参考）平成 21 年度調査（n=295）

順位	制限または除去食物	平成26年度			順位	制限または除去食物	平成21年度
		人数	%	平成21年度調査と比べた割合の変化			%
1	卵	235	63.7	1.3	1	卵	62.4
2	△ 落花生	75	20.3	8.4	5	落花生	11.9
3	▼ 牛乳	70	19.0	-7.8	2	牛乳	26.8
4	△ そば	45	12.2	1.0	6	そば	11.2
5	ー カシューナッツ	43	11.7	-		カシューナッツ	調査未実施
6	▼ いくら	37	10.0	-5.3	3	いくら	15.3
7	△ くるみ	33	8.9	2.8	10	くるみ	6.1
8	△ キウイ	24	6.5	2.8	14	キウイ	3.7
9	▼ えび	22	6.0	-3.5	7	えび	9.5
10	▼ 小麦	21	5.7	-6.5	4	小麦	12.2
11	▼ かに	20	5.4	-2.1	8	かに	7.5
12	▼ やまいも	19	5.1	-0.3	11	やまいも	5.4
12	△ ごま	19	5.1	1.4	14	ごま	3.7
14	▼ 大豆	11	3.0	-3.4	9	大豆	6.4
15	▼ さば	7	1.9	-2.8	12	さば	4.7
16	△ あわび	6	1.6	-0.8	17	あわび	2.4
17	△ 牛肉	5	1.4	-0.6	19	牛肉	2.0
17	△ さけ	5	1.4	-0.3	20	さけ	1.7
19	△ バナナ	4	1.1	-0.3	21	バナナ	1.4
20	▼ いか	3	0.8	-2.6	16	いか	3.4
21	▼ オレンジ	2	0.5	-0.9	21	オレンジ	1.4
21	▼ 鶏肉	2	0.5	-4.2	12	鶏肉	4.7
21	△ 豚肉	2	0.5	-0.2	24	豚肉	0.7
21	△ もも	2	0.5	0.2	27	もも	0.3
21	△ グミ・ゼラチン	2	0.5	-0.2	24	グミ・ゼラチン	0.7
26	▼ まつたけ	0	0.0	-0.7	24	まつたけ	0.7
26	▼ りんご	0	0.0	-1.4	21	りんご	1.4
26	▼ 米	0	0.0	-2.4	17	米	2.4
	その他	54	14.6	2.1		その他	12.5

（注1）カシューナッツについては21年度調査では未実施

（注2）△ 平成21年度調査と比べ順位が上昇している食物、▼ 低下している食物

（注3）食物アレルギー症状があった717人中、制限または除去している食物に回答のあった369人を対象



## イ 医師の指示で制限または除去している食物

これまでに食物アレルギーと診断され「現在、原因（と思われる）食物を制限または除去している」児の内、「医師の指示で制限または除去している食物」がある児は 284 人（89.9%）、医師の指示ではないが制限または除去している児は 32 人（10.1%）であった（表 29）。「医師の指示で制限または除去している食物」がある児 284 人は、無回答を除く全回答者 3,385 人の 8.4%にあたる。

制限または除去している食物数は、1 種類 154 人（54.2%）、2 種類 69 人（24.3%）、3 種類 28 人（9.9%）であった。5 種類以上の制限または除去をしている児も 17 人（6.0%）いた。

「現在、制限または除去している」と回答のあった上位 11 食物（表 27）について、医師の指示による制限または除去かどうかを図 4 に示した。医師の指示により制限または除去している割合が高い食物は、小麦（95.2%）、卵（87.3%）、牛乳（85.5%）、落花生（85.1%）であった。そば、キウイ、えびは医師の指示なく制限または除去をしている割合が高かった。

表 29. 現在、制限または除去している食物と医師の指示の状況

（これまでに診断された児）

医師の指示での制限または除去の状況	人数	%
総数	316	100.0
医師の指示有	284	89.9
医師の指示無	32	10.1
無回答	16	-

（注）制限または除去している食物がある332人中、無回答16人を除く

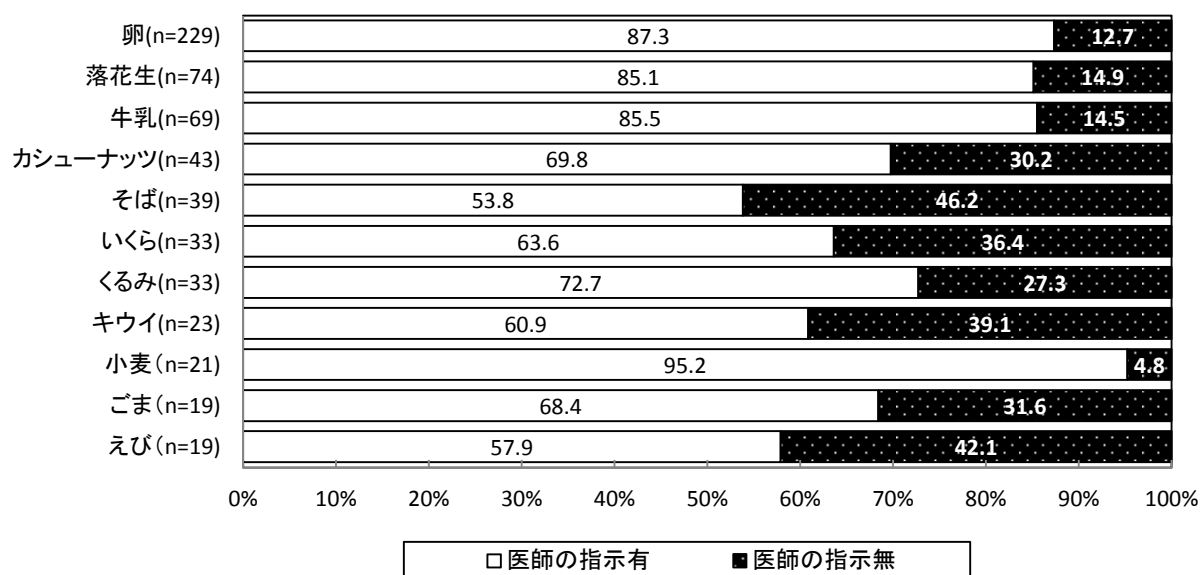


図 4. 現在、制限または除去している食物と医師の指示の状況

（食物アレルギーと診断された児（表 27）の制限または除去食物上位 11 食物）

ウ これまでの食物経口負荷試験の実施状況

食物アレルギーと診断された児のうち、食物経口負荷試験を実施したと回答したのは 158 人 (28.8%) であった (表 30)。

実施した食物は、卵が多く 78.5%、次いで牛乳 32.3%、小麦 20.9%の順に多かった (表 31)。

表 30. これまでに食物経口負荷試験を実施した食物の有無

(これまでに診断された児)

食物経口負荷試験	人数	%
総数	548	100.0
実施した	158	28.8
実施したことはない	390	71.2
無回答	31	-

(注) これまでに診断された579人中、無回答31人を除く

表 31. これまでに食物経口負荷試験を受けたことのある食物(複数回答)

(食物経口負荷試験を受けたことのある児) (n=158)

順位	食物経口負荷試験 実施食物	食物経口負荷試験		順位	食物経口負荷試験 実施食物	食物経口負荷試験	
		人数	%			人数	%
1	卵	124	78.5	14	くるみ	1	0.6
2	牛乳	51	32.3	14	さけ	1	0.6
3	小麦	33	20.9	14	もも	1	0.6
4	大豆	11	7.0	14	やまいも	1	0.6
5	落花生	9	5.7	14	りんご	1	0.6
6	ごま	6	3.8	14	バナナ	1	0.6
7	そば	4	2.5	14	米	1	0.6
8	えび	3	1.9	-	いくら	0	0.0
8	かに	3	1.9	-	あわび	0	0.0
8	カシューナッツ	3	1.9	-	牛肉	0	0.0
11	キウイ	2	1.3	-	いか	0	0.0
11	鶏肉	2	1.3	-	オレンジ	0	0.0
11	さば	2	1.3	-	豚肉	0	0.0
				-	まつたけ	0	0.0
				-	グミ・ゼラチン	0	0.0
				-	その他	8	5.1

## (6) 誤食の状況

食物アレルギーと診断された児の 25.2%が、これまでに誤食で症状が出たことがあった(表 32)。誤食の起きた場所は、自宅が 69.0%で最も多く、次いでレストラン等の外食先 33.8%、親戚・友人宅 22.5%、保育施設 7.0%、その他の場所が 5.6%であった(図 5)。

誤食理由を表 33 に示した。その他の誤食理由は、自宅では、「アレルギーに触れた手で調理・対応してしまった」「アレルギーの洗い残し」「調理が十分でなかった」、レストラン等の外食先では、「アレルギー表示がなかった」「食べるものが少なく少量なら大丈夫と思った」、親戚・友人宅では、「アレルギーのある食材に触れた箸やおもちゃ、手を介して」「アレルギーに対する周囲の理解が薄かった」「原料の確認をしなかった」等であった。

表 32. 誤食での症状の出現の有無

症状の出現	人数	%
総数	564	100.0
ある	142	25.2
なし	422	74.8
無回答	15	—

(注) これまでに診断を受けた579人中、無回答15人を除く

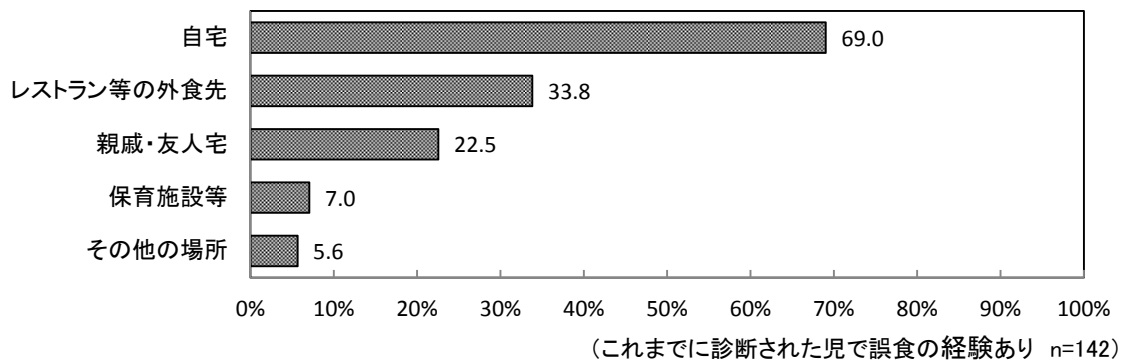


図 5. 誤食の起こった場所 (複数回答)

表 33. 誤食の起こった場所別の誤食理由(複数回答)

<自宅> (誤食経験者 n=98)

誤食理由	人数	%
調理中に誤って混入してしまった	11	11.2
子供が誤って食べてしまった	41	41.8
アレルギー表示を確認しなかったまたは忘れた	17	17.3
アレルギー表示を確認したが、見落とした	27	27.6
アレルギー表示を確認したが、表示が間違っていた	6	6.1
その他	20	20.4

<レストラン等の外食先> (誤食経験者 n=48)

誤食理由	人数	%
調理に混入してしまった	6	12.5
子供が誤って食べてしまった	8	16.7
レストラン等に確認をしなかったまたは忘れた	24	50.0
レストラン等が誤った情報を提供した	5	10.4
その他	7	14.6

<親戚・友人宅> (誤食経験者 n=32)

誤食理由	人数	%
調理中に誤って混入してしまった	2	6.3
子供が誤って食べてしまった	7	21.9
アレルギー表示を確認しなかったまたは忘れた	9	28.1
アレルギー表示を確認したが、見落とした	6	18.8
アレルギー表示を確認したが、表示が間違っていた	1	3.1
その他	9	28.1

<保育施設等> (誤食経験者 n=10)

誤食理由	人数	%
調理に混入してしまった	3	30.0
誤配膳されてしまった	6	60.0
子供が誤って食べてしまった	1	10.0
その他	0	0.0

(7) 未摂取の食物

未摂取食物として、28種類の食物のいずれかに回答のあったのは2,660人(77.4%)、無回答775人(22.6%)であった。なお、この無回答には未摂取食物のない者も含まれる可能性がある。今までに食べたことがない食物は、あわびが最も多く90.4%、次いでまつたけ78.9%、カシューナッツ52.1%であった。

なお、特定の食物を制限または除去しているため未摂取となる場合を除いた未摂取食物についても集計したが、状況はほぼ同様であった(表34)。

表 34. 未摂取食物の状況(複数回答)

食物		未摂取者 (n=2,660)		未摂取者 (除去している者を除く)
		人数 (a)	% (a/n)	人数
1	あわび	2,404	90.4	2,399
2	まつたけ	2,099	78.9	2,099
3	カシューナッツ	1,386	52.1	1,357
4	いくら	903	33.9	887
5	くるみ	796	29.9	781
6	落花生	752	28.3	717
7	やまいも	616	23.2	609
8	そば	563	21.2	533
9	かに	484	18.2	475
10	いか	451	17.0	449
11	キウイ	266	10.0	264
12	さば	221	8.3	217
13	グミ・ゼラチン	150	5.6	150
14	えび	146	5.5	139
15	もも	66	2.5	66
16	オレンジ	29	1.1	29
17	卵	17	0.6	3
18	牛肉	15	0.6	13
19	牛乳	12	0.5	3
20	大豆	11	0.4	11
21	さけ	9	0.3	9
21	ごま	9	0.3	7
23	りんご	6	0.2	6
23	バナナ	6	0.2	5
25	豚肉	4	0.2	4
26	小麦	2	0.1	0
27	鶏肉	1	0.0	1
28	米	0	0.0	0

## 5 花粉症の症状と治療

これまでに春の花粉症による鼻の症状があった児は 470 人 (14.3%)、目の症状 247 人 (7.6%) で、鼻や目の症状のいずれかがあった児は 504 人 (15.3%) であった (表 35)。

この 1 年間の症状は、鼻の症状があった児は 427 人 (12.9%)、目の症状 224 人 (6.8%) であった (表 36)。

これまでに春の花粉症による鼻の症状と診断された児は 5.9%、目の症状では 3.6% であり、いずれかの症状で花粉症と診断されたことがある児は 6.4% であった (表 37)。

診断された月齢は、鼻の症状、目の症状による診断ともに 30 ヶ月～36 ヶ月未満が最も多かった (表 38)。

表 35. 春の花粉症による症状

(これまでに症状があった児)

	平成26年度	
	人数	%
鼻の症状 (n=3,279)	470	14.3
目の症状 (n=3,247)	247	7.6
いずれかの症状あり (n=3,284)	504	15.3

(注) 各症状の n: 各症状の無回答を除く  
 いずれかの症状ありの n: どちらの症状にも無回答者151人を除く

表 36. 春の花粉症による症状

(この 1 年間の症状があった児)

	平成26年度	
	人数	%
鼻の症状 (n=3,304)	427	12.9
目の症状 (n=3,282)	224	6.8
いずれかの症状あり (n=3,318)	458	13.8

(注) 各症状の n: 各症状の無回答を除く  
 いずれかの症状ありの n: どちらの症状にも無回答者117人を除く

表 37. 春の花粉症の診断

(これまでに診断された児)

	平成26年度	
	人数	%
鼻の症状 (n=3,145)	186	5.9
目の症状 (n=3,137)	113	3.6
いずれかの診断あり (n=3,149)	203	6.4

(注) 各症状別の n: 各症状の無回答を除く  
 いずれかの診断ありの n: どちらの症状にも無回答者286人を除く

表 38. 初めて診断された時期

	花粉症（鼻の症状）		花粉症（目の症状）	
	人数	%	人数	%
総数	178	100.0	109	100.0
0ヶ月～	1	0.6	0	0.0
6ヶ月～	7	3.9	4	3.7
12ヶ月～	28	15.7	9	8.3
18ヶ月～	30	16.9	13	11.9
24ヶ月～	40	22.5	23	21.1
30ヶ月～	63	35.4	54	49.5
36ヶ月～	9	5.1	6	5.5
無回答	8	-	4	-

(注) 各症状における診断時期無回答を除く

## 6 通所（園）状況

保育所などに通所（園）している児の割合は 50.6%で、通所（園）施設は、認可保育所 66.2%、認証保育所 14.6%、幼稚園 9.0%、認定こども園 2.1%等であった（表 39、40）。

通所（園）を 12ヶ月未満で開始している児は 44.0%であった（表 41）。

通所（園）している児の中で、「これまでに何らかのアレルギー疾患を診断された児」の割合は 41.7%であった。疾患別では、ぜん息 11.4%、食物アレルギー17.9%、アトピー性皮膚炎 11.9%等であった（表 42）。

食物アレルギーのために保育施設・幼稚園などに受け入れを断られた経験のある児は 22 人であった。そのうち、12 人が現在通所（園）していた。

表 39. 通所（園）状況

(参考) 過去の調査結果

	平成26年度	
	人数	%
総数	3,225	100.0
通っている	1,631	50.6
*（再掲）認可・認証保育所、幼稚園、認定こども園	(1,466)	(45.5)
通っていない	1,594	49.4
無回答	210	-

	平成16年度	平成21年度
	%	%
総数	100.0	100.0
通っている	30.3	39.0
通っていない	69.7	61.0

(注1) 通所（園）状況無回答210人を除く

(注2) \*平成21年度調査で対象とした施設

表 40. 通所（園）施設

	人数	%
総数	1,596	100.0
認可保育所*	1,056	66.2
認証保育所*	233	14.6
幼稚園*	144	9.0
認定こども園*	33	2.1
上記以外の保育施設	81	5.1
その他	49	3.1
無回答	35	—

(注1) \*平成21年度調査で対象とした施設

(注2) 通所（園）している1631人中、  
無回答35人を除く

表 41. 通い始めた年齢

	人数	%
総数	1597	100.0
0ヶ月～	47	2.9
6ヶ月～	656	41.1
12ヶ月～	170	10.6
18ヶ月～	376	23.5
24ヶ月～	54	3.4
30ヶ月～	233	14.6
36ヶ月～	61	3.9
無回答	34	—

(注) 通所（園）している1631人中、  
無回答34人を除く

表 42. 通所（園）している児におけるアレルギー疾患の診断をされている児（複数回答）

(これまでに診断された児)

(通園児 n=1,631)

	人数	%
ぜん息	186	11.4
食物アレルギー	292	17.9
アトピー性皮膚炎	194	11.9
アレルギー性鼻炎	146	9.0
アレルギー性結膜炎	77	4.7
じんましん	210	12.9
その他のアレルギー疾患	24	1.5
何らかのアレルギー疾患あり	680	41.7



## 7 保育施設等への生活管理指導表の提出

現在、通所（園）している児のうち、これまでにアレルギー疾患と診断された児で生活管理指導表を通所（園）施設へ提出したことがある児は 12.2%、異なる形式のものを提出したことがある児は 13.4%であった（表 43）。

生活管理指導表及び異なる形式のものの提出割合を疾患別にみると、ぜん息 27.0%、食物アレルギー 46.6%、アトピー性皮膚炎 31.7%等であった（図 6）。食物アレルギーと診断された児で文部科学省（日本学校保健会作成）の「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」や厚生労働省の「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を提出している割合が他の疾患より高かった。

重症化防止への対応が必要な疾患として、ぜん息では「1か月以上毎日服薬している児」、食物アレルギーでは「医師に診断され食物を制限または除去している児」に絞り、生活管理指導表及び異なる形式のものの提出状況をみた。ぜん息では 105 人中、生活管理指導表 22 人（21.0%）、異なる形式のもの 13 人（12.4%）で何らかの書式を提出したのは 33.3%であった。食物アレルギーでは 144 人中、生活管理指導表 51 人（35.4%）、異なる形式のもの 34 人（23.6%）で、何らかの書式を提出したのは 59.0%であった。

表 43. 現在、通所（園）してアレルギー疾患と診断された児における生活管理指導表の提出状況

	人数	%
総数	647	100.0
「学校生活管理指導表」や「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を提出したことがある	79	12.2
上記とは異なる形式のものを提出したことがある	87	13.4
提出したことはない	481	74.3
無回答	33	—

（注）現在、通所（園）して何らかのアレルギー疾患と診断された児680人中、無回答33人を除く

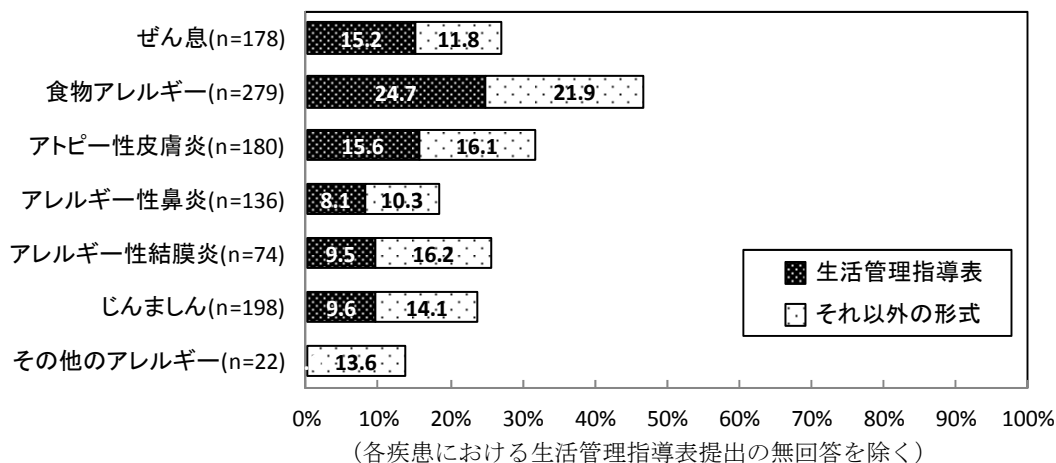


図 6. 現在、通所（園）してアレルギー疾患と診断された児における生活管理指導表の提出状況（各アレルギー疾患別）

## 8 アレルギー等に関する情報の認知度等について

### (1) 容器包装された加工食品のアレルギーの特定原材料表示

容器包装された加工食品のアレルギーの特定原材料表示を知っている保護者は 90.6%であった。「食物アレルギーの症状有または診断有」の児の保護者ではアレルギーの特定原材料表示を知っている割合は 95.5%と高かった（表 44、45）。

表 44. 容器包装された加工食品のアレルギーの特定原材料表示について

	人数	%
総数	3,351	100
知っている	3,036	90.6
知らない	315	9.4
無回答	84	—

表 45. 容器包装された加工食品のアレルギーの特定原材料表示について

(何らかのアレルギーの症状有または診断有の有無別)

	何らかのアレルギーの症状有 または 診断有の児の保護者		アレルギーの症状や診断の ない児の保護者		(再掲) 食物アレルギーの症状有 または 診断有の児の保護者	
	人数	%	人数	%	人数	%
総数	1,941	100.0	1,407	100.0	714	100.0
知っている	1,782	91.8	1,251	88.9	682	95.5
知らない	159	8.2	156	11.1	32	4.5
無回答	55	—	28	—	19	—

### (2) AED (自動体外式除細動器)

AEDという言葉を知ったことがある保護者は 87.2%であり、「何らかのアレルギーの症状有または診断有」の有無別での差はなかった（表 46、47）。

表 46. AEDについて

	人数	%
総数	3,352	100.0
聞いたことがある	2,922	87.2
なし	430	12.8
無回答	83	—

表 47. AEDについて（何らかのアレルギーの症状有または診断有の有無別）

	何らかのアレルギーの症状有 または 診断有の児の保護者		アレルギーの症状や診断の ない児の保護者		(再掲) 食物アレルギーの症状有 または 診断有の児の保護者	
	人数	%	人数	%	人数	%
総数	1,942	100.0	1,407	100.0	712	100.0
聞いたことがある	1,696	87.3	1,223	86.9	630	88.5
なし	246	12.7	184	13.1	82	11.5
無回答	54	-	28	-	21	-

(3) エピペン®について

エピペン®という言葉聞いたことがある保護者は 47.4%であった。「何らかのアレルギーの症状有または診断有」の児の保護者では 50.7%、「アレルギーの症状や診断なし」の児の保護者では 43.0%であった。「食物アレルギーの症状有または診断有」の児の保護者では、エピペン®という言葉聞いたことがある人は 58.5%であった（表 48、49）。

表 48. エピペン®について

	人数	%
総数	3,350	100.0
聞いたことがある	1,589	47.4
なし	1,761	52.6
無回答	85	-

表 49. エピペン®について（何らかのアレルギーの症状有または診断有の有無別）

	何らかのアレルギーの症状有 または 診断有の児の保護者		アレルギーの症状や診断の ない児の保護者		(再掲) 食物アレルギーの症状有 または 診断有の児の保護者	
	人数	%	人数	%	人数	%
総数	1,940	100.0	1,407	100.0	711	100.0
聞いたことがある	983	50.7	605	43.0	416	58.5
なし	957	49.3	802	57.0	295	41.5
無回答	56	-	28	-	22	-

#### (4) 子供のアレルギー講演会

東京都が実施している「子供のアレルギー講演会」を知っている保護者は、「知っており参加したことがある」「知っているが参加したことはない」を合わせて10.5%であった。「知らなかったが参加してみたい」と回答した人は、32.3%であった（図7、8）。

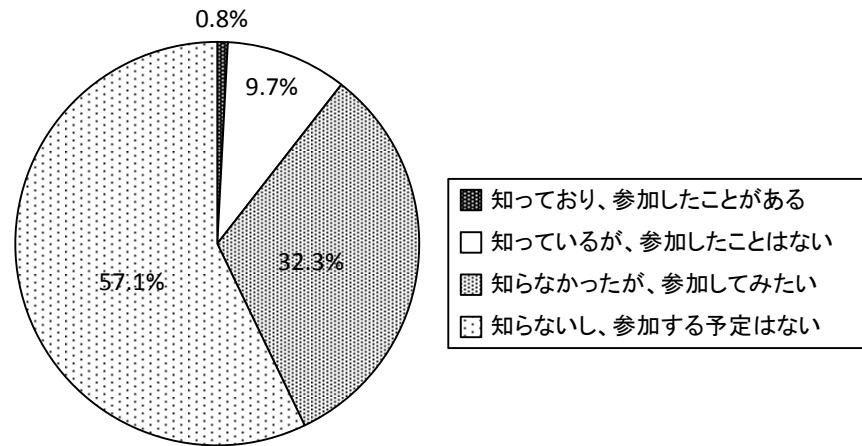
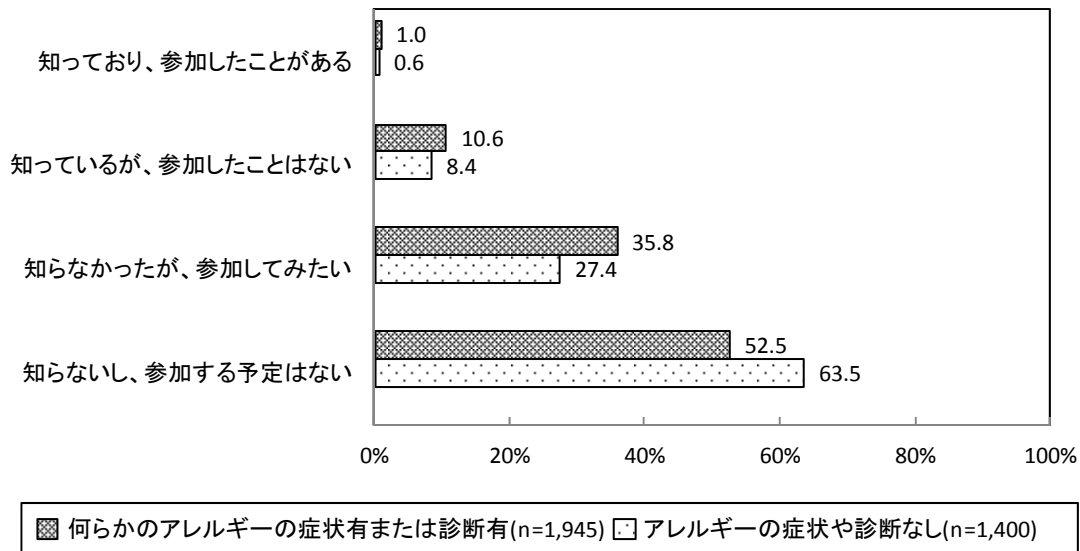


図7. 東京都が実施している子供のアレルギー講演会の周知 (n=3,348)



(注) 症状または診断への無回答3人を除く

図8. 東京都が実施している子供のアレルギー講演会の周知  
(何らかのアレルギーの症状有または診断有の有無別)

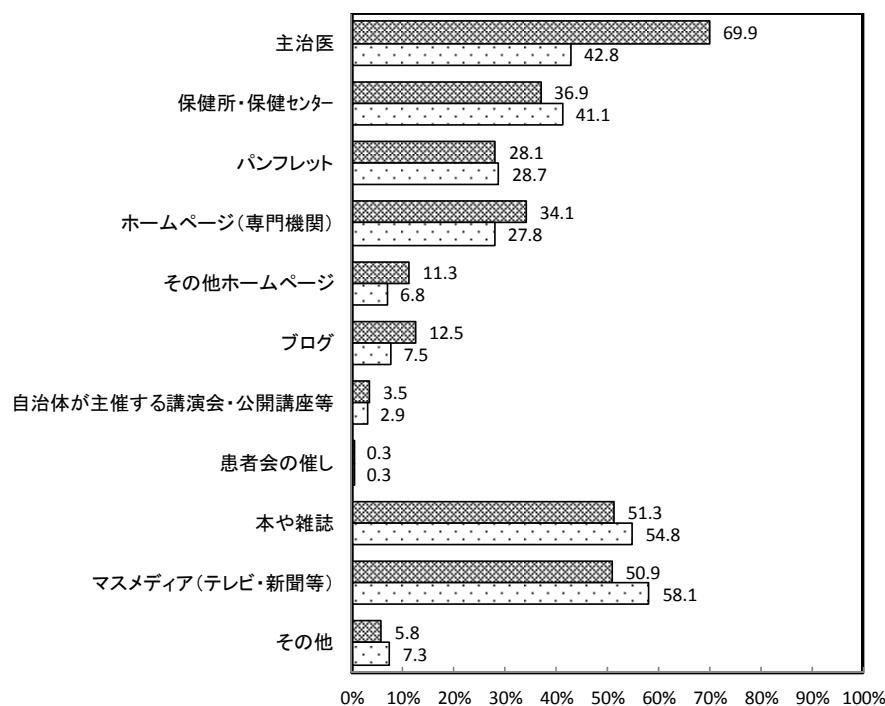
### (5) アレルギーに関する情報の入手方法

アレルギーに関する情報を入手した経験がある保護者は2,688人(80.5%)であった。入手方法は、主治医59.5%と最も多く、次いでマスメディア53.7%、本や雑誌52.6%、保健所・保健センター38.5%であった(表50)。

「何らかのアレルギーの症状有または診断有」の児の保護者が、「アレルギーの症状や診断なし」の児の保護者に比べ高かったのは、主治医69.9%、ホームページ(専門機関)34.1%等であった(図9)。

表50. アレルギーに関する情報の入手方法(複数回答)

		人数	%
入手したことがない		650	-
入手したことあり (n=2,688)	主治医	1,600	59.5
	保健所・保健センター	1,035	38.5
	パンフレット	761	28.3
	ホームページ(専門機関)	851	31.7
	その他ホームページ	258	9.6
	ブログ	285	10.6
	自治体が主催する講演会・公開講座等	88	3.3
	患者会の催し	8	0.3
	本や雑誌	1,415	52.6
	マスメディア(テレビ・新聞等)	1,443	53.7
その他	171	6.4	
無回答		97	-



■何らかのアレルギーの症状有または診断有(n=1,662) □アレルギーの症状や診断なし(n=1,024)

(注)症状または診断への無回答2人を除く

図9. アレルギーに関する情報の入手方法(複数回答)

## 9 アレルギー疾患対策に関する要望

### (1) 保育施設・幼稚園等に対する要望

保護者が「希望する」と回答した項目は、「職員の理解と知識の向上」64.4%で最も多く、次いで「アレルギー対応食の提供」「アレルギーの薬の預かりや投与」であった(図10)。

「何らかのアレルギーの症状有または診断有」の児の保護者では、「アレルギーの症状や診断なし」の児の保護者に比べ「職員の理解と知識の向上」「アレルギー対応食の提供」や「アレルギーの薬の預かりや投与」への希望が高かった(図11)。

その他として、「職員、保護者(アレルギーのある児の保護者だけでなく)、児童共にアレルギーについて共通認識を持てるような対応をして欲しい」「施設でのアレルギー対応の徹底」等があった。

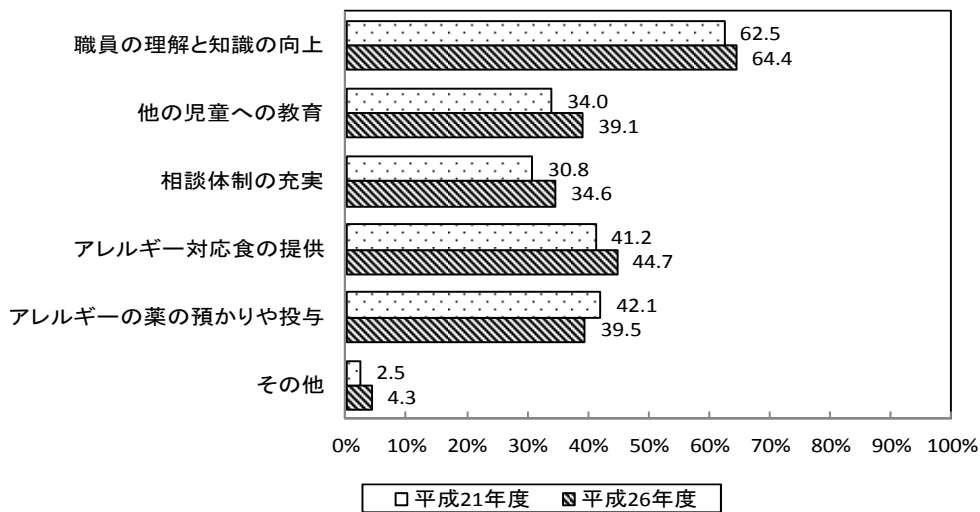
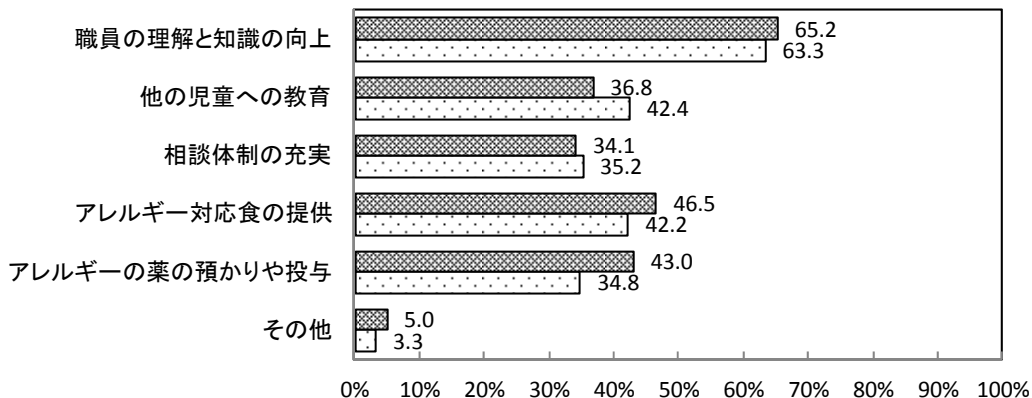


図10. 保育施設・幼稚園に対する希望(複数回答)



■何らかのアレルギーの症状有または診断有(n=1,996) □アレルギーの症状や診断なし(n=1,435)

(注) 症状または診断への無回答4人を除く

図11. 保育施設・幼稚園に対する希望(何らかのアレルギー症状有または診断有の有無別)

## (2) 行政（都や区市町村）に対する要望

保護者が「希望する」と回答した項目は、「禁煙・分煙など、たばこ対策の徹底」56.4%で最も多く、次いで「アレルギー疾患に関する知識や情報提供」「食品表示の監視の徹底」であった（図12）。アレルギー疾患の有無別でもほぼ同様の結果であった（図13）。

その他として、「アレルギー検査・関連費用の助成」「添加物に関する情報提供」等があった。

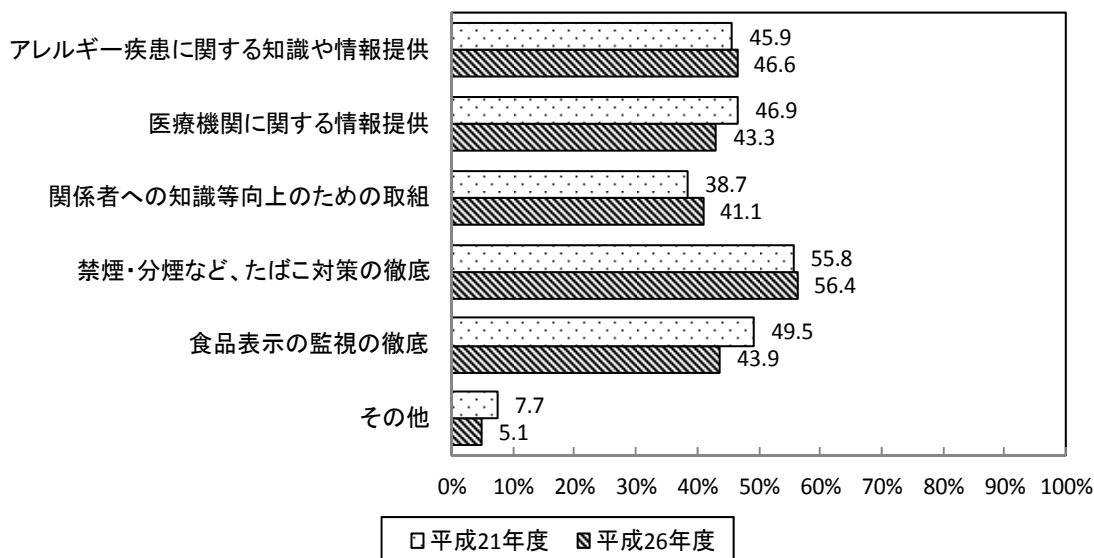
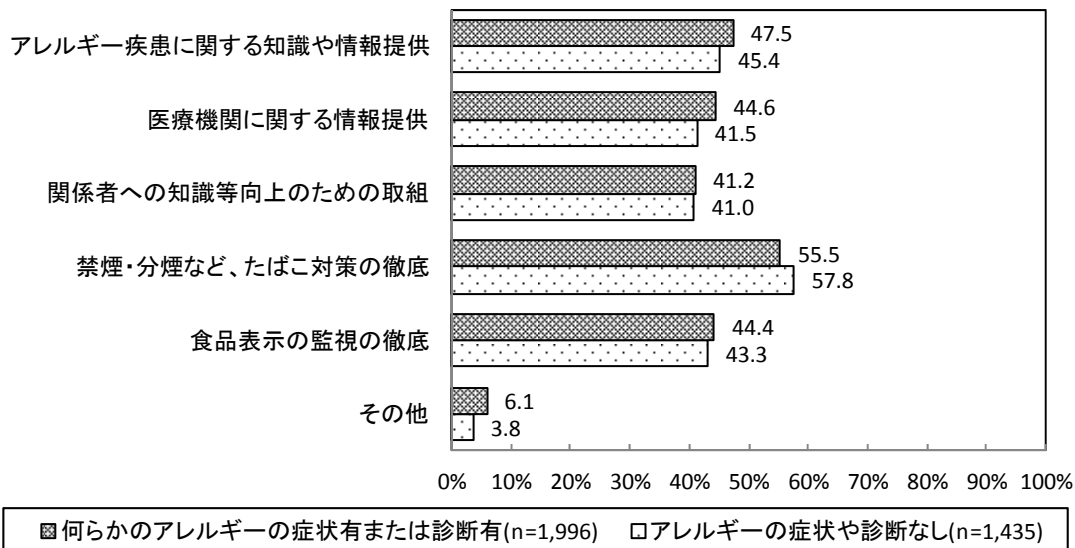


図12. 行政に対する希望（複数回答）



(注) 症状または診断への無回答4人を除く

図13. 行政に対する希望（何らかのアレルギー症状有または診断有の有無別）

### (3) その他の意見や要望等

「アレルギーに対する周りの理解を深め、知識の向上等サポートを充実して欲しい」91件、「保育施設等（職員）のアレルギーに対する対応力向上」37件、「アレルギーの予防方法・発症原因を知りたい」22件、「アレルギー検査・関連費用の助成をして欲しい」19件等の要望があった。



## 10 まとめ

本調査は、3歳児健康診査の受診者及びその保護者に対して調査票を配布し、郵送にて回答の協力を求めたものである。そのため、アレルギー症状を有する人やアレルギーに関心を持つ人の方が調査に協力的である傾向も考えられ、り患状況等が真の値より高く算出されるなど、調査手法による偏りの可能性があることに留意する必要がある。

### (1) 対象者の概要

平成26年10月の3歳児健康診査受診予定者は9,642人で、このうち8,383人に調査票を配布し3,435人より回答を得た（回収率41.0%）。

今回の調査における回答者の性別・地区別の割合（性別：無回答を除いた割合は男子50.4%、女子49.6%、地区別：区部66.2%、多摩地域33.6%、島しょ地域0.2%）は、東京都内の3歳児の性別・地区別の人口の割合（住民基本台帳による平成26年1月現在の人口：男子51.3%、女子48.7%、区部66.2%、多摩地域33.6%、島しょ地域0.2%）とほぼ同様であった。

### (2) アレルギー疾患のり患状況

#### ア アレルギー疾患の有症率、り患状況

3歳までに「何らかのアレルギーの症状」があった児は55.3%で、平成21年度調査結果と比べて1.5ポイント減少した。しかし平成16年度調査以降、3歳児の半数以上が「何らかのアレルギーの症状」を経験している状況が続いている。

「この1年間に何らかのアレルギーの症状があった児」のアレルギー症状は、アレルギー性鼻炎19.0%、アトピー性皮膚炎16.1%、2回以上の呼吸器症状11.7%、食物アレルギー9.9%等であった。また、「何らかのアレルギーの症状有かつ診断有の児」は、39.3%で、平成21年度調査結果と比べ食物アレルギーは増え、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎は減少した。平成11年度調査からのり患状況の推移では、食物アレルギーは一貫して増加傾向であったが、他の疾患では明らかな増加はみられなかった。

アレルギー疾患の診断時期は疾患により特徴があり、食物アレルギーで生後9ヶ月まで、アトピー性皮膚炎で生後12ヶ月までに約半数が診断されており、特に乳児期早期からの対応が必要である。

#### イ アレルギー疾患の合併状況

各疾患別の合併状況は、アレルギー性結膜炎と診断された児がアレルギー性鼻炎を合併している割合が5割以上で最も多く、またアトピー性皮膚炎と診断された児が食物アレルギーを、じんましんと診断された児が食物アレルギーを合併している割合が4割以上であった。

また、ぜん息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎の3疾患を合併している児も全体の1.3%いた。

アレルギー疾患は複数の疾患を合併する場合も多いため、関連する専門医療が連携してアレルギーのある児の健康管理を総合的にみていく必要がある。

### (3) ぜん息の症状、診断と治療状況

これまでに呼吸器症状のあった児、診断された児の割合は、平成 21 年度調査結果に比べ減少傾向であった。また性別では男子に多かった。

この 1 年間の呼吸器症状の状態から分類した重症度を平成 21 年度調査結果と比べると、最も軽症である間欠型が増加した一方、軽症持続型が減少し、中等症持続型から最重症持続型の割合は変わりなかった。

服薬の遵守状況は、9 割以上の保護者が医師の指示通りに服薬できていた。重症持続型及び最重症持続型では、全員が「言われたとおりにできている」「だいたいできている」だったが、間欠型の児では「半分くらい」「ほとんどできていない」児が散見された。処方薬の種類・使用方法等との関連も考慮する必要があるが、症状がほとんど出ない時期には医師の指示通り服薬し続ける意識が低い傾向があると推察される。

### (4) 食物アレルギーの症状、診断と治療状況

#### ア 食物アレルギーのり患状況

これまでに「食物アレルギーの症状有かつ診断有」の児は 16.7%と、平成 21 年度調査結果と比べ 2.3 ポイントの増加であった。

#### イ 症状

食物アレルギーで出現した症状は、平成 21 年度調査とは質問方法（今回の調査では具体的な症状の例示を多くしたため高く回答される可能性がある）が異なるため単純に比較できないが、全ての症状の割合が多くなっていた。食物アレルギーと診断された児では、最も頻度が高い症状は皮膚の症状 94.7%であった。対応に注意が必要な消化器の症状は 24.2%、呼吸器の症状は 15.0%、さらに最も重篤なショック症状も 10.4%の児が経験していた。保護者には、食物アレルギーにおける危険な症状に迅速・適切に対応できるよう正しい知識の習得機会や講演会の開催等を広く周知する等、積極的な情報提供が必要であると考えられる。

アナフィラキシー症状の補助治療薬としてエピペン®を処方されている児は 26 人であった。この 1 年間のショック症状経験者 22 人のうち、エピペン®を処方されていたのは 6 人であった。エピペン®の適用は体重 15 kg 以上であり、3 歳児の体重は適用基準に満たない場合が多いことから、処方時期の難しさが影響していると考えられる。

#### ウ 食物アレルギーが出現した原因食物と制限または除去の状況

食物アレルギーの原因（と思われる）食物は、食物アレルギーと診断された児で卵、牛乳、小麦、落花生、大豆、キウイ、えびの順で多かった。

これまでに食物アレルギーと診断された児の 62.6%が現在、食物の制限または除去をしている。食物の制限または除去は、約 9 割の児が医師の指示によるもので、1 割は保護者の判断による制限または除去であった。

また、食物アレルギーと診断された児の約 3 割が食物経口負荷試験を受けており、特に、卵、牛乳、小麦は負荷試験を受けている割合が高かった。

成長・発達期にある乳幼児において、保護者の自己判断によって不必要な制限や除去をする

ことがないように、正しいアレルギーの診断に基づく必要最小限の食物制限や除去に関する普及啓発が必要と考えられる。

## エ 未摂取食物の状況

加工食品についてアレルギー表示義務のある食品原材料 7 品目、表示が推奨されている食品原材料 20 品目及び米について未摂取状況を調査した。半数以上の児がまだ食べていない食物は、あわび、まつたけ、カシューナッツであった。未摂取食物の中には、一般的に保育施設等の給食等で提供される可能性の高い食物も含まれている。今後、保育施設等に通所（園）を開始する際に注意が必要であり、また未摂取食物について施設等と情報・対応を共有することが大切と思われる。

## オ 誤食と誤食の起こった状況

食物アレルギーと診断された児の 4 分の 1 が誤食を経験していた。誤食の場合は自宅が最も多いが、3 割以上がレストラン等の外食先でも経験していた。

誤食の理由は、自宅では「子供が誤って食べてしまった」、「表示を見落とした」または「確認しなかった」等が多かった。その他、「アレルギーに触れた手で調理・対応してしまった」「アレルギーの洗い残し」「調理が十分でなかった」など、誤食経験者のヒヤリハットが具体的に述べられており、食物アレルギーのある児の保護者の日常生活における細かな配慮や負担の大きさが伺えた。

一方で、少数ではあるが「アレルギー表示を確認したが表示が間違っていた」、「レストラン等の外食先での情報が誤っていた」、「アレルギー表示がなかった」等もあった。

誤食は、生命の危険に関わるため、誤食の予防対策は非常に重要である。常日頃から加工食品の食品表示に留意するとともに、安心して、安全な加工食品を選択購入できるようアレルギーの特定原材料表示の徹底やレストラン等の食品提供施設における食物アレルギーに関する原因食品の情報提供の在り方などが課題と考える。

## (5) 通所（園）児の状況

現在、通所（園）している児のうち、「何らかのアレルギー疾患を診断された児」は約 4 割を占めており、家庭だけでなく、通所（園）施設におけるアレルギー対策の必要性が再確認できた。

アレルギーのある児が安心・安全に集団生活を送るためには、その児のアレルギーの状態に応じた適切な対応を共有することが重要で、文部科学省（日本学校保健会作成）の「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」、厚生労働省作成の「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」の活用が推奨されている。特に食物アレルギーの生活管理指導表は、集団生活におけるアレルギー除去食等について診断根拠も示される書式である。

この 2 つの生活管理指導表の提出状況は、食物アレルギー 24.7%、アトピー性皮膚炎 15.6%、ぜん息 15.2%であった。

また、上記とは異なる形式のものを含めた提出状況は、食物アレルギー 46.6%、アトピー性皮膚炎 31.7%、ぜん息 27.0%であった。

「ぜん息と診断され1か月以上の間毎日使用するよう処方されている薬がある児」では、生活管理指導表 21.0%、異なる形式のもの 12.4%で合わせて 33.3%、また「食物アレルギーと診断され食物制限または除去を指示されている児」では、生活管理指導表 35.4%、異なる形式のもの 23.6%で合わせて 59.0%が何らかの形式で提出していた。食物アレルギーでは、誤食は生命危機を引き起こす可能性があるため、生活管理指導表の活用の割合が高いといえる。しかし一方で、対応の必要なぜん息では約 6 割、食物アレルギーでは約 4 割の児が各種書式に基づく情報提供をしていなかった。

アレルギーのある児が安心・安全に集団生活を送るためには、生活管理指導表を十分に活用し、保護者、保育・教育施設職員、主治医間の的確な情報共有が重要である。

## (6) アレルギー疾患に関する情報等について

アレルギーの特定原材料表示を知っている保護者は約 9 割であった。AED という言葉を聞いたことがある保護者は約 9 割、エピペン®という言葉を聞いたことがある保護者は約 5 割であった。

アレルギーに関する情報については、約 8 割の保護者が入手したことがあると回答しており、関心の高さが伺われる。入手方法として最も多いのは主治医からの情報であり、マスメディア、本や雑誌が次いで多かった。保健所・保健センターからの情報は約 4 割であった。

アレルギーに関する情報は様々で、多様な方法で入手される。不正確な情報に惑わされることがないように、必要な人が正しい情報を得ることができるように各機関で情報発信をしていく必要がある。

## (7) アレルギー疾患対策についての今後の取組への要望

### ア 保育施設・幼稚園等に対する要望

保育施設・幼稚園等に対する希望は「アレルギー疾患に関する職員の理解と知識の向上」が最も多く、次いで「アレルギー対応食の提供」の順であった。

保育施設・幼稚園等向けにアレルギー疾患や食物アレルギーに関する継続的な研修が必要と考える。

### イ 行政に対するアレルギー疾患対策に関する要望

行政への希望は「禁煙・分煙など、たばこ対策の徹底」が最も多く、次いで「都民に対するアレルギー疾患に関する知識や情報提供」、「食品表示の監視の徹底」の順であった。

また、自由記載の意見や要望では、「アレルギーに対する周りの理解を深め、知識の向上等のサポートを充実して欲しい」が最も多かった。

東京都が実施しているアレルギー講演会について、3 割以上で「知らなかったが参加してみたい」の回答があったことも勘案すると、都民向けの講演会やパンフレット、ホームページ等、今まで以上に広報し、継続して実施していく必要がある。

## (8) 今後の対応策

アレルギー疾患は、アレルゲン対策や治療を適切に行いアレルギー症状をコントロールすること

が重症化予防のために重要であり、さらに他のアレルギー疾患の予防につながると考えられている。

また、アレルギー疾患の中でも、ぜん息発作や食物アレルギーのアナフィラキシーショックは生命危機の可能性もあるため、緊急時対応が重要である。

そのため、長期間の治療や症状のコントロール、食生活・生活環境の調整、緊急時対応等が必要であり、児と保護者の不安や負担は大きい。アレルギーのある児が安心・安全に、そして児と保護者の QOL が高く維持できるように対策を進めていく必要がある。

今回の調査では、アレルギー疾患のり患状況は 5 年前の調査と大きく変わることはなかったが、依然として半数以上の児が 3 歳までに何らかのアレルギーの症状を経験していること、また約 4 割の児が何らかのアレルギー疾患の診断を受けた経験があることから、乳児期早期からのアレルギー疾患対策のさらなる推進が必要である。今後は、区市町村と連携し、より一層、保護者への正しい知識の普及啓発に取り組むことが求められている。

また、保育施設等に通う児の約 4 割が何らかのアレルギー疾患を経験していることから、家庭から保育・教育施設等まで一貫した適切な対応・管理（重症化防止対策）、緊急時対応等が確実に行われることが重要である。今後も事故発生時の緊急対応の関係者向け研修を引き続き実施していくとともに、施設での職種・職層毎の事故発生の未然防止に関する研修の充実を図っていく必要がある。

東京都では、平成 10 年 8 月から「東京都アレルギー疾患対策検討委員会」を設置し、総合的なアレルギー疾患対策に取り組んできた。また、平成 26 年にアレルギー疾患対策基本法が成立し、自治体等の関係機関が連携して総合的なアレルギー疾患対策を推進していくことが求められている。今回の調査結果を参考に保健・医療・福祉・教育・救急等関係部署との連携を強化し、より総合的なアレルギー疾患対策を推進していく。

## 引用文献

- 1) 日本小児アレルギー学会. 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2012. 2012

## 参考文献

- 1) 日本小児アレルギー学会. 小児アレルギー疾患総合ガイドライン 2011. 2011
- 2) 一般社団法人日本アレルギー学会. アレルギー総合ガイドライン 2013. 2013
- 3) 日本小児アレルギー学会食物アレルギー委員会. 食物アレルギー診療ガイドライン 2012. 2012
- 4) 厚生労働省. 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン. 平成 23 年 3 月
- 5) 財団法人日本学校保健会. 学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン. 平成 20 年 3 月
- 6) 厚生労働省研究班. 食物アレルギーの診療の手引き 2014. 2014
- 7) 東京都福祉保健局. アレルギー疾患に関する 3 歳児全都調査 (平成 21 年度) 報告書. 平成 22 年 3 月
- 8) 中部管区行政評価局. 乳幼児の食物アレルギー対策に関する実態調査結果報告書. 平成 27 年 2 月
- 9) 平成 25 年度消費者庁支出委任費 研究代表 宇理須厚雄. 食物アレルギーひやりはっと事例集 2014. 2014 年
- 10) 独立行政法人環境再生保全機構. ぜん息予防のためのよくわかる食物アレルギー対応ガイドブック 2014. 2014
- 11) 西間三馨他. 西日本小学児童におけるアレルギー疾患有症率調査－1992, 2002, 2012 年の比較－. 日本小児アレルギー学会誌, 2013, vol.27, no.2, p.149-169

### Ⅲ 資料編





## 集計対象者の概要 3歳児の属性

表 1. 居住地域

	人数	割合
区部	2,275	66.2
多摩地域	1,153	33.6
島しょ地域	7	0.2
総数	3,435	100.0

表 2. 性別

	人数	割合
男子	1,615	47.0
女子	1,590	46.3
無回答	230	6.7
総数	3,435	100.0

表 3. 通所（園）状況

	人数	割合
通所（園）している	1,631	47.5
通所（園）していない	1,594	46.4
無回答	210	6.1
総数	3,435	100.0

表 4. 男女別の通所（園）状況

	男子		女子		無回答		総数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
通所（園）している	825	50.6	791	48.5	15	0.9	1,631
通所（園）していない	790	49.6	799	50.1	5	0.3	1,594
無回答	0	0.0	0	0.0	210	100.0	210
総数	1,615	47.0	1,590	46.3	230	6.7	3,435

表 5. 通所（園）開始年齢

	人数	割合
0ヶ月～	47	2.9
6ヶ月～	656	40.2
12ヶ月～	170	10.4
18ヶ月～	376	23.1
24ヶ月～	54	3.3
30ヶ月～	233	14.3
36ヶ月～	57	3.5
42ヶ月～	4	0.2
無回答	34	2.1
総数	1,631	100.0

表 6. 通所（園）施設

	人数	割合
認可保育所	1,056	64.7
認証保育所	233	14.3
幼稚園	144	8.8
認定こども園	33	2.0
上記以外の保育施設	81	5.0
その他	49	3.0
無回答	35	2.1
総数	1,631	100.0

## A お子様のアレルギー疾患についてお聞きします

表7. 問1 これまでに次のアレルギー「症状」がありましたか？あてはまる番号1つに○印をつけてください。1から7までについて、それぞれお答えください。

	これまでの症状														
	1症状あり					2症状なし					無回答				
	男子	女子	性別不明	総数		男子	女子	性別不明	総数		男子	女子	性別不明	総数	
				人数	割合				人数	割合				人数	割合
1呼吸器症状	402	330	72	804	23.4	1,197	1,242	155	2,594	75.5	16	18	3	37	1.1
(再掲) 1回の呼吸器症状	60	61	14	135	3.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2回以上の呼吸器症状	256	192	42	490	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
回数無回答	86	77	16	179	5.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2食物アレルギー	385	286	46	717	20.9	1,219	1,290	181	2,690	78.3	11	14	3	28	0.8
3アトピー性皮膚炎	339	270	57	666	19.4	1,259	1,301	168	2,728	79.4	17	19	5	41	1.2
4アレルギー性鼻炎	362	284	59	705	20.5	1,230	1,291	165	2,686	78.2	23	15	6	44	1.3
5アレルギー性結膜炎	141	114	26	281	8.2	1,450	1,458	199	3,107	90.5	24	18	5	47	1.4
6じんましん	337	309	38	684	19.9	1,259	1,263	186	2,708	78.8	19	18	6	43	1.3
7その他のアレルギー疾患	50	31	6	87	2.5	1,529	1,527	215	3,271	95.2	36	32	9	77	2.2
何らかのアレルギーの症状あり	954	808	132	1,894	55.1	657	779	97	1,533	44.6	4	3	1	8	0.2

表8. 問1 この1年間に「症状」がありましたか？あてはまる番号1つに○印をつけてください。1から7までについて、それぞれにお答えください。

	この1年間の症状														
	1症状あり					2症状なし					無回答				
	男子	女子	性別不明	総数		男子	女子	性別不明	総数		男子	女子	性別不明	総数	
				人数	割合				人数	割合				人数	割合
1呼吸器症状	283	228	49	560	16.3	1,319	1,349	177	2,845	82.8	13	13	4	30	0.9
(再掲) 1回の呼吸器症状	26	19	3	48	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2回以上の呼吸器症状	205	158	36	399	11.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
回数無回答	52	51	10	113	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2食物アレルギー	188	133	14	335	9.8	1,402	1,431	210	3,043	88.6	25	26	6	57	1.7
3アトピー性皮膚炎	276	222	47	545	15.9	1,309	1,351	176	2,836	82.6	30	17	7	54	1.6
4アレルギー性鼻炎	328	259	55	642	18.7	1,257	1,310	168	2,735	79.6	30	21	7	58	1.7
5アレルギー性結膜炎	113	93	22	228	6.6	1,480	1,477	203	3,160	92.0	22	20	5	47	1.4
6じんましん	216	194	24	434	12.6	1,376	1,370	198	2,944	85.7	23	26	8	57	1.7
7その他のアレルギー疾患	32	22	5	59	1.7	1,551	1,541	215	3,307	96.3	32	27	10	69	2.0
何らかのアレルギーの症状あり	771	644	106	1,521	44.3	842	944	123	1,909	55.6	2	2	1	5	0.1

表 9. 問 1 これまでに「症状」がありましたか？（通所（園）状況別）

	これまでの症状											
	1症状あり				2症状なし				無回答			
	通所（園） している	通所（園） していない	無回答	総数	通所（園） している	通所（園） していない	無回答	総数	通所（園） している	通所（園） していない	無回答	総数
1呼吸器症状	437	302	65	804	1,180	1,272	142	2,594	14	20	3	37
（再掲）1回の呼吸器症状	61	61	13	135	-	-	-	-	-	-	-	-
2回以上の呼吸器症状	270	183	37	490	-	-	-	-	-	-	-	-
回数無回答	106	58	15	179	-	-	-	-	-	-	-	-
2食物アレルギー	354	319	44	717	1,263	1,264	163	2,690	14	11	3	28
3アトピー性皮膚炎	338	276	52	666	1,279	1,296	153	2,728	14	22	5	41
4アレルギー性鼻炎	377	275	53	705	1,235	1,300	151	2,686	19	19	6	44
5アレルギー性結膜炎	141	116	24	281	1,471	1,455	181	3,107	19	23	5	47
6じんましん	341	308	35	684	1,272	1,266	170	2,708	18	20	5	43
7その他のアレルギー疾患	45	36	6	87	1,549	1,524	198	3,271	37	34	6	77
何らかのアレルギーの症状あり	960	816	118	1,894	669	773	91	1,533	2	5	1	8

表 10. 問 1 この 1 年間に「症状」がありましたか？（通所（園）状況別）

	この1年間の症状											
	1症状あり				2症状なし				無回答			
	通所（園） している	通所（園） していない	無回答	総数	通所（園） している	通所（園） していない	無回答	総数	通所（園） している	通所（園） していない	無回答	総数
1呼吸器症状	304	211	45	560	1,319	1,365	161	2,845	8	18	4	30
（再掲）1回の呼吸器症状	23	22	3	48	-	-	-	-	-	-	-	-
2回以上の呼吸器症状	215	152	32	399	-	-	-	-	-	-	-	-
回数無回答	66	37	10	113	-	-	-	-	-	-	-	-
2食物アレルギー	167	155	13	335	1,445	1,407	191	3,043	19	32	6	57
3アトピー性皮膚炎	283	220	42	545	1,330	1,345	161	2,836	18	29	7	54
4アレルギー性鼻炎	338	254	50	642	1,268	1,313	154	2,735	25	27	6	58
5アレルギー性結膜炎	108	100	20	228	1,507	1,468	185	3,160	16	26	5	47
6じんましん	216	196	22	434	1,394	1,369	181	2,944	21	29	7	57
7その他のアレルギー疾患	32	22	5	59	1,571	1,538	198	3,307	28	34	7	69
何らかのアレルギーの症状あり	780	646	95	1,521	850	945	114	1,909	1	3	1	5

表 11. 問 2 これまでに、次のアレルギー疾患であると医師に「診断」されたことがありますか？  
1 から 7 までのそれぞれについてあてはまる番号 1 つに○印をつけてください。

	診断の有無														
	1 診断されたことがある					2 診断されたことがなし					無回答				
	男子	女子	性別不明	総数		男子	女子	性別不明	総数		男子	女子	性別不明	総数	
				人数	割合				人数	割合				人数	割合
1 ぜん息、ぜん息性気管支炎、小児ぜん息	166	143	25	334	9.7	1,427	1,423	195	3,045	88.6	22	24	10	56	1.6
(再掲) 1 回の呼吸器症状	20	18	3	41	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 回以上の呼吸器症状	142	124	21	287	8.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
回数無回答	4	1	1	6	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 食物アレルギー	319	224	36	579	16.9	1,280	1,342	184	2,806	81.7	16	24	10	50	1.5
3 アトピー性皮膚炎	200	159	28	387	11.3	1,387	1,408	193	2,988	87.0	28	23	9	60	1.7
4 アレルギー性鼻炎	153	123	30	306	8.9	1,433	1,435	189	3,057	89.0	29	32	11	72	2.1
5 アレルギー性結膜炎	87	65	14	166	4.8	1,498	1,492	205	3,195	93.0	30	33	11	74	2.2
6 じんましん	218	185	23	426	12.4	1,374	1,376	197	2,947	85.8	23	29	10	62	1.8
7 その他のアレルギー疾患	25	18	3	46	1.3	1,543	1,530	212	3,285	95.6	47	42	15	104	3.0
何らかのアレルギー疾患の診断あり	697	568	97	1,362	39.7	912	1,011	127	2,050	59.7	6	11	6	23	0.7

表 12. 問 2 これまでに医師に「診断」されたことがある各アレルギー疾患の合併状況  
(複数回答)

診断	合併 各疾患の診断有 n	ぜん息、ぜん息性気管支炎、小児ぜん息		食物アレルギー		アトピー性皮膚炎		アレルギー性鼻炎		アレルギー性結膜炎		じんましん		その他のアレルギー疾患	
		人数(a)	%(a/n)	人数(b)	%(b/n)	人数(c)	%(c/n)	人数(d)	%(d/n)	人数(e)	%(e/n)	人数(f)	%(f/n)	人数(g)	%(g/n)
		ぜん息、ぜん息性気管支炎、小児ぜん息	334			98	29.3	75	22.5	56	16.8	30	9.0	52	15.6
食物アレルギー	579	98	16.9			185	32.0	93	16.1	54	9.3	175	30.2	21	3.6
アトピー性皮膚炎	387	75	19.4	185	47.8			80	20.7	45	11.6	100	25.8	10	2.6
アレルギー性鼻炎	306	56	18.3	93	30.4	80	26.1			87	28.4	71	23.2	9	2.9
アレルギー性結膜炎	166	30	18.1	54	32.5	45	27.1	87	52.4			44	26.5	7	4.2
じんましん	426	52	12.2	175	41.1	100	23.5	71	16.7	44	10.3			15	3.5
その他のアレルギー疾患	46	6	13.0	21	45.7	10	21.7	9	19.6	7	15.2	15	32.6		

表 13. 問 2 これまでに医師に「診断」されたことがある各アレルギー疾患の合併状況  
(ぜん息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎)

	人数	割合
ぜん息のみ	204	5.9
ぜん息と食物アレルギー (2つだけの合併)	55	1.6
ぜん息とアトピー性皮膚炎 (2つだけ合併)	32	0.9
食物アレルギーのみ	339	9.9
食物アレルギーとアトピー性皮膚炎 (2つだけの合併)	142	4.1
アトピー性皮膚炎のみ	170	4.9
ぜん息と食物アレルギーとアトピー性皮膚炎 (3つの合併)	43	1.3
いずれもなし	2,427	70.7
無回答	23	0.7
総数	3,435	100.0

表 14. 問2 これまでに次のアレルギー疾患であると診断された児の通所（園）状況

	診断											
	1診断あり				2診断なし				無回答			
	通所(園)している	通所(園)していない	無回答	総数	通所(園)している	通所(園)していない	無回答	総数	通所(園)している	通所(園)していない	無回答	総数
1ぜん息、ぜん息性気管支炎、小児ぜん息	186	127	21	334	1,425	1,441	179	3,045	20	26	10	56
(再掲) 1回の呼吸器症状	22	16	3	41	-	-	-	-	-	-	-	-
2回以上の呼吸器症状	159	111	17	287	-	-	-	-	-	-	-	-
回数無回答	5	0	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-
2食物アレルギー	292	253	34	579	1,321	1,319	166	2,806	18	22	10	50
3アトピー性皮膚炎	194	168	25	387	1,412	1,400	176	2,988	25	26	9	60
4アレルギー性鼻炎	146	132	28	306	1,455	1,431	171	3,057	30	31	11	72
5アレルギー性結膜炎	77	76	13	166	1,523	1,486	186	3,195	31	32	11	74
6じんましん	210	194	22	426	1,399	1,370	178	2,947	22	30	10	62
7その他のアレルギー疾患	24	19	3	46	1,562	1,531	192	3,285	45	44	15	104
何らかのアレルギー疾患の診断あり	680	591	91	1,362	946	991	113	2,050	5	12	6	23

表 15. 問2 初めて診断されたのは何歳何か月頃ですか？

	ぜん息、ぜん息性気管支炎、小児ぜん息					食物アレルギー		アトピー性皮膚炎		アレルギー性鼻炎		アレルギー性結膜炎		じんましん		その他のアレルギー疾患	
	1回の呼吸器症状	2回以上の呼吸器症状	症状無回答	総数		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	人数	人数	人数	人数	割合												
0ヶ月～	3	6	0	9	2.7	64	11.1	74	19.1	4	1.3	2	1.2	19	4.5	3	6.5
6ヶ月～	2	30	1	33	9.9	291	50.3	87	22.5	18	5.9	7	4.2	71	16.7	10	21.7
12ヶ月～	6	79	1	86	25.7	134	23.1	75	19.4	54	17.6	17	10.2	81	19.0	9	19.6
18ヶ月～	5	41	0	46	13.8	27	4.7	31	8.0	38	12.4	18	10.8	42	9.9	7	15.2
24ヶ月～	7	51	1	59	17.7	25	4.3	51	13.2	86	28.1	50	30.1	71	16.7	5	10.9
30ヶ月～	9	40	1	50	15.0	16	2.8	33	8.5	69	22.5	46	27.7	76	17.8	4	8.7
36ヶ月～	9	23	2	34	10.2	8	1.4	15	3.9	22	7.2	15	9.0	35	8.2	4	8.7
42ヶ月～	0	1	0	1	0.3	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	0	16	0	16	4.8	14	2.4	21	5.4	14	4.6	11	6.6	31	7.3	4	8.7
総数	41	287	6	334	100.0	579	100.0	387	100.0	306	100.0	166	100.0	426	100.0	46	100.0

表 16. 問2 各アレルギー疾患別の症状・診断の状況 (p6-⑥ 区分参照)

	症状有または診断有 (A+B+C)			これまでに症状有 (A+B)			症状有かつ診断有 (B)			これまでに診断有 (B+C)		
	あり	なし	無回答	あり	なし	無回答	あり	なし	無回答	あり	なし	無回答
呼吸器症状、ぜん息	807	2,558	70	804	2,594	37	331	3,026	78	334	3,045	56
(再掲) 1回の呼吸器症状	135	-	-	135	-	-	41	-	-	41	-	-
2回以上の呼吸器症状	490	-	-	490	-	-	287	-	-	287	-	-
回数無回答	182	-	-	179	-	-	3	-	-	6	-	-
食物アレルギー	733	2,643	59	717	2,690	28	563	2,805	67	579	2,806	50
アトピー性皮膚炎	677	2,684	74	666	2,728	41	376	2,975	84	387	2,988	60
アレルギー性鼻炎	710	2,646	79	705	2,686	44	301	3,040	94	306	3,057	72
アレルギー性結膜炎	288	3,052	95	281	3,107	47	159	3,177	99	166	3,195	74
じんましん	694	2,665	76	684	2,708	43	416	2,934	85	426	2,947	62
その他のアレルギー疾患	91	3,196	148	87	3,271	77	42	3,240	153	46	3,285	104
何らかのアレルギー症状・疾患あり	1,996	1,435	4	1,894	1,533	8	1,338	2,069	28	1,362	2,050	23

## B お子様のぜん息、呼吸器症状についてお聞きします

表 17. 問3-1 これまでに、セキこんだり、息が「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」するなど、苦しそうな症状が何回ありましたか？

	症状有または診断有 n=807					症状有 n=804					診断有 n=334				
	男子	女子	性別 不明	総数		男子	女子	性別 不明	総数		男子	女子	性別 不明	総数	
				人数	割合				人数	割合				人数	割合
1回だけ	60	61	14	135	16.7	60	61	14	135	16.8	20	18	3	41	12.3
2回以上	256	192	42	490	60.7	256	192	42	490	60.9	142	124	21	287	85.9
無回答	89	77	16	182	22.6	86	77	16	179	22.3	4	1	1	6	1.8
総数	405	330	72	807	100.0	402	330	72	804	100.0	166	143	25	334	100.0

表 18. 問3-2 上記のような呼吸器症状が初めて起きたのは、何歳何ヶ月頃ですか？

	症状有または診断有 n=807					症状有 n=804					診断有 n=334				
	症状の回数			総数		症状の回数			総数		症状の回数			総数	
	1回	2回	不明	人数	割合	1回	2回	不明	人数	割合	1回	2回	不明	人数	割合
0ヶ月～	5	30	0	35	4.3	5	30	0	35	4.4	2	15	0	17	5.1
6ヶ月～	11	75	1	87	10.8	11	75	1	87	10.8	3	42	1	46	13.8
12ヶ月～	22	146	1	169	20.9	22	146	1	169	21.0	5	87	0	92	27.5
18ヶ月～	21	82	0	103	12.8	21	82	0	103	12.8	5	50	0	55	16.5
24ヶ月～	29	88	1	118	14.6	29	88	1	118	14.7	8	50	1	59	17.7
30ヶ月～	24	39	0	63	7.8	24	39	0	63	7.8	9	28	0	37	11.1
36ヶ月～	18	9	0	27	3.3	18	9	0	27	3.4	9	7	0	16	4.8
42ヶ月～	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0
無回答	5	21	179	205	25.4	5	21	176	202	25.1	0	8	4	12	3.6
総数	135	490	182	807	100.0	135	490	179	804	100.0	41	287	6	334	100.0

表 19. 問3-3 上記のような呼吸器症状について、この1年間の状態について、以下に最も近い番号に○をつけて下さい。

	ぜん息の 重症度分類	症状有 n=804				
		症状の回数			総数	
		1回	2回	不明	人数	割合
1 1年間は上記の呼吸器症状が全くなかった		87	91	66	244	30.3
2 上記の呼吸器症状が、年に数回、季節的にあった。 ときに呼吸困難を伴うこともあったが、その時だけ気管支を広げる薬(β <sub>2</sub> 刺激薬)を使い、短期間で症状は改善した。	間欠型	37	326	3	366	45.5
3 上記の呼吸器症状が、月1回以上、週1回未満あった。 ときに呼吸困難を伴うこともあったが、長く続くことはなく、日常生活が障害されることは少なかった。	軽症持続型	2	29	0	31	3.9
4 上記の呼吸器症状が、週1回以上あったが、毎日続くほどではなかった。ときにその症状により日常生活や睡眠が障害されることがあった。	中等症持続型	2	27	0	29	3.6
5 上記の呼吸器症状が、毎日あった。 週に1～2回、その症状により日常生活や睡眠が障害されることがあった。	重症持続型	3	11	0	14	1.7
6 治療を受けても上記5の状態が続いた。 しばしば夜間に時間外受診し、入退院をくり返した。	最重症持続型	0	2	0	2	0.2
無回答		4	4	110	118	14.7

表 20. 問 3-4 「ぜん息」、「ぜん息性気管支炎」、「小児ぜん息」の診断を受けた方にお聞きします。  
これらの疾患の治療のために、1か月以上の間、毎日使用するよう医師から処方された薬はありますか？

	ぜん息、ぜん息性気管支炎、 小児ぜん息の診断有 n=334				
	男子	女子	性別 不明	総数	
				人数	割合
ある	95	76	18	189	56.6
なし	57	58	5	120	35.9
無回答	14	9	2	25	7.5
総数	166	143	25	334	100.0

表 21. 問 3-5 問 3-4 で「ある」とお答えになった方にお聞きします。その薬は以下のどれにあてはまりますか？あてはまる番号すべてに○印をつけてください。（複数回答）

	処方薬有 n=189	
	人数	割合
内服薬	173	91.5
吸入薬	76	40.2
はり薬	64	33.9
その他	0	0.0
無回答	1	0.5

表 22. 問 3-5 処方薬の組み合わせ（複数回答）

	処方薬有 n=189	
	人数	割合
内服薬のみ処方	74	39.2
吸入薬のみ処方	10	5.3
はり薬のみ処方	3	1.6
内服薬+吸入薬(2種のみ)	40	21.2
内服薬+はり薬(2種のみ)	35	18.5
吸入薬+はり薬(2種のみ)	2	1.1
内服薬+吸入薬+はり薬	24	12.7
無回答	1	0.5

表 23. 問 3-6 その薬はどの程度、医師から言われたとおりに使用できていますか？  
5段階で評価するとどの程度か、あてはまる番号1つに○印をつけてください。

	処方薬有 n=189				
	男子	女子	性別 不明	総数	
				人数	割合
言われたとおりにできている	58	51	10	119	63.0
だいたいできている	32	20	5	57	30.2
半分くらいできている	2	3	2	7	3.7
あまりできていない	1	0	0	1	0.5
ほとんどできていない	2	2	0	4	2.1
無回答	0	0	1	1	0.5
総数	95	76	18	189	100.0

表 24. ぜん息の重症度分類別の服薬の遵守状況

	処方薬有 n=189						
	医師から言われたとおりの薬の使用状況						総数
	言われた とおりに できている	だいたい できている	半分くらい できている	あまりでき ていない	ほとんどで きていない	無回答	
1年間、呼吸器症状が全くなし	22	8	0	0	2	0	32
間欠型	69	33	6	0	2	1	111
軽症持続型	13	4	0	1	0	0	18
中等症持続型	7	9	1	0	0	0	17
重症持続型	5	1	0	0	0	0	6
最重症持続型	1	1	0	0	0	0	2
無回答	2	1	0	0	0	0	3



## C お子様の食物アレルギーについてお聞きします

表 25. 問 4-1 食物アレルギーの症状が初めて起きたのは、何歳何ヶ月頃ですか？

	症状有または診断有 n=733					症状有 n=717					診断有 n=579				
	男子	女子	性別 不明	総数		男子	女子	性別 不明	総数		男子	女子	性別 不明	総数	
				人数	割合				人数	割合				人数	割合
0ヶ月～	36	37	7	80	10.9	36	37	7	80	11.2	35	35	5	75	13.0
6ヶ月～	188	122	25	335	45.7	188	122	25	335	46.7	170	104	18	292	50.4
12ヶ月～	75	67	8	150	20.5	75	67	8	150	20.9	59	55	7	121	20.9
18ヶ月～	29	11	3	43	5.9	29	11	3	43	6.0	17	6	3	26	4.5
24ヶ月～	16	14	2	32	4.4	16	14	2	32	4.5	10	11	1	22	3.8
30ヶ月～	15	13	0	28	3.8	15	13	0	28	3.9	8	4	0	12	2.1
36ヶ月～	5	1	1	7	1.0	5	1	1	7	1.0	3	0	1	4	0.7
無回答	30	27	1	58	7.9	21	21	0	42	5.9	17	9	1	27	4.7
総数	394	292	47	733	100.0	385	286	46	717	100.0	319	224	36	579	100.0

表 26. 問 4-2 食物アレルギーで出た症状はどのような症状でしたか？あてはまる症状の番号すべてに○印をつけてください。(複数回答)

		症状有または診断有 n=733		症状有 n=717		診断有 n=579	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
皮膚の症状	1.かゆみ	300	40.9	300	41.8	268	46.3
	2.じんましん	414	56.5	414	57.7	358	61.8
	3.赤くなる	481	65.6	481	67.1	399	68.9
目の症状	4.目のかゆみや充血	69	9.4	69	9.6	57	9.8
	5.まぶたの腫れ	173	23.6	173	24.1	154	26.6
鼻の症状	6.くしゃみ	25	3.4	25	3.5	24	4.1
	7.鼻水	47	6.4	47	6.6	45	7.8
	8.鼻づまり	15	2.0	15	2.1	14	2.4
口の症状	9.口の中の違和感	53	7.2	53	7.4	45	7.8
	10.唇の腫れ	122	16.6	122	17.0	106	18.3
消化器の症状	11.腹痛	18	2.5	18	2.5	16	2.8
	12.吐き気	21	2.9	21	2.9	21	3.6
	13.おう吐	107	14.6	107	14.9	97	16.8
	14.下痢	59	8.0	59	8.2	54	9.3
呼吸器の症状	15.声がかすれる	16	2.2	16	2.2	15	2.6
	16.犬が吠えるような咳	8	1.1	8	1.1	8	1.4
	17.のどや胸が締め付けられる	10	1.4	10	1.4	10	1.7
	18.咳	48	6.5	48	6.7	46	7.9
	19.息がしにくい	21	2.9	21	2.9	21	3.6
	20.ゼーゼー、ヒューヒュー	46	6.3	46	6.4	44	7.6
ショック症状	21.意識がない	2	0.3	2	0.3	2	0.3
	22.意識もうろう	11	1.5	11	1.5	11	1.9
	23.ぐったり	52	7.1	52	7.3	52	9.0
	24.尿や便を漏らす	1	0.1	1	0.1	1	0.2
	25.脈が触れにくい	1	0.1	1	0.1	1	0.2
	26.唇やつめが青白い	13	1.8	13	1.8	13	2.2
その他	その他	49	6.7	46	6.4	41	7.1
無回答	無回答	41	5.6	28	3.9	14	2.4

表 27. 問 4 - 2 食物アレルギーで出た症状(分類別の症状)

(複数回答)

	症状有または診断有 n=733		症状有 n=717		診断有 n=579	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
皮膚の症状	648	88.4	648	90.4	535	92.4
目の症状	195	26.6	195	27.2	171	29.5
鼻の症状	57	7.8	57	7.9	54	9.3
口の症状	149	20.3	149	20.8	129	22.3
消化器の症状	150	20.5	150	20.9	137	23.7
呼吸器の症状	88	12.0	88	12.3	85	14.7
ショック症状	59	8.0	59	8.2	59	10.2
その他	49	6.7	46	6.4	41	7.1
無回答	41	5.6	28	3.9	14	2.4

表 28. 問 4-3 これまでに食物アレルギーの症状が出た原因（と思われる）食物は何でしたか？  
あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

	症状有または診断有 n=733		症状有 n=717		診断有 n=579	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
原因食物への記載あり (1~29のいずれかに回答)	693	94.5	687	95.8	567	97.9
原因食物への記載なし (いずれにも回答なし)	40	5.5	30	4.2	12	2.1

表 29. 問 4-3 これまでに食物アレルギーの症状が出た原因（と思われる）食物（複数回答）

	人数	割合	症状有または診断有 (原因食物への記載あり n=693)		症状有 (原因食物への記載あり n=687)		診断有 (原因食物への記載あり n=567)	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合
1、卵	528	76.2	523	76.1	459	81.0		
2、牛乳	202	29.1	202	29.4	189	33.3		
3、小麦	90	13.0	89	13.0	83	14.6		
4、そば	24	3.5	23	3.3	16	2.8		
5、落花生	54	7.8	53	7.7	52	9.2		
6、えび	38	5.5	38	5.5	29	5.1		
7、かに	23	3.3	23	3.3	14	2.5		
8、いくら	29	4.2	29	4.2	22	3.9		
9、あわび	1	0.1	1	0.1	1	0.2		
10、牛肉	10	1.4	10	1.5	8	1.4		
11、いか	1	0.1	1	0.1	1	0.2		
12、キウイ	42	6.1	42	6.1	35	6.2		
13、オレンジ	2	0.3	2	0.3	2	0.4		
14、くるみ	23	3.3	23	3.3	22	3.9		
15、鶏肉	11	1.6	11	1.6	9	1.6		
16、さけ	13	1.9	13	1.9	12	2.1		
17、さば	11	1.6	11	1.6	9	1.6		
18、大豆	38	5.5	38	5.5	36	6.3		
19、豚肉	6	0.9	6	0.9	5	0.9		
20、まつたけ	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
21、もも	7	1.0	7	1.0	4	0.7		
22、やまいも	27	3.9	27	3.9	17	3.0		
23、りんご	5	0.7	5	0.7	4	0.7		
24、グミ・ゼラチン	4	0.6	4	0.6	3	0.5		
25、バナナ	19	2.7	19	2.8	17	3.0		
26、ごま	25	3.6	25	3.6	25	4.4		
27、カシューナッツ	16	2.3	16	2.3	16	2.8		
28、米	3	0.4	3	0.4	3	0.5		
29、その他	105	15.2	105	15.3	74	13.1		

表 30. 問 4-3 これまでに症状が出た（と思われる）原因食物の数

	人数	割合	症状有 (原因食物への記載あり n=687)		診断有 (原因食物への記載あり n=567)	
			人数	割合	人数	割合
1種類	363	52.4	358	52.1	278	49.0
2種類	170	24.5	170	24.7	146	25.7
3種類	77	11.1	76	11.1	64	11.3
4種類	44	6.3	44	6.4	41	7.2
5種類	17	2.5	17	2.5	17	3.0
6種類	9	1.3	9	1.3	8	1.4
7種類	6	0.9	6	0.9	6	1.1
8種類	2	0.3	2	0.3	2	0.4
9種類	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10種類以上	5	0.7	5	0.7	5	0.9

表 31. 問 4-4 現在、食物アレルギーの原因（と思われる）食物を制限また除去していますか？  
 あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

	症状有または診断有 n=733		症状有 n=717		診断有 n=579	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
現在、制限や除去していない (設問内選択肢○に回答)	268	36.6	261	36.4	198	34.2
制限や除去をしている食物への記載あり (1~29のいずれかに回答)	373	50.9	369	51.5	332	57.3
無回答	92	12.6	87	12.1	49	8.5

表 32. 問 4-4 現在、制限または除去している食物（複数回答）

	食物名	症状有又は診断有 (除去食物への記載あり n=373)		症状有 (除去食物への記載あり n=369)		診断有 (除去食物への記載あり n=332)	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
1、卵		237	63.5	235	63.7	229	69.0
2、牛乳		70	18.8	70	19.0	69	20.8
3、小麦		21	5.6	21	5.7	21	6.3
4、そば		45	12.1	45	12.2	39	11.7
5、落花生		77	20.6	75	20.3	74	22.3
6、えび		22	5.9	22	6.0	19	5.7
7、かに		20	5.4	20	5.4	15	4.5
8、いくら		37	9.9	37	10.0	33	9.9
9、あわび		6	1.6	6	1.6	4	1.2
10、牛肉		5	1.3	5	1.4	5	1.5
11、いか		3	0.8	3	0.8	3	0.9
12、キウイ		24	6.4	24	6.5	23	6.9
13、オレンジ		2	0.5	2	0.5	1	0.3
14、くるみ		33	8.8	33	8.9	33	9.9
15、鶏肉		2	0.5	2	0.5	2	0.6
16、さけ		5	1.3	5	1.4	5	1.5
17、さば		7	1.9	7	1.9	7	2.1
18、大豆		11	2.9	11	3.0	11	3.3
19、豚肉		2	0.5	2	0.5	2	0.6
20、まつたけ		0	0.0	0	0.0	0	0.0
21、もも		2	0.5	2	0.5	1	0.3
22、やまいも		19	5.1	19	5.1	14	4.2
23、りんご		0	0.0	0	0.0	0	0.0
24、グミ・ゼラチン		2	0.5	2	0.5	2	0.6
25、バナナ		4	1.1	4	1.1	4	1.2
26、ごま		19	5.1	19	5.1	19	5.7
27、カシューナッツ		43	11.5	43	11.7	43	13.0
28、米		0	0.0	0	0.0	0	0.0
29、その他		55	14.7	54	14.6	43	13.0

表 33. 問 4-4 現在、制限または除去している食物の数

		症状有または診断有 (除去食物への記載あり n=373)		症状有 (除去食物への記載あり n=369)		診断有 (除去食物への記載あり n=332)	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
現在、 制限または 除去して いる食物 数	1種類	213	57.1	210	56.9	179	53.9
	2種類	75	20.1	74	20.1	70	21.1
	3種類	36	9.7	36	9.8	35	10.5
	4種類	16	4.3	16	4.3	16	4.8
	5種類	8	2.1	8	2.2	7	2.1
	6種類	8	2.1	8	2.2	8	2.4
	7種類	7	1.9	7	1.9	7	2.1
	8種類	3	0.8	3	0.8	3	0.9
	9種類	2	0.5	2	0.5	2	0.6
	10種類以上	5	1.3	5	1.4	5	1.5

表 34. 問 4-5 問 4-4 で選んだ食物の中で、医師の指示で制限または除去している食物はありますか？あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

	症状有または診断有 n=373		症状有 n=369		診断有 n=332	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
医師の指示で、制限や除去している食物はない (設問内選択肢○に回答)	63	16.9	63	17.1	32	9.6
医師の指示で制限や除去している食物に記載あり (1~29のいずれかに回答)	286	76.7	282	76.4	284	85.5
無回答	24	6.4	24	6.5	16	4.8

表 35. 問 4-5 医師の指示で制限または除去している食物(複数回答)

	食物名	症状有または診断有			症状有			診断有		
		医師の指示有 n=286	医師の指示無 n=63	計	医師の指示有 n=282	医師の指示無 n=63	計	医師の指示有 n=284	医師の指示無 n=32	計
1、卵		200	37	237	198	37	235	200	29	229
2、牛乳		59	11	70	59	11	70	59	10	69
3、小麦		20	1	21	20	1	21	20	1	21
4、そば		21	24	45	21	24	45	21	18	39
5、落花生		63	14	77	61	14	75	63	11	74
6、えび		11	11	22	11	11	22	11	8	19
7、かに		9	11	20	9	11	20	8	7	15
8、いくら		21	16	37	21	16	37	21	12	33
9、あわび		0	6	6	0	6	6	0	4	4
10、牛肉		3	2	5	3	2	5	3	2	5
11、いか		0	3	3	0	3	3	0	3	3
12、キウイ		14	10	24	14	10	24	14	9	23
13、オレンジ		0	2	2	0	2	2	0	1	1
14、くるみ		24	9	33	24	9	33	24	9	33
15、鶏肉		0	2	2	0	2	2	0	2	2
16、さけ		4	1	5	4	1	5	4	1	5
17、さば		5	2	7	5	2	7	5	2	7
18、大豆		10	1	11	10	1	11	10	1	11
19、豚肉		1	1	2	1	1	2	1	1	2
20、まつたけ		0	0	0	0	0	0	0	0	0
21、もも		0	2	2	0	2	2	0	1	1
22、やまいも		6	13	19	6	13	19	6	8	14
23、りんご		0	0	0	0	0	0	0	0	0
24、グミ・ゼラチン		1	1	2	1	1	2	1	1	2
25、バナナ		4	0	4	4	0	4	4	0	4
26、ごま		13	6	19	13	6	19	13	6	19
27、カシューナッツ		30	13	43	30	13	43	30	13	43
28、米		0	0	0	0	0	0	0	0	0
29、その他		34	21	55	33	21	54	33	10	43

表 36. 問 4-5 医師の指示で、制限または除去している食物数

		症状有または診断有 n=286		症状有 n=282		診断有 n=284	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
現在、制限または除去している食物数	1種類	157	54.9	153	54.3	154	54.2
	2種類	69	24.1	69	24.5	69	24.3
	3種類	28	9.8	28	9.9	28	9.9
	4種類	16	5.6	16	5.7	16	5.6
	5種類	3	1.0	3	1.1	3	1.1
	6種類	6	2.1	6	2.1	6	2.1
	7種類	5	1.7	5	1.8	5	1.8
	8種類	2	0.7	2	0.7	2	0.7
	9種類	1	0.3	1	0.4	1	0.4
	10種類以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0

表 37. 問 4-6 これまでに、食物経口負荷試験を実施した食物がありますか？あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

	症状有または診断有 n=733		症状有 n=717		診断有 n=579	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
実施したことはない (設問内選択肢○に回答)	507	69.2	497	69.3	390	67.4
実施した食物に記載あり (1~29のいずれかに回答)	160	21.8	159	22.2	158	27.3
無回答	66	9.0	61	8.5	31	5.4

表 38. 問 4-6 これまでに食物経口負荷試験を実施した食物 (複数回答)

食物名	症状有または診断有 (経口負荷試験を実施した食物に記載あり n=160)		症状有 (経口負荷試験を実施した食物に記載あり n=159)		診断有 (経口負荷試験を実施した食物に記載あり n=158)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1、卵	126	78.8	125	78.6	124	78.5
2、牛乳	52	32.5	52	32.7	51	32.3
3、小麦	34	21.3	34	21.4	33	20.9
4、そば	5	3.1	5	3.1	4	2.5
5、落花生	10	6.3	10	6.3	9	5.7
6、えび	4	2.5	4	2.5	3	1.9
7、かに	4	2.5	4	2.5	3	1.9
8、いくら	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9、あわび	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10、牛肉	1	0.6	1	0.6	0	0.0
11、いか	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12、キウイ	2	1.3	2	1.3	2	1.3
13、オレンジ	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14、くるみ	1	0.6	1	0.6	1	0.6
15、鶏肉	3	1.9	3	1.9	2	1.3
16、さけ	2	1.3	2	1.3	1	0.6
17、さば	2	1.3	2	1.3	2	1.3
18、大豆	12	7.5	12	7.5	11	7.0
19、豚肉	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20、まつたけ	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21、もも	1	0.6	1	0.6	1	0.6
22、やまいも	1	0.6	1	0.6	1	0.6
23、りんご	1	0.6	1	0.6	1	0.6
24、グミ・ゼラチン	0	0.0	0	0.0	0	0.0
25、バナナ	1	0.6	1	0.6	1	0.6
26、ごま	6	3.8	6	3.8	6	3.8
27、カシューナッツ	3	1.9	3	1.9	3	1.9
28、米	1	0.6	1	0.6	1	0.6
29、その他	9	5.6	9	5.7	8	5.1

表 39. 問 4-6 食物経口負荷試験を実施した食物の数

	症状あり又は診断有 (経口負荷試験を実施した食物に記載あり n=160)		症状有 (経口負荷試験を実施した食物に記載あり n=159)		診断有 (経口負荷試験を実施した食物に記載あり n=158)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1種類	103	64.4	102	64.2	102	64.6
2種類	30	18.8	30	18.9	30	19.0
3種類	15	9.4	15	9.4	15	9.5
4種類	7	4.4	7	4.4	7	4.4
5種類	1	0.6	1	0.6	1	0.6
6種類	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7種類	1	0.6	1	0.6	1	0.6
8種類	1	0.6	1	0.6	1	0.6
9種類	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10種類以上	2	1.3	2	1.3	1	0.6

表 40. 問 4-7 これまでに、誤食(アレルギー症状をおこす食べ物を誤って食べた)で、症状が出たことはありますか？

	診断有 n=579	
	人数	割合
ある	142	24.5
なし	422	72.9
無回答	15	2.6

表 41. 問 4-8 問 4-7 で、「ある」と答えた方にお聞きします。どんな場所で、どのような理由でおこりましたか？あてはまる番号すべてに○印をつけ、あてはまる理由の番号に○印をつける又は記入してください。(複数回答)

	診断有	
	人数	割合
誤食ありの人数	142	100.0
自宅	98	69.0
保育施設等	10	7.0
親戚・友人宅	32	22.5
レストラン等の外食先	48	33.8
その他の場所	8	5.6
無回答	0	0.0

表 42. 問 4-8 どのような理由で起こりましたか。(複数回答)

【自宅】

	診断有	
	人数	割合
誤食経験者数	98	100.0
調理中に誤って混入してしまった	11	11.2
子供が誤って食べてしまった	41	41.8
アレルギー表示を確認しなかったまたは忘れた	17	17.3
アレルギー表示を確認したが、見落とした	27	27.6
アレルギー表示を確認したが、表示が間違っていた	6	6.1
その他	20	20.4
無回答	0	0.0

【親戚・友人宅】

	診断有	
	人数	割合
誤食経験者	32	100.0
調理中に誤って混入してしまった	2	6.3
子供が誤って食べてしまった	7	21.9
アレルギー表示を確認しなかったまたは忘れた	9	28.1
アレルギー表示を確認したが、見落とした	6	18.8
アレルギー表示を確認したが、表示が間違っていた	1	3.1
その他	9	28.1
無回答	0	0.0

【保育施設等】

	診断有	
	人数	割合
誤食経験者	10	100.0
調理に混入してしまった	3	30.0
誤配膳されてしまった	6	60.0
子供が誤って食べてしまった	1	10.0
その他	0	0.0
無回答	0	0.0

【レストラン等の外食先】

	診断有	
	人数	割合
誤食経験者	48	100.0
調理に混入してしまった	6	12.5
子供が誤って食べてしまった	8	16.7
レストラン等に確認をしなかったまたは忘れた	24	50.0
レストラン等が誤った情報を提供した	5	10.4
その他	7	14.6
無回答	0	0.0

表 43. 問 4-9 この 1 年間に、ショック症状（意識がない、意識もうろう、ぐったり、尿や便を漏らす、脈が触れにくい、唇やつめが青白い等）を起こしたことがありますか？  
ある方は、回数と原因食物を記入してください。

	診断有 n=579	
	人数	割合
なし	528	91.2
ある	22	3.8
無回答	29	5.0

表 44. 問 4-9 ショック症状を起こしたことがある児のショック症状の回数

	人数
1回	18
2回	3
無回答	1
総数	22

表 45. 問 4-9 ショック症状を起こした食物名

	ショック症状を 起こした人数 n=22
卵・生卵	8
乳製品	3
落花生、クルミ、 マカダミアナッツ	3
キウイフルーツ	2
小麦	2
いくら	1
大豆(納豆)	1
薬	1
無回答	1

表 46. 問 4-10 エピペン®(アドレナリン自己注射薬)を主治医から処方されていますか？

	診断有 n=579		(再掲)この1年間の ショック症状の経験 (問4-9の「2ある」 の回答者数)	(再掲)これまでの ショック症状の経験 (問4-2の「ショック 症状への回答者」)
	人数	割合	人数	人数
処方されている	26	4.5	6	7
処方されていない	521	90.0	16	49
無回答	32	5.5	0	3

表 47. 問 4-11 食物アレルギーのために、保育施設・幼稚園等に受け入れを断られた経験はありますか？

	診断有 n=579		(再掲)この1年間の ショック症状の経験 (問4-9の「2ある」 の回答者数)	(再掲)これまでの ショック症状の経験 (問4-2の「ショック 症状への回答者」)
	人数	割合	人数	人数
ある	22	3.8	5	8
なし	526	90.8	17	48
無回答	31	5.4	0	3

受け入れを断られた経験有 22 人中、現在通所(園)しているは 12 人



表 48. 問5 アレルギーの有無とは関係なく、これまでに、一度も食べたことがない食物(未摂取)はありますか？あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

	全回答者 n=3,435		診断有 n=579	
	人数	割合	人数	割合
未摂取食物の記載あり (1~28のいずれかに回答あり)	2,660	77.4	518	89.5
未摂取食物の記載なし (いずれにも回答なし)	775	22.6	61	10.5

表 49. 問5 未摂取食物と、除去している食物を除いた未摂取食物の状況(複数回答)

	全回答者 n=2,660		診断有 n=518	
	未摂取	除去している 食物を除いた 未摂取食物 *1	未摂取	除去している 食物を除いた 未摂取食物 *1
1 卵	17	3	15	1
2 牛乳	12	3	10	1
3 小麦	2	0	2	0
4 そば	563	533	176	148
5 落花生	752	717	182	149
6 えび	146	139	44	37
7 かに	484	475	108	99
8 いくら	903	887	226	212
9 あわび	2,404	2,399	455	452
10 牛肉	15	13	3	1
11 いか	451	449	92	90
12 キウイ	266	264	55	53
13 オレンジ	29	29	7	7
14 くるみ	796	781	168	153
15 鶏肉	1	1	0	0
16 さけ	9	9	3	3
17 さば	221	217	44	40
18 大豆	11	11	0	0
19 豚肉	4	4	0	0
20 まつたけ	2,099	2,099	382	382
21 もも	66	66	12	12
22 やまいも	616	609	127	121
23 りんご	6	6	0	0
24 グミ・ゼラチン	150	150	30	30
25 バナナ	6	5	1	0
26 ごま	9	7	4	2
27 カシューナッツ	1,386	1,357	278	249
28 米	0	0	0	0

\*1 : 各食物について、問5と問4-4の両方に○が付いている場合を除いた数

## D お子様花粉症についてお聞きします

表 50. 問 6-1 これまでに、春の花粉症による次の症状がありましたか？

	これまで							
	ある		なし		無回答		総数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1鼻の症状	470	13.7	2,809	81.8	156	4.5	3,435	100.0
2目の症状	247	7.2	3,000	87.3	188	5.5	3,435	100.0
1または2の症状あり	504	14.7	2,780	80.9	151	4.4	3,435	100.0

表 51. 問 6-1 この1年間にその症状がありましたか？

	この1年間の症状							
	ある		なし		無回答		総数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1鼻の症状	427	12.4	2,877	83.8	131	3.8	3,435	100.0
2目の症状	224	6.5	3,058	89.0	153	4.5	3,435	100.0
1または2の症状あり	458	13.3	2,860	83.3	117	3.4	3,435	100.0

表 52. 問 6-2 これまでに、次の症状が、医師に春の花粉症であると「診断」されたことがありますか？

	ある		なし		無回答		総数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1鼻の症状	186	5.4	2,959	86.1	290	8.4	3,435	100.0
2目の症状	113	3.3	3,024	88.0	298	8.7	3,435	100.0
1または2の症状あり	203	5.9	2,946	85.8	286	8.3	3,435	100.0

表 53. 問 6-2 初めて診断されたのはいつですか？

	鼻の症状あり n=186		目の症状あり n=113	
	総数		総数	
	人数	割合	人数	割合
0ヶ月～	1	0.5	0	0.0
6ヶ月～	7	3.8	4	3.5
12ヶ月～	28	15.1	9	8.0
18ヶ月～	30	16.1	13	11.5
24ヶ月～	40	21.5	23	20.4
30ヶ月～	63	33.9	54	47.8
36ヶ月～	9	4.8	6	5.3
無回答	8	4.3	4	3.5
総数	186	100.0	113	100.0

## E アレルギー関連対策についてお聞きします

表 54. 問 7 保育施設又は幼稚園等へ、下に示す生活管理指導表を提出したことがありますか？  
(通所(園)してアレルギー疾患と診断された児における生活管理指導表の提出状況)

	人数	割合
生活管理指導表を提出したことがある	79	11.6
異なる形式のものを提出したことがある	87	12.8
なし	481	70.7
無回答	33	4.9
総数	680	100.0

(注) 何らかのアレルギー疾患と診断された児を対象に集計

表 55. 問 7 保育施設又は幼稚園等への生活管理指導表の提出状況(疾患別)

	診断有 総数 (問2)	診断有かつ通所(園)している					計
		生活管理指導表の提出あり			生活管理 指導表 提出なし	無回答	
		ある	異なる 書式	小計			
ぜん息	334	27	21	48	130	8	186
症状1回	41	3	5	8	14	0	22
症状2回	287	23	15	38	113	8	159
無回答	6	1	1	2	3	0	5
食物アレルギー	579	69	61	130	149	13	292
アトピー性皮膚炎	387	28	29	57	123	14	194
アレルギー性鼻炎	306	11	14	25	111	10	146
アレルギー性結膜炎	166	7	12	19	55	3	77
じんましん	426	19	28	47	151	12	210
その他のアレルギー疾患	46	0	3	3	19	2	24
ぜん息の診断有(問2)かつ 処方有(問3-4)	189	22	13	35	70	6	111
食物アレルギーの診断有(問2) かつ医師指示除去食物有(問4-5)	284	51	34	85	59	8	152

表 56. 問 7 保育施設又は幼稚園等への生活管理指導表の提出状況(施設別)

	通所(園)有 かつ診断有 の人数	アレルギー疾患の診断有かつ通所(園)して おり、生活管理指導表を提出している児童			
		ある	異なる 書式	小計	
				人数	割合
認可保育所	467	68	64	132	28.3
認証保育所	85	5	13	18	21.2
幼稚園	65	3	2	5	7.7
認定こども園	9	1	1	2	22.2
上記以外の保育施設	27	1	4	5	18.5
その他	17	0	2	2	11.8
無回答	10	1	1	2	20.0
総数	680	79	87	166	24.4

表 57. 問 8 容器包装された加工食品に、アレルギー表示があることをご存知ですか？

	人数	割合
知っている	3,036	88.4
知らない	315	9.2
無回答	84	2.4
総数	3,435	100.0

表 58. 問 8 容器包装された加工食品にアレルギー表示があることをご存知ですか？  
(何らかのアレルギーの症状有または診断有の有無別)

		総数	知っている		知らない		無回答	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合
1呼吸器症状、ぜん息	あり	807	714	88.5	70	8.7	23	2.9
	なし	2,558	2,259	88.3	242	9.5	57	2.2
2食物アレルギー	あり	733	682	93.0	32	4.4	19	2.6
	なし	2,643	2,302	87.1	279	10.6	62	2.3
3アトピー性皮膚炎	あり	677	599	88.5	52	7.7	26	3.8
	なし	2,684	2,369	88.3	260	9.7	55	2.0
4アレルギー性鼻炎	あり	710	620	87.3	62	8.7	28	3.9
	なし	2,646	2,344	88.6	250	9.4	52	2.0
5アレルギー性結膜炎	あり	288	255	88.5	26	9.0	7	2.4
	なし	3,052	2,696	88.3	284	9.3	72	2.4
6じんましん	あり	694	638	91.9	37	5.3	19	2.7
	なし	2,665	2,332	87.5	273	10.2	60	2.3
7その他のアレルギー疾患	あり	91	80	87.9	8	8.8	3	3.3
	なし	3,196	2,827	88.5	293	9.2	76	2.4
何らかのアレルギーの症状または診断	あり	1,996	1,782	89.3	159	8.0	55	2.8
	なし	1,435	1,251	87.2	156	10.9	28	2.0

表 59. 問 9 A E D (自動体外式除細動器) という言葉を聞いたことがありますか？

	人数	割合
ある	2,922	85.1
なし	430	12.5
無回答	83	2.4
総数	3,435	100.0

表 60. 問 9 A E D という言葉をきいたことがありますか？  
(何らかのアレルギーの症状有または診断有の有無別)

		総数	聞いたことがある		なし		無回答	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合
1呼吸器症状、ぜん息	あり	807	686	85.0	99	12.3	22	2.7
	なし	2,558	2,180	85.2	321	12.5	57	2.2
2食物アレルギー	あり	733	630	85.9	82	11.2	21	2.9
	なし	2,643	2,247	85.0	337	12.8	59	2.2
3アトピー性皮膚炎	あり	677	558	82.4	95	14.0	24	3.5
	なし	2,684	2,307	86.0	321	12.0	56	2.1
4アレルギー性鼻炎	あり	710	593	83.5	89	12.5	28	3.9
	なし	2,646	2,268	85.7	327	12.4	51	1.9
5アレルギー性結膜炎	あり	288	235	81.6	46	16.0	7	2.4
	なし	3,052	2,613	85.6	368	12.1	71	2.3
6じんましん	あり	694	598	86.2	77	11.1	19	2.7
	なし	2,665	2,265	85.0	341	12.8	59	2.2
7その他のアレルギー疾患	あり	91	71	78.0	17	18.7	3	3.3
	なし	3,196	2,729	85.4	392	12.3	75	2.3
何らかのアレルギーの症状または診断	あり	1,996	1,696	85.0	246	12.3	54	2.7
	なし	1,435	1,223	85.2	184	12.8	28	2.0

表 61. 問 10 エピペン® (アドレナリン自己注射薬) という言葉を聞いたことがありますか?

	人数	割合
ある	1,589	46.3
なし	1,761	51.3
無回答	85	2.5
総数	3,435	100.0

表 62. 問 10 エピペン® (アドレナリン自己注射薬) という言葉を聞いたことがありますか?  
(何らかのアレルギーの症状有または診断有の有無別)

		聞いたことがある		なし		無回答		
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	
1呼吸器症状、ぜん息	あり	807	402	49.8	381	47.2	24	3.0
	なし	2,558	1,159	45.3	1,342	52.5	57	2.2
2食物アレルギー	あり	733	416	56.8	295	40.2	22	3.0
	なし	2,643	1,150	43.5	1,433	54.2	60	2.3
3アトピー性皮膚炎	あり	677	348	51.4	302	44.6	27	4.0
	なし	2,684	1,213	45.2	1,416	52.8	55	2.0
4アレルギー性鼻炎	あり	710	360	50.7	320	45.1	30	4.2
	なし	2,646	1,198	45.3	1,397	52.8	51	1.9
5アレルギー性結膜炎	あり	288	141	49.0	140	48.6	7	2.4
	なし	3,052	1,410	46.2	1,570	51.4	72	2.4
6じんましん	あり	694	359	51.7	316	45.5	19	2.7
	なし	2,665	1,200	45.0	1,405	52.7	60	2.3
7その他のアレルギー疾患	あり	91	45	49.5	43	47.3	3	3.3
	なし	3,196	1,477	46.2	1,643	51.4	76	2.4
何らかのアレルギーの症状または診断	あり	1,996	983	49.2	957	47.9	56	2.8
	なし	1,435	605	42.2	802	55.9	28	2.0

表 63. 問 1 1 東京都では、都民のみなさんを対象とした子供のアレルギー講演会を毎年開催していますが、ご存知ですか。また、参加したことがありますか？

	人数	割合
知っており、参加したことがある	28	0.8
知っているが、参加したことはない	325	9.5
知らなかったが、参加してみたい	1,082	31.5
知らないし、参加する予定はない	1,913	55.7
無回答	87	2.5
総数	3,435	100.0

表 64. 問 1 1 子供のアレルギー講演会をご存知ですか？  
(何らかのアレルギー症状有または診断有の有無別)

	総数	知っており、参加したことがある		知っているが、参加したことはない		知らなかったが、参加してみたい		知らないし、参加する予定はない		無回答		
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
1呼吸器症状、ぜん息	あり	807	6	0.7	80	9.9	304	37.7	397	49.2	20	2.5
	なし	2,558	22	0.9	240	9.4	751	29.4	1,481	57.9	64	2.5
2食物アレルギー	あり	733	11	1.5	92	12.6	275	37.5	336	45.8	19	2.6
	なし	2,643	17	0.6	227	8.6	788	29.8	1,544	58.4	67	2.5
3アトピー性皮膚炎	あり	677	6	0.9	77	11.4	264	39.0	310	45.8	20	3.0
	なし	2,684	22	0.8	242	9.0	793	29.5	1,562	58.2	65	2.4
4アレルギー性鼻炎	あり	710	7	1.0	91	12.8	260	36.6	327	46.1	25	3.5
	なし	2,646	21	0.8	229	8.7	791	29.9	1,546	58.4	59	2.2
5アレルギー性結膜炎	あり	288	0	0.0	40	13.9	109	37.8	133	46.2	6	2.1
	なし	3,052	28	0.9	278	9.1	937	30.7	1,732	56.7	77	2.5
6じんましん	あり	694	9	1.3	73	10.5	242	34.9	350	50.4	20	2.9
	なし	2,665	19	0.7	246	9.2	814	30.5	1,522	57.1	64	2.4
7その他のアレルギー疾患	あり	91	3	3.3	7	7.7	32	35.2	46	50.5	3	3.3
	なし	3,196	25	0.8	308	9.6	993	31.1	1,790	56.0	80	2.5
何らかのアレルギーの症状または診断	あり	1,996	19	1.0	207	10.4	697	34.9	1,022	51.2	51	2.6
	なし	1,435	9	0.6	118	8.2	384	26.8	889	62.0	35	2.4

表 65. 問 1 2 アレルギーに関する情報の入手方法として、あてはまる番号すべてに○印をつけて下さい。(複数回答)

	人数	割合
入手したことがない	650	18.9
主治医	1,600	46.6
保健所・保健センター(健診会場など)	1,035	30.1
パンフレット	761	22.2
ホームページ(日本アレルギー協会、日本小児アレルギー学会、食物アレルギー研究会、環境再生保全機構、行政機関、専門病院)	851	24.8
その他のホームページ	258	7.5
ブログ	285	8.3
自治体が主催する講演会や公開講座など	88	2.6
患者会の催し	8	0.2
本や雑誌	1,415	41.2
テレビや新聞などのマスメディア	1,443	42.0
その他	171	5.0
無回答	97	2.8
総数	3,435	100.0

表 66. 問 1 2 アレルギーに関する情報の入手方法  
(何らかのアレルギーの症状または診断の有無別)

	総数	入手したことがない		主治医		保健所・保健センター(健診会場など)		パンフレット		ホームページ (日本アレルギー協会、日本小児アレルギー学会、食物アレルギー研究会、環境再生保全機構、行政機関、専門病院)		その他のホームページ		ブログ		
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
1呼吸器症状、ぜん息	あり	807	103	12.8	504	62.5	243	30.1	193	23.9	229	28.4	79	9.8	85	10.5
	なし	2,558	539	21.1	1,059	41.4	769	30.1	554	21.7	604	23.6	172	23.6	189	23.6
2食物アレルギー	あり	733	51	7.0	551	75.2	242	33.0	178	24.3	270	36.8	81	36.8	99	36.8
	なし	2,643	588	22.2	1,026	38.8	778	29.4	574	21.7	568	21.5	170	21.5	177	21.5
3アトピー性皮膚炎	あり	677	82	12.1	450	66.5	200	29.5	158	23.3	226	33.4	64	33.4	88	33.4
	なし	2,684	633	23.6	1,108	41.3	815	30.4	593	22.1	602	22.4	185	22.4	189	22.4
4アレルギー性鼻炎	あり	710	102	14.4	399	56.2	211	29.7	185	26.1	187	26.3	58	26.3	86	26.3
	なし	2,646	614	23.2	1,156	43.7	793	30.0	563	21.3	637	24.1	192	24.1	188	24.1
5アレルギー性結膜炎	あり	288	36	12.5	186	64.6	83	28.8	76	26.4	80	27.8	28	27.8	42	27.8
	なし	3,052	675	22.1	1,361	44.6	922	30.2	666	21.8	742	24.3	220	24.3	233	24.3
6じんましん	あり	694	92	13.3	425	61.2	221	31.8	167	24.1	215	31.0	79	31.0	91	31.0
	なし	2,665	622	23.3	1,133	42.5	793	29.8	581	21.8	612	23.0	169	23.0	184	23.0
7その他のアレルギー疾患	あり	91	11	12.1	59	64.8	30	33.0	22	24.2	28	30.8	11	30.8	9	30.8
	なし	3,196	693	21.7	1,458	45.6	966	30.2	710	22.2	771	24.1	228	24.1	252	24.1
何らかのアレルギーの症状または診断	あり	1,996	275	13.8	1,162	58.2	613	30.7	467	23.4	566	28.4	187	28.4	207	28.4
	なし	1,435	375	26.1	438	30.5	421	29.3	294	20.5	285	19.9	70	19.9	77	19.9

自治体が主催する講演会や公開講座など		患者会の催し		本や雑誌		テレビや新聞などのマスメディア		その他		無回答	
人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
25	3.1	3	0.4	340	42.1	341	42.3	39	4.8	23	2.9
63	2.5	5	0.2	1,045	40.9	1,070	41.8	131	5.1	69	2.7
29	4.0	3	0.4	331	45.2	305	41.6	32	4.4	18	2.5
59	2.2	5	0.2	1,062	40.2	1,113	42.1	137	5.2	76	2.9
22	3.2	3	0.4	289	42.7	272	40.2	26	3.8	25	3.7
66	2.5	5	0.2	1,096	40.8	1,138	42.4	143	5.3	69	2.6
24	3.4	1	0.1	316	44.5	306	43.1	28	3.9	30	4.2
64	2.4	7	0.3	1,067	40.3	1,100	41.6	141	5.3	63	2.4
7	2.4	2	0.7	136	47.2	121	42.0	8	2.8	11	3.8
79	2.6	6	0.2	1,239	40.6	1,280	41.9	158	5.2	82	2.7
27	3.9	3	0.4	323	46.5	311	44.8	41	5.9	18	2.6
61	2.3	5	0.2	1,064	39.9	1,100	41.3	127	4.8	74	2.8
2	2.2	0	0.0	42	46.2	41	45.1	4	4.4	5	5.5
85	2.7	8	0.3	1,301	40.7	1,332	41.7	161	5.0	87	2.7
58	2.9	5	0.3	852	42.7	846	42.4	96	4.8	59	3.0
30	2.1	3	0.2	561	39.1	595	41.5	75	5.2	36	2.5

## F 今後取り組んで欲しいことについてお聞きします

\* 問13、問14については、希望する番号すべてに○印をつけ、特に強く希望する番号一つに◎印をつけてください。

表 67. 問13 保育施設・幼稚園等に対する希望（複数回答）

	希望する(特に希望するを含む)		特に希望する	
	人数	割合	人数	割合
アレルギー疾患に関する職員の理解と知識の向上	2,212	64.4	717	20.9
他の児童への教育	1,343	39.1	191	5.6
相談体制の充実	1,188	34.6	166	4.8
アレルギー対応食の提供	1,535	44.7	276	8.0
アレルギーの薬の預かりや投与	1,357	39.5	205	6.0
その他	147	4.3	20	0.6
無回答	364	10.6	1,917	55.8
総数	3,435	100.0	3,435	100.0

表 68. 問13 保育施設・幼稚園等に対する希望  
(何らかのアレルギーの症状有または診断有の有無別)

	総数	アレルギー疾患に関する職員の理解と知識の向上		他の児童への教育		相談体制の充実		アレルギー対応食の提供		アレルギーの薬の預かりや投与		その他		無回答		
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
1呼吸器症状、ぜん息	あり	807	534	66.2	274	34.0	278	34.4	363	45.0	371	46.0	44	5.5	81	10.0
	なし	2,558	1,646	64.3	1,041	40.7	894	34.9	1,143	44.7	965	37.7	99	3.9	272	10.6
2食物アレルギー	あり	733	501	68.3	260	35.5	232	31.7	399	54.4	296	40.4	55	7.5	53	7.2
	なし	2,643	1,687	63.8	1,060	40.1	942	35.6	1,120	42.4	1,040	39.3	91	3.4	302	11.4
3アトピー性皮膚炎	あり	677	440	65.0	237	35.0	212	31.3	319	47.1	318	47.0	40	5.9	63	9.3
	なし	2,684	1,737	64.7	1,077	40.1	954	35.5	1,188	44.3	1,018	37.9	106	3.9	290	10.8
4アレルギー性鼻炎	あり	710	454	63.9	255	35.9	251	35.4	319	44.9	327	46.1	37	5.2	62	8.7
	なし	2,646	1,717	64.9	1,065	40.2	916	34.6	1,189	44.9	997	37.7	107	4.0	290	11.0
5アレルギー性結膜炎	あり	288	186	64.6	112	38.9	97	33.7	143	49.7	133	46.2	19	6.6	26	9.0
	なし	3,052	1,977	64.8	1,201	39.4	1,066	34.9	1,359	44.5	118	3.9	127	4.2	326	10.7
6じんましん	あり	694	472	68.0	278	40.1	253	36.5	355	51.2	306	44.1	37	5.3	60	8.6
	なし	2,665	1,702	63.9	1,041	39.1	912	34.2	1,155	43.3	1,022	38.3	110	4.1	294	11.0
7その他のアレルギー疾患	あり	91	58	63.7	32	35.2	31	34.1	35	38.5	40	44.0	9	9.9	6	6.6
	なし	3,196	2,062	64.5	1,259	39.4	1,110	34.7	1,437	45.0	1,258	39.4	131	4.1	343	10.7
何らかのアレルギーの症状または診断	あり	1,996	1,301	65.2	734	36.8	681	34.1	929	46.5	858	43.0	100	5.0	198	9.9
	なし	1,435	909	63.3	608	42.4	505	35.2	605	42.2	499	34.8	47	3.3	164	11.4



表 69. 問 1 4 行政（都や区市町村）に対する希望（複数回答）

	希望する(特に希望するを含む)		特に希望する	
	人数	割合	人数	割合
都民に対するアレルギー疾患に関する知識や情報の提供	1,601	46.6	200	5.8
都民に対する医療機関に関する情報の提供	1,488	43.3	163	4.7
保健・福祉・教育関係者に対する知識や理解の向上のための取組	1,412	41.1	204	5.9
禁煙・分煙など、たばこ対策の徹底	1,936	56.4	712	20.7
食品表示の監視の徹底	1,509	43.9	319	9.3
その他	176	5.1	28	0.8
無回答	296	8.6	1,895	55.2
総数	3,435	100.0	3,435	100.0

表 70. 問 1 4 行政（都や区市町村）に対する希望（何らかのアレルギーの症状有または診断の有無別）

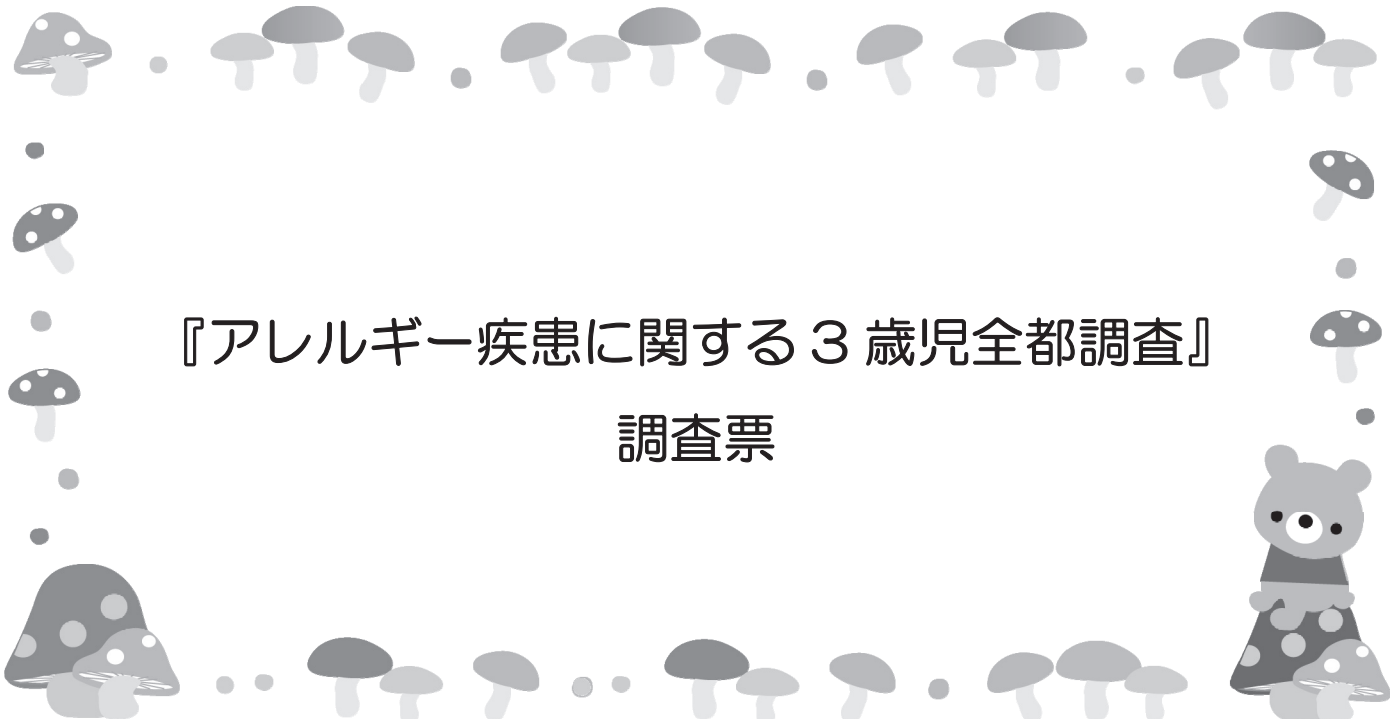
		総数	都民に対するアレルギー疾患に関する知識や情報の提供		都民に対する医療機関に関する情報の提供		保健・福祉・教育関係者に対する知識や理解の向上のための取組		禁煙・分煙など、たばこ対策の徹底		食品表示の監視の徹底		その他		無回答	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1呼吸器症状、ぜん息	あり	807	392	48.6	367	45.5	343	42.5	439	54.4	359	44.5	47	5.8	73	9.0
	なし	2,558	1,174	45.9	1,090	42.6	1,047	40.9	1,464	57.2	1,125	44.0	127	5.0	213	8.3
2食物アレルギー	あり	733	342	46.7	288	39.3	291	39.7	387	52.8	346	47.2	57	7.8	54	7.4
	なし	2,643	1,234	46.7	1,172	44.3	1,101	41.7	1,527	57.8	1,144	43.3	116	4.4	231	8.7
3アトピー性皮膚炎	あり	677	311	45.9	303	44.8	270	39.9	358	52.9	299	44.2	52	7.7	53	7.8
	なし	2,684	1,258	46.9	1,151	42.9	1,117	41.6	1,546	57.6	1,182	44.0	121	4.5	231	8.6
4アレルギー性鼻炎	あり	710	354	49.9	328	46.2	314	44.2	397	55.9	316	44.5	44	6.2	50	7.0
	なし	2,646	1,214	45.9	1,130	42.7	1,074	40.6	1,507	57.0	1,167	44.1	126	4.8	234	8.8
5アレルギー性結膜炎	あり	288	133	46.2	137	47.6	131	45.5	149	51.7	130	45.1	20	6.9	25	8.7
	なし	3,052	1,424	46.7	1,309	42.9	1,251	41.0	1,748	57.3	1,344	44.0	151	4.9	258	8.5
6じんましん	あり	694	330	47.6	318	45.8	310	44.7	380	54.8	343	49.4	55	7.9	62	8.9
	なし	2,665	1,236	46.4	1,140	42.8	1,080	40.5	1,524	57.2	1,142	42.9	118	4.4	221	8.3
7その他のアレルギー疾患	あり	91	38	41.8	35	38.5	28	30.8	45	49.5	40	44.0	10	11.0	8	8.8
	なし	3,196	1,489	46.6	1,386	43.4	1,330	41.6	1,827	57.2	1,406	44.0	154	4.8	271	8.5
何らかのアレルギーの症状または診断	あり	1,996	948	47.5	890	44.6	823	41.2	1,107	55.5	887	44.4	122	6.1	171	8.6
	なし	1,435	652	45.4	596	41.5	589	41.0	829	57.8	621	43.3	54	3.8	123	8.6



## IV 資料（調査票）



区市町村コード



# 『アレルギー疾患に関する3歳児全都調査』 調査票

## アンケート調査のお願い

- ・ 記載内容については秘密を守り、統計以外の目的に用いることはありません。調査結果は統計的に処理を行い、個人が特定される心配はございません。
- ・ 本調査の対象者は、平成26年10月の3歳児健診の対象者のお子様です。
- ・ 本調査は東京都が調査会社【株式会社タイム・エージェント】へ委託して実施しています。ご不明の点がございましたら裏面の東京都の担当係までご連絡ください。

※ この調査票は、ご記入後、同封の返信用封筒により、  
平成26年11月7日（金）までにご投函ください（切手不要）。



## ご記入に際してのお願い



1. ご回答は、次の要領で行ってください。

- \* 回答順序は、各設問の番号順にお答えください。
- \* 回答項目のうち、あてはまる番号に○印をつけてください。
- \* ○印の数は、ことわりのない限り、各項目1つです。
- \* ( ) 内には、質問の内容に合わせて、文字又は数字を記入してください。

2. 質問内容など不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

東京都健康安全研究センター 企画調整部 健康危機管理情報課 環境情報係  
専用ダイヤル 03-3363-3235 (平日9時から17時まで)



今回対象となる3歳のお子様についてお答えください。

以下の項目について、記入またはあてはまるものに○印をつけてください。

\* お住まい： ( ) 区・市・町・村

\* 性別： 男 ・ 女

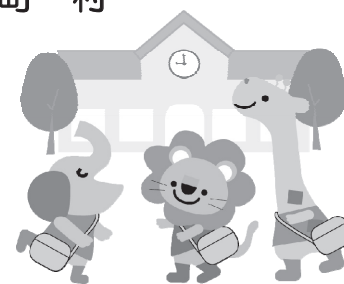
\* 通園状況： { 1. 通園していない

(保育所等) { 2. 通園している

1) 通い始めた年齢 \_\_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_\_ ヶ月

2) 現在通園している施設

[ 認可保育所、 認証保育所、 幼稚園、 認定こども園、  
上記以外の保育施設、 その他 \_\_\_\_\_ ]





# A お子様のアレルギー疾患についてお聞きします

問1 これまでに、次のアレルギー「症状」がありましたか？あてはまる番号1つに○印をつけてください。また、この1年間に「症状」がありましたか？あてはまる番号1つに○印をつけてください。1から7までについて、それぞれお答えください。

		これまで	この1年間
1	呼吸器症状(セキこみ、息が「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」など、苦しそうな症状)	1. ある 2. なし	1. ある 2. なし
2	食物アレルギー (食物を食べてアレルギー反応を起こす)	1. ある 2. なし	1. ある 2. なし
3	アトピー性皮膚炎 (皮膚の乾燥とかゆみを伴う湿疹をくり返す)	1. ある 2. なし	1. ある 2. なし
4	アレルギー性鼻炎症状 (花粉症を含む) (くしゃみや鼻水、鼻づまりが長引く)	1. ある 2. なし	1. ある 2. なし
5	アレルギー性結膜炎(花粉症を含む) (目のかゆみや充血が長引く)	1. ある 2. なし	1. ある 2. なし
6	じんましん	1. ある 2. なし	1. ある 2. なし
7	その他のアレルギー疾患	1. ある 2. なし	1. ある 2. なし

問2 これまでに、次のアレルギー疾患であると医師に「診断」されたことがありますか？  
また、初めて診断されたのは何歳何か月頃ですか？  
1から7までのそれぞれについて、あてはまる番号1つに○印をつけてください。

1	ぜん息、ぜん息性気管支炎、小児ぜん息	1. ある ( ) 歳 ( ) か月	2. なし
2	食物アレルギー	1. ある ( ) 歳 ( ) か月	2. なし
3	アトピー性皮膚炎	1. ある ( ) 歳 ( ) か月	2. なし
4	アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)	1. ある ( ) 歳 ( ) か月	2. なし
5	アレルギー性結膜炎(花粉症を含む)	1. ある ( ) 歳 ( ) か月	2. なし
6	じんましん	1. ある ( ) 歳 ( ) か月	2. なし
7	その他のアレルギー疾患	1. ある ( ) 歳 ( ) か月	2. なし

★ 問1で「1.呼吸器症状がある」又は、問2で「1.ぜん息、ぜん息性気管支炎、小児ぜん息と診断されたことがある」と答えの方

⇒ 4ページ B にお進みください。

★ それ以外の方 ⇒ 6ページ C にお進みください。



## B お子様のぜん息、呼吸器症状についてお聞きします

問3-1 これまでに、セキこんだり、息が「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」するなど、苦しそうな症状が何回ありましたか？

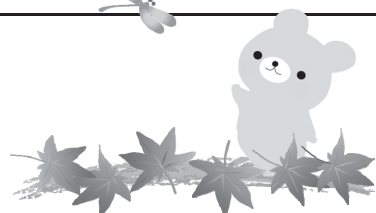
- |         |         |
|---------|---------|
| 1. 1回だけ | 2. 2回以上 |
|---------|---------|

問3-2 上記のような呼吸器症状が初めて起きたのは、何歳何ヶ月頃ですか？

(        ) 歳	(        ) か月頃
--------------	----------------

問3-3 上記のような呼吸器症状について、この1年間の状態について、以下の1から6までのうち、最も近い番号1つに○印をつけてください。

1	この1年間は、上記の呼吸器症状が全くなかった。
2	上記の呼吸器症状が、 <u>年に数回</u> 、 <u>季節的</u> にあった。ときに呼吸困難を伴うこともあったが、その時だけ気管支を広げる薬（ $\beta_2$ 刺激薬）を使い、短期間で症状は改善した。
3	上記の呼吸器症状が、 <u>月1回以上</u> 、 <u>週1回未満</u> あった。ときに呼吸困難を伴うこともあったが、長く続くことはなく、日常生活が障害されることは少なかった。
4	上記の呼吸器症状が、 <u>週1回以上</u> あったが、 <u>毎日続くほど</u> ではなかった。ときにその症状により日常生活や睡眠が障害されることがあった。
5	上記の呼吸器症状が、 <u>毎日</u> あった。週に1～2回、その症状により日常生活や睡眠が障害されることがあった。
6	<u>治療を受けても上記5の状態が続いた</u> 。しばしば夜間に時間外受診し、入退院をくり返した。





問3-4 「ぜん息」、「ぜん息性気管支炎」、「小児ぜん息」の診断を受けた方にお聞きします。  
※診断を受けていない方 ⇨ 6ページ C にお進みください。  
これらの疾患の治療のために、1ヵ月以上の間、毎日使用するよう医師から処方されている薬はありますか？

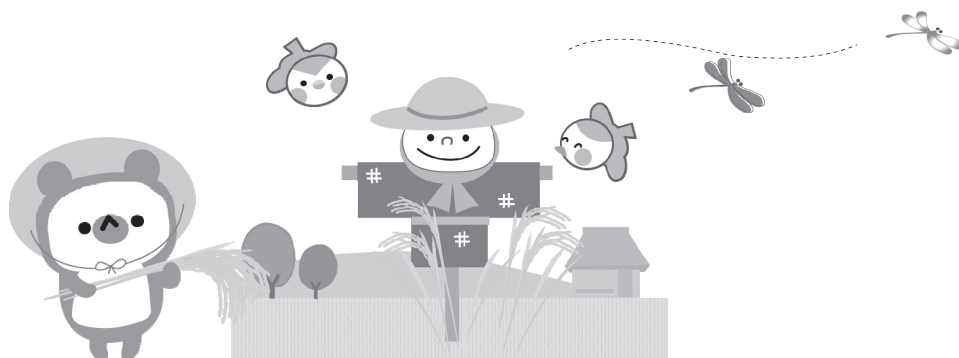
- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. ある → 次の質問へ | 2. なし → 6ページCへ |
|---------------|----------------|

問3-5 問3-4で「ある」とお答えになった方にお聞きします。  
その薬は、以下のどれにあてはまりますか？ あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- |          |        |        |
|----------|--------|--------|
| 1. 内服薬   | 2. 吸入薬 | 3. はり薬 |
| 4. その他 [ |        | ]      |

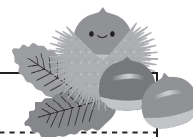
問3-6 その薬はどの程度、医師から言われたとおりに使用できていますか？5段階で評価するとどの程度か、あてはまる番号1つに○印をつけてください。

- |                  |
|------------------|
| 1. 言われたとおりにできている |
| 2. だいたいできている     |
| 3. 半分くらいできている    |
| 4. あまりできていない     |
| 5. ほとんどできていない    |





問4-4 現在、食物アレルギーの原因（と思われる）食物を制限または除去していますか？  
あてはまる番号すべてに○印をつけてください。



0. 現在、制限や除去をしていない → 問 4-6へ				
1. 卵	2. 牛乳	3. 小麦	4. そば	5. 落花生
6. えび	7. かに	8. いくら	9. あわび	10. 牛肉
11. いか	12. キウイ	13. オレンジ	14. くるみ	15. 鶏肉
16. さけ	17. さば	18. 大豆	19. 豚肉	20. まつたけ
21. もも	22. やまいも	23. りんご	24. グミ・ゼラチン	25. バナナ
26. ごま	27. カシューナッツ	28. 米	29. その他（	）

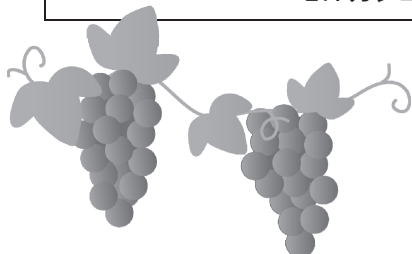
問4-5 問4-4で選んだ食物の中で、医師の指示で制限や除去している食物はありますか？  
あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

0. 医師の指示で、制限や除去している食物はない				
1. 卵	2. 牛乳	3. 小麦	4. そば	5. 落花生
6. えび	7. かに	8. いくら	9. あわび	10. 牛肉
11. いか	12. キウイ	13. オレンジ	14. くるみ	15. 鶏肉
16. さけ	17. さば	18. 大豆	19. 豚肉	20. まつたけ
21. もも	22. やまいも	23. りんご	24. グミ・ゼラチン	25. バナナ
26. ごま	27. カシューナッツ	28. 米	29. その他（	）

問4-6 これまでにアレルギー食物経口負荷試験を実施した食物がありますか？あてはまる  
番号すべてに○印をつけてください。

※食物経口負荷試験：病院または医院・クリニックで医師の監視のもと、実際にその食品を少しずつ量を増やしながら食べて、アレルギー症状がどうか調べる試験

0. 実施したことはない				
1. 卵	2. 牛乳	3. 小麦	4. そば	5. 落花生
6. えび	7. かに	8. いくら	9. あわび	10. 牛肉
11. いか	12. キウイ	13. オレンジ	14. くるみ	15. 鶏肉
16. さけ	17. さば	18. 大豆	19. 豚肉	20. まつたけ
21. もも	22. やまいも	23. りんご	24. グミ・ゼラチン	25. バナナ
26. ごま	27. カシューナッツ	28. 米	29. その他（	）



問4-7 これまでに、誤食（アレルギー症状をおこす食べ物を誤って食べた）で、症状が出たことはありますか？

1. ある → 次の質問へ

2. なし → 問4-9へ

問4-8 問4-7で、「ある」と答えた方にお聞きします。

どんな場所で、どのような理由でおこりましたか？あてはまる場所の番号すべてに○印をつけ、あてはまる理由の番号に○印をつける又は記入してください。

### 1. 自宅

- 1) 調理中に誤って混入してしまった      2) 子供が誤って食べてしまった  
3) アレルギー表示を確認しなかった又は忘れた  
4) アレルギー表示を確認したが、見落とした  
5) アレルギー表示を確認したが、表示が間違っていた  
6) その他\_\_\_\_\_



### 2. 保育施設等

- 1) 調理に混入してしまった      2) 誤配膳されてしまった  
3) 子供が誤って食べてしまった      4) その他\_\_\_\_\_

### 3. 親戚・友人宅

- 1) 調理中に誤って混入してしまった      2) 子供が誤って食べてしまった  
3) アレルギー表示を確認しなかった又は忘れた  
4) アレルギー表示を確認したが、見落とした  
5) アレルギー表示を確認したが、表示が間違っていた  
6) その他\_\_\_\_\_

### 4. レストラン等の外食先

- 1) 調理に混入してしまった      2) 子供が誤って食べてしまった  
3) レストラン等に確認をしなかった又は忘れた  
4) レストラン等が誤った情報を提供した  
5) その他\_\_\_\_\_

5. その他の場所 \_\_\_\_\_ 理由 \_\_\_\_\_

問4-9 この1年間に、ショック症状（意識がない、意識もうろう、ぐったり、尿や便を漏らす、脈が触れにくい、唇やつめが青白い等）を起こしたことがありますか？

ある方は、回数と原因食品を記入ください。

1. なし

2. ある → この1年間にショック症状を起した回数：(            ) 回  
原因食品：(            )

問4-10 エピペン®（アドレナリン自己注射薬）を主治医から処方されていますか？

1. 処方されている	2. 処方されていない
------------	-------------

※エピペン®（アドレナリン自己注射薬）

アナフィラキシーがあらわれたときに使用し、医師の治療を受けるまでの間、症状の進行を一時的に緩和する補助治療薬

問4-11 食物アレルギーのために、保育施設・幼稚園等に受入れを断られた経験はありますか？

1. ある	2. なし
-------	-------

問5 アレルギーの有無とは関係なく、これまでに、一度も食べたことがない食品（未摂取）はありますか？あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 卵	2. 牛乳	3. 小麦	4. そば	5. 落花生
6. えび	7. かに	8. いくら	9. あわび	10. 牛肉
11. いか	12. キウイ	13. オレンジ	14. くるみ	15. 鶏肉
16. さけ	17. さば	18. 大豆	19. 豚肉	20. まつたけ
21. もも	22. やまいも	23. りんご	24. グミ・ゼラチン	25. バナナ
26. ごま	27. カシューナッツ	28. 米		



問6-1 これまでに、春の花粉症による次の症状がありましたか？ また、この1年間にその症状がありましたか？

		これまで	この1年間
1	春の花粉症による鼻の症状 (くしゃみや鼻水、鼻づまり)	1. ある 2. なし	1. ある 2. なし
2	春の花粉症による目の症状 (目のかゆみや充血)	1. ある 2. なし	1. ある 2. なし

問6-2 これまでに、次の症状が、医師に春の花粉症であると「診断」されたことがありますか？また、初めて診断されたのはいつですか？

1	春の花粉症による鼻の症状	1. ある ( ) 歳 ( ) か月	2. なし
2	春の花粉症による目の症状	1. ある ( ) 歳 ( ) か月	2. なし

# E

## アレルギー関連対策についてお聞きします



問7 保育施設又は幼稚園等へ、下に示す生活管理指導表を提出したことがありますか。

1. ある    2. 下とは異なる形式のものを提出したことがある    3. なし

(財)日本学校保健会作成「学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)」

表面

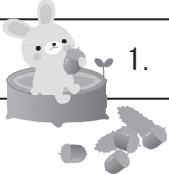
表 学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)	名前 _____ 男・女 平成 ____年 ____月 ____日生 ( ____歳 ) _____ 学校 ____年 ____組 提出日 平成 ____年 ____月 ____日											
	気管支ぜん息 (あり・なし)	<table border="1"> <tr> <th>病型・治療</th> <th>学校生活上の留意点</th> </tr> <tr> <td> <b>A. 重症度分類 (発作型)</b>                      1. 間欠型                      2. 軽症持続型                      3. 中等症持続型                      4. 重症持続型   <b>B-1. 長期管理薬 (吸入薬)</b>                      1. ステロイド                      2. 長時間作用型吸入薬                      3. 吸入抗アレルギー薬                      4. その他 ( )   <b>B-2. 長期管理薬 (内服)</b>                      1. テオフィリン                      2. ロイコトリン受容体拮抗薬                      3. ベータ2刺激薬                      4. その他 ( )                 </td> <td> <b>C. 急性発作治療薬</b>                      1. ベータ刺激薬吸入                      2. ベータ刺激薬内服                      3. その他 ( )   <b>D. 急性発作時の対応 (自由記載)</b> </td> </tr> <tr> <td> <b>A. 運動 (体育・部活動等)</b>                      1. 管理不要                      2. 保護者と相談し決定                      3. 強い運動は不可   <b>B. 動物との接触やホコリ等の舞う環境での活動</b>                      1. 配慮不要                 </td> <td>                     ★保護者 電話: _____                       ★連絡医療機関 医療機関名: _____                 </td> </tr> </table>	病型・治療	学校生活上の留意点	<b>A. 重症度分類 (発作型)</b> 1. 間欠型 2. 軽症持続型 3. 中等症持続型 4. 重症持続型  <b>B-1. 長期管理薬 (吸入薬)</b> 1. ステロイド 2. 長時間作用型吸入薬 3. 吸入抗アレルギー薬 4. その他 ( )  <b>B-2. 長期管理薬 (内服)</b> 1. テオフィリン 2. ロイコトリン受容体拮抗薬 3. ベータ2刺激薬 4. その他 ( )	<b>C. 急性発作治療薬</b> 1. ベータ刺激薬吸入 2. ベータ刺激薬内服 3. その他 ( )  <b>D. 急性発作時の対応 (自由記載)</b>	<b>A. 運動 (体育・部活動等)</b> 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 3. 強い運動は不可  <b>B. 動物との接触やホコリ等の舞う環境での活動</b> 1. 配慮不要	★保護者 電話: _____  ★連絡医療機関 医療機関名: _____				
病型・治療	学校生活上の留意点											
<b>A. 重症度分類 (発作型)</b> 1. 間欠型 2. 軽症持続型 3. 中等症持続型 4. 重症持続型  <b>B-1. 長期管理薬 (吸入薬)</b> 1. ステロイド 2. 長時間作用型吸入薬 3. 吸入抗アレルギー薬 4. その他 ( )  <b>B-2. 長期管理薬 (内服)</b> 1. テオフィリン 2. ロイコトリン受容体拮抗薬 3. ベータ2刺激薬 4. その他 ( )	<b>C. 急性発作治療薬</b> 1. ベータ刺激薬吸入 2. ベータ刺激薬内服 3. その他 ( )  <b>D. 急性発作時の対応 (自由記載)</b>											
<b>A. 運動 (体育・部活動等)</b> 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 3. 強い運動は不可  <b>B. 動物との接触やホコリ等の舞う環境での活動</b> 1. 配慮不要	★保護者 電話: _____  ★連絡医療機関 医療機関名: _____											
裏面	<table border="1"> <tr> <td colspan="3">名前 _____ 男・女 平成 ____年 ____月 ____日生 ( ____歳 ) _____ 学校 ____年 ____組 提出日 平成 ____年 ____月 ____日</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">食物アレルギー (あり・なし)</td> <td> <table border="1"> <tr> <th>病型・治療</th> <th>学校生活上の留意点</th> </tr> <tr> <td> <b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b>                      1. 即時型                      2. 口腔アレルギー症候群                      3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー   <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b>                      1. 食物 (原因: _____)                      2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー                      3. 運動誘発アナフィラキシー                      4. 昆虫                      5. 医薬品                      6. その他 ( )   <b>C. 原因食物・診断根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に診断根拠を記載                      1. 鶏卵 ( )                      2. 牛乳・乳製品 ( )                      3. 小麦 ( )                      4. ソバ ( )                      5. ビーナッツ ( )                      6. 種実類・木の实類 ( )                      7. 甲殻類 (エビ・カニ) ( )                      8. 魚介類 ( )                      9. その他 ( )                 </td> <td> <b>A. 給食</b>                      1. 管理不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>B. 食物・食材を扱う授業・活動</b>                      1. 配慮不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>C. 運動 (体育・部活動等)</b>                      1. 管理不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>D. 宿泊を伴う校外活動</b>                      1. 配慮不要                      2. 食事やイベントの際に配慮が必要   <b>E. その他の配慮・管理事項 (自由記載)</b> </td> </tr> <tr> <td> <b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b>                      1. 即時型                      2. 口腔アレルギー症候群                      3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー   <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b>                      1. 食物 (原因: _____)                      2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー                      3. 運動誘発アナフィラキシー                      4. 昆虫                      5. 医薬品                      6. その他 ( )   <b>C. 原因食物・診断根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に診断根拠を記載                      ① 明らかな症状の既往                      ② 食物負荷試験陽性                      ③ IgE抗体等検査結果陽性                      ④ 未摂取                 </td> <td>                     ★保護者 電話: _____                       ★連絡医療機関 医療機関名: _____                       記載日 _____年 ____月 ____日                      医師名 _____                 </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	名前 _____ 男・女 平成 ____年 ____月 ____日生 ( ____歳 ) _____ 学校 ____年 ____組 提出日 平成 ____年 ____月 ____日			食物アレルギー (あり・なし)	<table border="1"> <tr> <th>病型・治療</th> <th>学校生活上の留意点</th> </tr> <tr> <td> <b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b>                      1. 即時型                      2. 口腔アレルギー症候群                      3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー   <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b>                      1. 食物 (原因: _____)                      2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー                      3. 運動誘発アナフィラキシー                      4. 昆虫                      5. 医薬品                      6. その他 ( )   <b>C. 原因食物・診断根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に診断根拠を記載                      1. 鶏卵 ( )                      2. 牛乳・乳製品 ( )                      3. 小麦 ( )                      4. ソバ ( )                      5. ビーナッツ ( )                      6. 種実類・木の实類 ( )                      7. 甲殻類 (エビ・カニ) ( )                      8. 魚介類 ( )                      9. その他 ( )                 </td> <td> <b>A. 給食</b>                      1. 管理不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>B. 食物・食材を扱う授業・活動</b>                      1. 配慮不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>C. 運動 (体育・部活動等)</b>                      1. 管理不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>D. 宿泊を伴う校外活動</b>                      1. 配慮不要                      2. 食事やイベントの際に配慮が必要   <b>E. その他の配慮・管理事項 (自由記載)</b> </td> </tr> <tr> <td> <b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b>                      1. 即時型                      2. 口腔アレルギー症候群                      3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー   <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b>                      1. 食物 (原因: _____)                      2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー                      3. 運動誘発アナフィラキシー                      4. 昆虫                      5. 医薬品                      6. その他 ( )   <b>C. 原因食物・診断根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に診断根拠を記載                      ① 明らかな症状の既往                      ② 食物負荷試験陽性                      ③ IgE抗体等検査結果陽性                      ④ 未摂取                 </td> <td>                     ★保護者 電話: _____                       ★連絡医療機関 医療機関名: _____                       記載日 _____年 ____月 ____日                      医師名 _____                 </td> </tr> </table>	病型・治療	学校生活上の留意点	<b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b> 1. 即時型 2. 口腔アレルギー症候群 3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー  <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b> 1. 食物 (原因: _____) 2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 3. 運動誘発アナフィラキシー 4. 昆虫 5. 医薬品 6. その他 ( )  <b>C. 原因食物・診断根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に診断根拠を記載 1. 鶏卵 ( ) 2. 牛乳・乳製品 ( ) 3. 小麦 ( ) 4. ソバ ( ) 5. ビーナッツ ( ) 6. 種実類・木の实類 ( ) 7. 甲殻類 (エビ・カニ) ( ) 8. 魚介類 ( ) 9. その他 ( )	<b>A. 給食</b> 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定  <b>B. 食物・食材を扱う授業・活動</b> 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定  <b>C. 運動 (体育・部活動等)</b> 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定  <b>D. 宿泊を伴う校外活動</b> 1. 配慮不要 2. 食事やイベントの際に配慮が必要  <b>E. その他の配慮・管理事項 (自由記載)</b>	<b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b> 1. 即時型 2. 口腔アレルギー症候群 3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー  <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b> 1. 食物 (原因: _____) 2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 3. 運動誘発アナフィラキシー 4. 昆虫 5. 医薬品 6. その他 ( )  <b>C. 原因食物・診断根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に診断根拠を記載 ① 明らかな症状の既往 ② 食物負荷試験陽性 ③ IgE抗体等検査結果陽性 ④ 未摂取	★保護者 電話: _____  ★連絡医療機関 医療機関名: _____  記載日 _____年 ____月 ____日 医師名 _____
名前 _____ 男・女 平成 ____年 ____月 ____日生 ( ____歳 ) _____ 学校 ____年 ____組 提出日 平成 ____年 ____月 ____日												
食物アレルギー (あり・なし)	<table border="1"> <tr> <th>病型・治療</th> <th>学校生活上の留意点</th> </tr> <tr> <td> <b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b>                      1. 即時型                      2. 口腔アレルギー症候群                      3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー   <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b>                      1. 食物 (原因: _____)                      2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー                      3. 運動誘発アナフィラキシー                      4. 昆虫                      5. 医薬品                      6. その他 ( )   <b>C. 原因食物・診断根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に診断根拠を記載                      1. 鶏卵 ( )                      2. 牛乳・乳製品 ( )                      3. 小麦 ( )                      4. ソバ ( )                      5. ビーナッツ ( )                      6. 種実類・木の实類 ( )                      7. 甲殻類 (エビ・カニ) ( )                      8. 魚介類 ( )                      9. その他 ( )                 </td> <td> <b>A. 給食</b>                      1. 管理不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>B. 食物・食材を扱う授業・活動</b>                      1. 配慮不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>C. 運動 (体育・部活動等)</b>                      1. 管理不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>D. 宿泊を伴う校外活動</b>                      1. 配慮不要                      2. 食事やイベントの際に配慮が必要   <b>E. その他の配慮・管理事項 (自由記載)</b> </td> </tr> <tr> <td> <b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b>                      1. 即時型                      2. 口腔アレルギー症候群                      3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー   <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b>                      1. 食物 (原因: _____)                      2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー                      3. 運動誘発アナフィラキシー                      4. 昆虫                      5. 医薬品                      6. その他 ( )   <b>C. 原因食物・診断根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に診断根拠を記載                      ① 明らかな症状の既往                      ② 食物負荷試験陽性                      ③ IgE抗体等検査結果陽性                      ④ 未摂取                 </td> <td>                     ★保護者 電話: _____                       ★連絡医療機関 医療機関名: _____                       記載日 _____年 ____月 ____日                      医師名 _____                 </td> </tr> </table>	病型・治療	学校生活上の留意点	<b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b> 1. 即時型 2. 口腔アレルギー症候群 3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー  <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b> 1. 食物 (原因: _____) 2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 3. 運動誘発アナフィラキシー 4. 昆虫 5. 医薬品 6. その他 ( )  <b>C. 原因食物・診断根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に診断根拠を記載 1. 鶏卵 ( ) 2. 牛乳・乳製品 ( ) 3. 小麦 ( ) 4. ソバ ( ) 5. ビーナッツ ( ) 6. 種実類・木の实類 ( ) 7. 甲殻類 (エビ・カニ) ( ) 8. 魚介類 ( ) 9. その他 ( )	<b>A. 給食</b> 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定  <b>B. 食物・食材を扱う授業・活動</b> 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定  <b>C. 運動 (体育・部活動等)</b> 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定  <b>D. 宿泊を伴う校外活動</b> 1. 配慮不要 2. 食事やイベントの際に配慮が必要  <b>E. その他の配慮・管理事項 (自由記載)</b>	<b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b> 1. 即時型 2. 口腔アレルギー症候群 3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー  <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b> 1. 食物 (原因: _____) 2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 3. 運動誘発アナフィラキシー 4. 昆虫 5. 医薬品 6. その他 ( )  <b>C. 原因食物・診断根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に診断根拠を記載 ① 明らかな症状の既往 ② 食物負荷試験陽性 ③ IgE抗体等検査結果陽性 ④ 未摂取	★保護者 電話: _____  ★連絡医療機関 医療機関名: _____  記載日 _____年 ____月 ____日 医師名 _____					
病型・治療	学校生活上の留意点											
<b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b> 1. 即時型 2. 口腔アレルギー症候群 3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー  <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b> 1. 食物 (原因: _____) 2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 3. 運動誘発アナフィラキシー 4. 昆虫 5. 医薬品 6. その他 ( )  <b>C. 原因食物・診断根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に診断根拠を記載 1. 鶏卵 ( ) 2. 牛乳・乳製品 ( ) 3. 小麦 ( ) 4. ソバ ( ) 5. ビーナッツ ( ) 6. 種実類・木の实類 ( ) 7. 甲殻類 (エビ・カニ) ( ) 8. 魚介類 ( ) 9. その他 ( )	<b>A. 給食</b> 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定  <b>B. 食物・食材を扱う授業・活動</b> 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定  <b>C. 運動 (体育・部活動等)</b> 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定  <b>D. 宿泊を伴う校外活動</b> 1. 配慮不要 2. 食事やイベントの際に配慮が必要  <b>E. その他の配慮・管理事項 (自由記載)</b>											
<b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b> 1. 即時型 2. 口腔アレルギー症候群 3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー  <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b> 1. 食物 (原因: _____) 2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 3. 運動誘発アナフィラキシー 4. 昆虫 5. 医薬品 6. その他 ( )  <b>C. 原因食物・診断根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に診断根拠を記載 ① 明らかな症状の既往 ② 食物負荷試験陽性 ③ IgE抗体等検査結果陽性 ④ 未摂取	★保護者 電話: _____  ★連絡医療機関 医療機関名: _____  記載日 _____年 ____月 ____日 医師名 _____											

「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」

表面

<参考様式> 保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表(気管支喘息・アトピー性皮膚炎・アレルギー性結膜炎) 提出日 平成 ____年 ____月 ____日 名前 _____ 男・女 平成 ____年 ____月 ____日生 ( ____歳 ____ヶ月 ) _____ 組 この生活管理指導表は保育所の生活において特別な配慮や管理が必要となった場合に限り作成するものです。												
気管支ぜん息 (あり・なし)	<table border="1"> <tr> <th>病型・治療</th> <th>保育所での生活上の留意点</th> </tr> <tr> <td> <b>A. 重症度分類 (治療内容を考慮した)</b>                      1. 間欠型                      2. 軽症持続型                      3. 中等症持続型                      4. 重症持続型   <b>B. 長期管理薬</b>                      1. ステロイド吸入薬                      剤形: _____                      投与量(日): _____                      2. ロイコトリン受容体拮抗薬                      3. DSCC吸入薬                      4. ベータ2刺激薬                      内服                      貼付薬                      5. その他 ( )                 </td> <td> <b>A. 寝具に関する留意点</b>                      1. とくになし(通常管理のみ)                      2. 防ダニシート等の使用                      3. 保護者と相談   <b>B. 食物に関する留意点</b> </td> </tr> <tr> <td> <b>A. 重症度分類 (治療内容を考慮した)</b>                      1. 間欠型                      2. 軽症持続型                      3. 中等症持続型                      4. 重症持続型                 </td> <td>                     ★保護者 電話: _____                       ★連絡医療機関 医療機関名: _____                 </td> </tr> </table>	病型・治療	保育所での生活上の留意点	<b>A. 重症度分類 (治療内容を考慮した)</b> 1. 間欠型 2. 軽症持続型 3. 中等症持続型 4. 重症持続型  <b>B. 長期管理薬</b> 1. ステロイド吸入薬 剤形: _____ 投与量(日): _____ 2. ロイコトリン受容体拮抗薬 3. DSCC吸入薬 4. ベータ2刺激薬 内服 貼付薬 5. その他 ( )	<b>A. 寝具に関する留意点</b> 1. とくになし(通常管理のみ) 2. 防ダニシート等の使用 3. 保護者と相談  <b>B. 食物に関する留意点</b>	<b>A. 重症度分類 (治療内容を考慮した)</b> 1. 間欠型 2. 軽症持続型 3. 中等症持続型 4. 重症持続型	★保護者 電話: _____  ★連絡医療機関 医療機関名: _____					
病型・治療	保育所での生活上の留意点											
<b>A. 重症度分類 (治療内容を考慮した)</b> 1. 間欠型 2. 軽症持続型 3. 中等症持続型 4. 重症持続型  <b>B. 長期管理薬</b> 1. ステロイド吸入薬 剤形: _____ 投与量(日): _____ 2. ロイコトリン受容体拮抗薬 3. DSCC吸入薬 4. ベータ2刺激薬 内服 貼付薬 5. その他 ( )	<b>A. 寝具に関する留意点</b> 1. とくになし(通常管理のみ) 2. 防ダニシート等の使用 3. 保護者と相談  <b>B. 食物に関する留意点</b>											
<b>A. 重症度分類 (治療内容を考慮した)</b> 1. 間欠型 2. 軽症持続型 3. 中等症持続型 4. 重症持続型	★保護者 電話: _____  ★連絡医療機関 医療機関名: _____											
アトピー (あり)	<table border="1"> <tr> <td colspan="3">                 &lt;参考様式&gt;                  保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表(食物アレルギー・アナフィラキシー・アレルギー性鼻炎) 提出日 平成 ____年 ____月 ____日                  名前 _____ 男・女 平成 ____年 ____月 ____日生 ( ____歳 ____ヶ月 ) _____ 組                  この生活管理指導表は保育所の生活において特別な配慮や管理が必要となった場合に限り作成するものです。             </td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">食物アレルギー (あり)</td> <td> <table border="1"> <tr> <th>病型・治療</th> <th>保育所での生活上の留意点</th> </tr> <tr> <td> <b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b>                      1. 食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎                      2. 即時型                      3. 中等症 (新生児消化器症状・口腔アレルギー症候群・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・その他: _____)   <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b>                      1. 食物 (原因: _____)                      2. その他 (医薬品・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・ラテックスアレルギー・その他: _____)   <b>C. 原因食物・除去根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に除去根拠を記載                      1. 鶏卵 ( )                      2. 牛乳・乳製品 ( )                      3. 小麦 ( )                      4. ソバ ( )                      5. ビーナッツ ( )                      6. 大豆 ( )                      7. ゴマ ( )                      8. ナッツ類* ( ) (すべて・クルミ・アーモンド・ )                      9. 甲殻類* ( ) (すべて・エビ・カニ・ )                 </td> <td> <b>A. 給食・離乳食</b>                      1. 管理不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>B. アレルギー用調理器具</b>                      1. 不要                      2. 必要 下記該当ミルクに○、又は( )内に記入                      ミルフィーユ・ニューMA-1・MA-mi・ペパディエット                      エレメンタルフォーミュラ                      その他 ( )   <b>C. 食物・食材を扱う活動</b>                      1. 管理不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>D. 除去食品で摂取不可能なもの</b>                      病型・治療のCで除去の際に摂取不可能なものに○                      1. 鶏卵: 卵殻カルシウム                      2. 牛乳・乳製品: 乳糖                      3. 小麦: 醤油・酢・小麦                 </td> </tr> <tr> <td> <b>A. 重症度分類 (治療内容を考慮した)</b>                      1. 間欠型                      2. 軽症持続型                      3. 中等症持続型                      4. 重症持続型                 </td> <td>                     ★保護者 電話: _____                       ★連絡医療機関 医療機関名: _____                       記載日 _____年 ____月 ____日                      医師名 _____                 </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	<参考様式> 保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表(食物アレルギー・アナフィラキシー・アレルギー性鼻炎) 提出日 平成 ____年 ____月 ____日 名前 _____ 男・女 平成 ____年 ____月 ____日生 ( ____歳 ____ヶ月 ) _____ 組 この生活管理指導表は保育所の生活において特別な配慮や管理が必要となった場合に限り作成するものです。			食物アレルギー (あり)	<table border="1"> <tr> <th>病型・治療</th> <th>保育所での生活上の留意点</th> </tr> <tr> <td> <b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b>                      1. 食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎                      2. 即時型                      3. 中等症 (新生児消化器症状・口腔アレルギー症候群・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・その他: _____)   <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b>                      1. 食物 (原因: _____)                      2. その他 (医薬品・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・ラテックスアレルギー・その他: _____)   <b>C. 原因食物・除去根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に除去根拠を記載                      1. 鶏卵 ( )                      2. 牛乳・乳製品 ( )                      3. 小麦 ( )                      4. ソバ ( )                      5. ビーナッツ ( )                      6. 大豆 ( )                      7. ゴマ ( )                      8. ナッツ類* ( ) (すべて・クルミ・アーモンド・ )                      9. 甲殻類* ( ) (すべて・エビ・カニ・ )                 </td> <td> <b>A. 給食・離乳食</b>                      1. 管理不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>B. アレルギー用調理器具</b>                      1. 不要                      2. 必要 下記該当ミルクに○、又は( )内に記入                      ミルフィーユ・ニューMA-1・MA-mi・ペパディエット                      エレメンタルフォーミュラ                      その他 ( )   <b>C. 食物・食材を扱う活動</b>                      1. 管理不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>D. 除去食品で摂取不可能なもの</b>                      病型・治療のCで除去の際に摂取不可能なものに○                      1. 鶏卵: 卵殻カルシウム                      2. 牛乳・乳製品: 乳糖                      3. 小麦: 醤油・酢・小麦                 </td> </tr> <tr> <td> <b>A. 重症度分類 (治療内容を考慮した)</b>                      1. 間欠型                      2. 軽症持続型                      3. 中等症持続型                      4. 重症持続型                 </td> <td>                     ★保護者 電話: _____                       ★連絡医療機関 医療機関名: _____                       記載日 _____年 ____月 ____日                      医師名 _____                 </td> </tr> </table>	病型・治療	保育所での生活上の留意点	<b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b> 1. 食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎 2. 即時型 3. 中等症 (新生児消化器症状・口腔アレルギー症候群・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・その他: _____)  <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b> 1. 食物 (原因: _____) 2. その他 (医薬品・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・ラテックスアレルギー・その他: _____)  <b>C. 原因食物・除去根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に除去根拠を記載 1. 鶏卵 ( ) 2. 牛乳・乳製品 ( ) 3. 小麦 ( ) 4. ソバ ( ) 5. ビーナッツ ( ) 6. 大豆 ( ) 7. ゴマ ( ) 8. ナッツ類* ( ) (すべて・クルミ・アーモンド・ ) 9. 甲殻類* ( ) (すべて・エビ・カニ・ )	<b>A. 給食・離乳食</b> 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定  <b>B. アレルギー用調理器具</b> 1. 不要 2. 必要 下記該当ミルクに○、又は( )内に記入 ミルフィーユ・ニューMA-1・MA-mi・ペパディエット エレメンタルフォーミュラ その他 ( )  <b>C. 食物・食材を扱う活動</b> 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定  <b>D. 除去食品で摂取不可能なもの</b> 病型・治療のCで除去の際に摂取不可能なものに○ 1. 鶏卵: 卵殻カルシウム 2. 牛乳・乳製品: 乳糖 3. 小麦: 醤油・酢・小麦	<b>A. 重症度分類 (治療内容を考慮した)</b> 1. 間欠型 2. 軽症持続型 3. 中等症持続型 4. 重症持続型	★保護者 電話: _____  ★連絡医療機関 医療機関名: _____  記載日 _____年 ____月 ____日 医師名 _____
<参考様式> 保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表(食物アレルギー・アナフィラキシー・アレルギー性鼻炎) 提出日 平成 ____年 ____月 ____日 名前 _____ 男・女 平成 ____年 ____月 ____日生 ( ____歳 ____ヶ月 ) _____ 組 この生活管理指導表は保育所の生活において特別な配慮や管理が必要となった場合に限り作成するものです。												
食物アレルギー (あり)	<table border="1"> <tr> <th>病型・治療</th> <th>保育所での生活上の留意点</th> </tr> <tr> <td> <b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b>                      1. 食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎                      2. 即時型                      3. 中等症 (新生児消化器症状・口腔アレルギー症候群・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・その他: _____)   <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b>                      1. 食物 (原因: _____)                      2. その他 (医薬品・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・ラテックスアレルギー・その他: _____)   <b>C. 原因食物・除去根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に除去根拠を記載                      1. 鶏卵 ( )                      2. 牛乳・乳製品 ( )                      3. 小麦 ( )                      4. ソバ ( )                      5. ビーナッツ ( )                      6. 大豆 ( )                      7. ゴマ ( )                      8. ナッツ類* ( ) (すべて・クルミ・アーモンド・ )                      9. 甲殻類* ( ) (すべて・エビ・カニ・ )                 </td> <td> <b>A. 給食・離乳食</b>                      1. 管理不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>B. アレルギー用調理器具</b>                      1. 不要                      2. 必要 下記該当ミルクに○、又は( )内に記入                      ミルフィーユ・ニューMA-1・MA-mi・ペパディエット                      エレメンタルフォーミュラ                      その他 ( )   <b>C. 食物・食材を扱う活動</b>                      1. 管理不要                      2. 保護者と相談し決定   <b>D. 除去食品で摂取不可能なもの</b>                      病型・治療のCで除去の際に摂取不可能なものに○                      1. 鶏卵: 卵殻カルシウム                      2. 牛乳・乳製品: 乳糖                      3. 小麦: 醤油・酢・小麦                 </td> </tr> <tr> <td> <b>A. 重症度分類 (治療内容を考慮した)</b>                      1. 間欠型                      2. 軽症持続型                      3. 中等症持続型                      4. 重症持続型                 </td> <td>                     ★保護者 電話: _____                       ★連絡医療機関 医療機関名: _____                       記載日 _____年 ____月 ____日                      医師名 _____                 </td> </tr> </table>	病型・治療	保育所での生活上の留意点	<b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b> 1. 食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎 2. 即時型 3. 中等症 (新生児消化器症状・口腔アレルギー症候群・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・その他: _____)  <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b> 1. 食物 (原因: _____) 2. その他 (医薬品・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・ラテックスアレルギー・その他: _____)  <b>C. 原因食物・除去根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に除去根拠を記載 1. 鶏卵 ( ) 2. 牛乳・乳製品 ( ) 3. 小麦 ( ) 4. ソバ ( ) 5. ビーナッツ ( ) 6. 大豆 ( ) 7. ゴマ ( ) 8. ナッツ類* ( ) (すべて・クルミ・アーモンド・ ) 9. 甲殻類* ( ) (すべて・エビ・カニ・ )	<b>A. 給食・離乳食</b> 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定  <b>B. アレルギー用調理器具</b> 1. 不要 2. 必要 下記該当ミルクに○、又は( )内に記入 ミルフィーユ・ニューMA-1・MA-mi・ペパディエット エレメンタルフォーミュラ その他 ( )  <b>C. 食物・食材を扱う活動</b> 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定  <b>D. 除去食品で摂取不可能なもの</b> 病型・治療のCで除去の際に摂取不可能なものに○ 1. 鶏卵: 卵殻カルシウム 2. 牛乳・乳製品: 乳糖 3. 小麦: 醤油・酢・小麦	<b>A. 重症度分類 (治療内容を考慮した)</b> 1. 間欠型 2. 軽症持続型 3. 中等症持続型 4. 重症持続型	★保護者 電話: _____  ★連絡医療機関 医療機関名: _____  記載日 _____年 ____月 ____日 医師名 _____					
病型・治療	保育所での生活上の留意点											
<b>A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b> 1. 食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎 2. 即時型 3. 中等症 (新生児消化器症状・口腔アレルギー症候群・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・その他: _____)  <b>B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)</b> 1. 食物 (原因: _____) 2. その他 (医薬品・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・ラテックスアレルギー・その他: _____)  <b>C. 原因食物・除去根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に除去根拠を記載 1. 鶏卵 ( ) 2. 牛乳・乳製品 ( ) 3. 小麦 ( ) 4. ソバ ( ) 5. ビーナッツ ( ) 6. 大豆 ( ) 7. ゴマ ( ) 8. ナッツ類* ( ) (すべて・クルミ・アーモンド・ ) 9. 甲殻類* ( ) (すべて・エビ・カニ・ )	<b>A. 給食・離乳食</b> 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定  <b>B. アレルギー用調理器具</b> 1. 不要 2. 必要 下記該当ミルクに○、又は( )内に記入 ミルフィーユ・ニューMA-1・MA-mi・ペパディエット エレメンタルフォーミュラ その他 ( )  <b>C. 食物・食材を扱う活動</b> 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定  <b>D. 除去食品で摂取不可能なもの</b> 病型・治療のCで除去の際に摂取不可能なものに○ 1. 鶏卵: 卵殻カルシウム 2. 牛乳・乳製品: 乳糖 3. 小麦: 醤油・酢・小麦											
<b>A. 重症度分類 (治療内容を考慮した)</b> 1. 間欠型 2. 軽症持続型 3. 中等症持続型 4. 重症持続型	★保護者 電話: _____  ★連絡医療機関 医療機関名: _____  記載日 _____年 ____月 ____日 医師名 _____											

問8 容器包装された加工食品に、アレルギー表示があることをご存知ですか？

	1. 知っている	2. 知らない
-----------------------------------------------------------------------------------	----------	---------

問9 AED（自動体外式除細動器）という言葉聞いたことがありますか？

1. ある	2. なし
-------	-------

問10 エピペン®（アドレナリン自己注射薬）という言葉聞いたことがありますか？


1. ある	2. なし
-------	-------

問11 東京都では、都民のみなさんを対象とした子供のアレルギー講演会を毎年開催していますが、ご存知ですか？ また、参加したことがありますか？

1. 知っており、参加したことがある
2. 知っているが、参加したことはない
3. 知らなかったが、参加してみたい
4. 知らないし、参加する予定はない

問12 アレルギーに関する情報の入手方法として、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

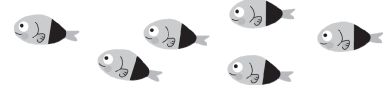
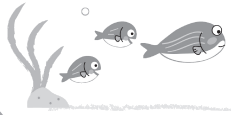
1. 入手したことがない	
2. 主治医	
3. 保健所・保健センター（健診会場など）	
4. パンフレット	
5. ホームページ（日本アレルギー協会、日本小児アレルギー学会、 食物アレルギー研究会、環境再生保全機構、行政機関、専門病院）	
6. その他のホームページ（	）
7. ブログ	
8. 自治体が主催する講演会や公開講座など	
9. 患者会の催し	
10. 本や雑誌	
11. テレビや新聞などのマスメディア	
12. その他（	）





# F

## 今後取り組んで欲しいことについてお聞きします



※ 問 13、問 14 については、希望する番号すべてに○印をつけ、**特に強く希望する番号1つに◎印**をつけてください。

### 問 13 保育施設・幼稚園等に対する希望

1. アレルギー疾患に関する職員の理解と知識の向上
2. 他の児童への教育
3. 相談体制の充実
4. アレルギー対応食の提供
5. アレルギーの薬の預かりや投与
6. その他（上記以外のことで希望されることがありましたらご記入ください）

### 問 14 行政（都や区市町村）に対する希望

1. 都民に対するアレルギー疾患に関する知識や情報の提供
2. 都民に対する医療機関に関する情報の提供
3. 保健・福祉・教育関係者に対する知識や理解の向上のための取組
4. 禁煙・分煙など、たばこ対策の徹底
5. 食品表示の監視の徹底
6. その他（上記以外のことで希望されることがありましたらご記入ください）

### 問 15 その他、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。

恐れ入りますが、記入もれがないかももう一度ご確認くださいませよう願いたします。

ご協力ありがとうございました。





平成 26 年度

東京都アレルギー疾患対策検討委員会 アレルギー疾患検討部会委員

(平成 26 年 4 月時点)

部会長 赤澤 晃 東京都立小児総合医療センター からだの専門診療部  
アレルギー科部長

岩田 力 東京家政大学 子ども学部 学部長

今井 孝成 昭和大学医学部 小児科学講座 講師

登録番号 (26) 35

## アレルギー疾患に関する3歳児全都調査（平成26年度）報告書

平成27年3月発行

編集・発行 東京都健康安全研究センター 企画調整部健康危機管理情報課  
東京都新宿区百人町三丁目24番1号  
電話番号 03(3363)3487

調査委託機関 株式会社 タイム・エージェント  
東京都渋谷区円山町6番8号松木家ビル

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。  
再生紙を使用しています。

